



# 報會師劑藥新大

No.299. 2019(令和元年) 8・9・10月号



沖繩県薬剤師会

# 目次

<b>医薬分業</b>	令和元年度医薬分業対策委員会主催研修会……………盛本直也 (1) 令和元年度医薬分業対策会議報告……………盛本直也 (2) 令和元年度医薬分業対策会議「調剤のあり方について」 ディスカッションまとめ……………西川 裕 (4) FAXコーナー職員向け研修会開催……………大城喜仁 (7)
<b>広報</b>	第12回熟年の集い開催……………大城喜仁 (8)
<b>健サポ推進</b>	令和元年度第1回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会……………盛本直也 (10)
<b>在宅医療</b>	訪問薬剤業務研修参加報告……………四谷祐子・諸見里めぐみ (12)
<b>学術研修</b>	令和元年度 新任・新人薬剤師研修会報告……………進藤聡人 (14)
<b>薬事情報センター</b>	スポーツファーマシストのための情報提供研修会報告……………吉田典子 (16)
<b>災害対策</b>	令和元年度沖縄県災害対策本部設置運営訓練に参加して……………鈴鹿玲子 (17)
<b>地域保健</b>	第256回全国禁煙アドバイザー育成講習会報告……………上里美矢子 (18)
<b>実務実習</b>	令和元年度第I期薬学生実務実習報告……………佐藤雅美 (20) 実務実習薬学生 令和元年度第I期生からの体験記・感想……………(21) 久場川愛・仲吉沙也加・又吉莉子・洲鎌光基・川満 彩・伊是名秀亮・金城詠美 新川祥平・花城帆乃佳・高尾明日香・親川大地・原田夏帆・玉城亜寿香 宮城 彩・中本明日・高嶺佳乃・平良若子・長嶺僚紀・仲西彩香・比嘉良太
<b>学薬部会</b>	学校薬剤師部会研修会報告……………方 智子 (34)
<b>行政部会</b>	行政薬剤師部会総会報告……………大城由希子 (35)
<b>女性薬部会</b>	令和元年度女性薬剤師部会通常総会報告……………狩俣イソ (36) 女性薬剤師部会漢方講座報告……………与儀和子 (37)
<b>青年部会</b>	実務実習薬学生向け合同就職説明会報告……………運天芳生 (38)
<b>卸部会</b>	2019年度日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部会報告……………吉富弓江 (39)
<b>月例相談会</b>	第170回健康とおくすり相談会報告(宮古地区薬剤師会)……………古謝真己 (40) 第171回健康とおくすり相談会報告(那覇地区薬剤師会)……………金城雄一 (42)
<b>啓発・普及活動</b>	第8回はえばる夏まつりキッズパーク参加報告……………進藤聡人 (43) 生涯学習フェスタしごとミュージアム2019参加報告……………島袋さゆり (44)
<b>地区だより</b>	第6回那覇地区薬剤師会通常総会……………那覇地区薬剤師会事務局 (46) 令和元年度宮古地区薬剤師会総会報告……………上川畑剛 (47)
<b>同窓会</b>	第29回名城大学薬学部同窓会沖縄支部研修会報告……………前濱朋子 (48)
<b>D I</b>	薬事情報おきなわ No. 256……………薬事情報センター (49)
<b>県民の皆様へ</b>	あまくま薬立つ情報……………(61)
<b>薬草学</b>	身近な薬草を知ろう 第41回 イノコヅチ：猪子槌……………狩俣イソ (62)
<b>投稿</b>	九州・沖縄地域包括ケア推進フォーラム受賞報告……………佐藤雅美 (64)
<b>薬連だより</b>	本田あきこ氏が当選！ 第25回参議院議員通常選挙……………亀谷浩昌 (66) 本田あきこ オレンジ日記 国会議員としての第一歩……………本田あきこ (66) 本田あきこ オレンジ日記 国政の場で薬剤師の声を……………本田あきこ (67) 国会レポート ～骨太の方針2019～ ～社会保障の充実に向けて～……………藤井もとゆき (68) 次世代を担う薬剤師フォーラム ～3年毎の参議院選挙に勝利するには～……………石川恵市 (69)
<b>理事会</b>	令和元年度第5回理事会議事概要……………(70) 令和元年度第6回理事会議事概要……………(77)
<b>転載記事</b>	健サポ100薬局の早期達成に推進委設置……………(86) 優しさに触れて……………崎濱祐美子 (87) 県基本計画 医療分野点検 県施策の検証本格化 薬剤師不足育成促す……………(88) 街の元気、小さな店から ～いは薬局～……………(89) 薬剤師の知識底上げ模索……………(90)
<b>会務報告</b>	令和元年7月～9月分……………(91) 沖縄県薬剤師連盟会務報告(令和元年7月～9月分)……………(97)
<b>会員作品</b>	誌上ギャラリー(裏表紙)について……………(98)
<b>編集後記</b>	……………(98)
<b>お知らせ</b>	地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい！……………(41) 県薬が会員に販売している印刷物等……………(41) Facebookをご覧ください！……………(85) 会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について……………(96)

・表紙

「サンセバスチャンの薬局」 photo by 山里 美恵子 撮影地：北スペイン  
バル(小皿料理とお酒のお店)が立ち並ぶサンセバスチャンの街角の薬局です。

題字：豊平峰雲  
とよひらほううん

## 医薬分業

# 令和元年度医薬分業対策委員会主催研修会

日時：令和元年9月15日（日）13:00～14:30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

＜会次第＞

司会進行：医薬分業対策委員会 副委員長 吉田 洋史

○あいさつ

会長 亀谷 浩昌

○講義 これからの調剤業務のあり方 ～薬学的視点による患者対応／処方提案へ～

講師：北海道科学大学 薬学部 薬学科 臨床薬学部門 薬物治療学分野 教授

臨床薬学部門長 薬剤師生涯学習センター長 早川 達

講師の早川達先生の講義は、「事前聞き取り」という工程がポイントでした。この事前聞き取りというのは処方箋を受け取った時点で処方内容を踏まえて、①残薬確認、②副作用確認、③効果の検証、④ガイドラインに沿った投薬になっているか判断する、ということでした。大まかに以上のことを事前聞き取りで行い、変更点があれば疑義照会、無ければ調剤に移るといった現行の順序と違うことや、新たに④に挙げた「服用投与計画」が加わっていました。

服用投与計画とは、処方箋の内容をもとに適正な処方内容になっているか、疾患によるガイドラインに沿ったリスク分布に適合しているか、適合していない場合には疑義照会し適正化を図るということで、また、服用計画を立てた後は、その報告を多職種情報提供として今後は義務化されるという話もされましたので、おきなわ津梁ネットワークやカナミックシステムなどを積極的に導入していく必要も出てきたと感じます。

講義の後半では、事例をもとに処方箋を見ながら服用投与計画を立てるグループワークもあり、お互いの考え方などを共有できた時間となりました。疾患に関するガイドラインが資料として添付され、ガイドラインとにらめっこしながら計画を立てていきましたが、これが現場で瞬時に判断となると大変な知識・情報量が必要になると思います。

今回の講義に参加して感じたことは、これまでは薬剤師としての本来の職能を十分に発揮できていなかったことです。しかし、早川先生が伝えられた「これからの調剤業務のあり方」を薬剤師としてあたりまえの業務として行うことができれば、医療人として、薬剤師として、患者様への貢献度は確実に上がり、薬剤師の存在意義もさらに認められてくるのではないのでしょうか。薬剤師の変革期と感じました。

最後に、司会進行を務めた医薬分業対策委員会の吉田洋史副委員長が伝えたように、早川先生から直に学んでいる有能な薬学生が多く輩出されていることを考えると、我々もうかうかしてられないと危機感を感じました。

（報告：医薬分業対策委員会 盛本 直也）



講師 早川 達氏

## 医薬分業

# 令和元年度医薬分業対策会議報告

日時：令和元年9月15日（日）14:45～16:00

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

### <式次第>

1. 開会のあいさつ

2. ディスカッション テーマ「調剤業務のあり方について」

3. まとめ

4. 閉会のあいさつ

司会進行 医薬分業対策委員会 委員長 西川 裕

会長 亀谷 浩昌

医薬分業対策委員会 盛本 直也

副会長（沖縄県病院薬剤師会 会長） 中村 克徳



医薬分業対策委員会  
盛本 直也

白熱した医薬分業対策会議。今年度の会議は、平成31年4月2日 厚生労働省医薬・生活衛生局総務課長通知（薬生総発0402第1号）で示された「調剤業務のあり方について」をテーマに、病院薬剤師・保険薬局薬剤師が膝と膝を突き合わせ、意見や考え方、方向性を激論しました。

「非薬剤師による調剤補佐」について、4グループに分かれグループディスカッションが行われました。そこでは病院側・調剤側での考え方や意見が異なる部分や一致する分が見えてきました。一致する部分では非薬剤師による補佐に関しては薬剤師の仕事量が軽減され、その分、病棟業務や患者様に時間を割くことが出来るということでは概ね一致しておりました。意見の分かれるところでは、保険薬局側からとしては調剤業務が機械化されていく中で、どこまでが調剤、どこからがそうではないのかという線引きがそもそも難しく、グレーゾーンが広がる一方ではないかという懸念もあるようでした。薬剤師確保の難しい昨今、病院側としては補佐の存在は大きいこともあり、今後採用していく方向に概ねあるようです。しかし、保険調剤薬局にあっては補佐のできる仕事内容では結局一人薬剤師など

の人数の少ない薬局では何も変わらないのではないかという疑問も出ています。

また、手引き作成・研修の受講などの条件が付いており、その内容が明確に提示されていない現状では動きがとれません。もし、手引きや研修を行なったとしても、その内容が間違っていたら・・・などの不安感は隠せません。せっかく研修させて育てても、すぐに辞められてしまっただけでは時間の無駄では？という声もあります。

非薬剤師による調剤補佐が可能になれば薬剤師の必要数も少なくなり、薬剤師という職能自体が危ぶまれるのではないかと。このまま、この非薬剤師という存在を許してもいいのだろうかという厳しい意見も飛び出す白熱した会議となりました。

最終的な結論は得られませんでしたでしたが、病院・保険薬局が共に同じテーマで話し合いが持てたことは大きな成果だと感じました。これからもこのテーマは事あるごとに話し合いながら意見をまとめていく必要があると感じました。最後に、要望として、手引きのひな形、研修会の実施などを沖縄県薬剤師会の主導で行っていただきたいとのことでした。

令和元年度医薬分業対策会議出席者

※敬称略

- 亀谷 浩昌 (会長)
- 川満 直紀 (副会長)
- 中村 克徳 (副会長、沖縄県病院薬剤師会会長、琉球大学医学部附属病院薬剤部長)
- 西川 裕 (医薬分業対策委員会委員長)
- 村田 美智子 (常務理事)
- 盛本 直也 (医薬分業対策委員会)
- 宮城 幸枝 (常務理事)
- 平良 恭子 (医薬分業対策委員会)
- 佐藤 雅美 (常務理事)
- 浅沼 健一 (北部地区薬剤師会会長)
- 徳嶺 恵子 (沖縄県立北部病院薬局長)
- 屋嘉比 康作 (北部地区薬剤師会副会長、医薬分業対策委員会)
- 普久原 隆 (中部地区薬剤師会会長)
- 川平 浩子 (沖縄県立中部病院薬局長)
- 長濱 照美 (中頭病院薬剤科長)
- 金城 雄一 (那覇市立病院薬剤部長)
- 吉田 洋史 (那覇地区薬剤師会会長、医薬分業対策委員会副委員長)
- 荷川取 直樹 (沖縄赤十字病院薬剤科長)
- 磯村 美和 (南部徳洲会病院薬剤部長)
- 入月 健 (沖縄協同病院薬局長、医薬分業対策委員会)
- 田中 健嗣 (ハートライフ病院薬局長)
- 下地 仁 (宮古地区薬剤師会医薬分業担当者、医薬分業対策委員会)



司会進行  
西川 裕  
医薬分業対策委員会委員長



開会あいさつ  
亀谷 浩昌  
会長



ディスカッションまとめ  
盛本 直也  
医薬分業対策委員



閉会のあいさつ  
中村 克徳  
副会長



## 医薬分業

# 令和元年度医薬分業対策会議 「調剤のあり方について」ディスカッションまとめ



医薬分業対策委員会  
委員長 西川 裕

### テーマ①

「調剤業務のあり方」についての通知を受けて、薬剤師の行う対人業務を充実させる観点から、医薬品の品質の確保を前提として対物業務の効率化を図るためにどうすればよいか。

### テーマ①に対する意見

- 機械ができるものは機械にさせ、積極的な機械導入を行う（半錠や散剤・水剤も機械があり、軟膏も機械導入すると効率化できる。一包化監査など。）機械が小型化や低価格化するとより導入がしやすくなる。
- 事務員がピッキングを行った際も、監査システムなども導入して行えばダブルチェックになり調剤過誤も防げる。
- 薬剤交付までの手順を見直すと効率化できる。（服薬指導後に配達するなど）
- 対人業務が増えているので、今回通知で認められたピッキング行為は薬剤師以外にさせるメリットは大きい。
- 日病薬では手順書を作成しないといのことなので、病院単位で推進していくことになると思う。
- すべての事務員に調剤補助をしてもらうのではなく、主任事務員のような役割のものを育成して進めていくとよい。
- 一人薬剤師のところではあまり効率化にならないのではないかと思う。
- 薬剤師以外ができる調剤行為の線引きがあいまいなので、手順書の整備や研修を行いにくい。
- 今後病院では、調剤助手を雇用する動きが増える（すでに来年度予算化などの話が出ている）
- 手順書作成や研修を行うのが大変。また、研修を行っても受講した事務員が退職した場合無駄になる。
- 地域の開設者のためにも薬剤師会が骨組みを作ってもらえると助かる。
- 薬剤師の業務が奪われることにつながるため、基準や規制をしっかりと作り、開設者に対しても研修の義務化や罰則規定などを設けて厳格化するべきである。
- 医薬品の発注回数や納品回数を減らすことが業務効率化につながる。

### テーマ②

通知では、調剤にかかる業務の一部を薬剤師以外の者が実施することができる場合の条件として「処方箋に基づいて調剤した薬剤の品質などに影響がなく、結果として調剤した薬剤を服用する患者に危害の及ぶことがないこと」「当該業務を行う者が、判断を加える余地に乏しい機械的な作業であること」が挙げられている。これにより、薬局（病院含む）で薬剤師以外が実施する調剤業務は今後どのようにかわっていくと考えるか。（調剤業務の線引きについてグレーゾーンなど）

## テーマ②に対する意見

- 薬剤師でないと絶対できない調剤行為（服薬指導、患者からの情報収集、処方箋監査）以外は薬剤師以外に移行していくのではないか。
- 安全性が確保されている調剤行為は薬剤師以外に移行するのではないか。
- 再現性（元に戻せる）がある行為は、薬剤師以外が実施できると思う。
- 今回の通知では手順書の作成と、研修を実施した場合にピッキング行為などが認められたが現在多くの薬局では手順書の整備や研修の実施をしていないが、これはグレーゾーンではなく完全にアウトではないのか。（手順書の整備状況や研修の実施状況について確認が必要ではないか）
- 散剤の秤量行為は機械でもできるが、薬剤師法で問題とならないのか。
- 判断をくわえる余地に乏しい機械的な作業の定義がわかりにくい。

## 結語

対人業務に移行していくためにも、今回通知で認められた調剤行為は薬剤師以外が行うことが有効であるという認識で一致していた。ただ、何でもかんでも薬剤師以外に調剤行為を移行していくのはリスクが大きく、手順書の整備や研修の実施などを、薬剤師会が主体的に関与して開設者へ遵守させていく仕組みづくりが必要。

薬剤師以外ができる調剤行為に関する線引きは、意見が分かれた。薬剤師でないと絶対できない行為（服薬指導、処方箋監査）以外は全て調剤助手にという意見もあれば、これ以上薬剤師以外ができる調剤行為を増やさないように規制していくべきだという意見もあった。一番多かった見解は、安全性が担保されて再現性のある行為は、薬剤師以外が行ってもいいのではないかという意見であった。

## 上田薬剤師会へのインタビュー内容

回答者：大沢 雄介 上田薬剤師会 常務理事  
質問者：西川 裕 沖縄県薬剤師会 常務理事

Q1. 大阪府薬剤師会の藤垣哲彦会長は厚生労働省通知「調剤業務のあり方について」を踏まえ、「薬局開設者に求めている手順書の整備や研修の実施などについては日薬がリードする役割を当然、担っていただきたい」と意見があった。法令順守の体制の整備の観点から組織内統制の確保についてどのように考えるか？

A1. 薬局開設者に求めている手順書の整備や研修の実施などは、企業や会社単位ではなく、地域の単位で行うべきものだと考える。日薬が必ずリードする必要はあるとは考えないが、企業主体で行った場合研修の質が担保できているかどうか不透明であり、質を担保しつつ研修の内容を外部に発信して質を向上していくためには薬剤師会がリードする役割を担っていく必要があると考える。

また、研修を実施するにあたり実務研修なども必要であるため、県薬剤師会単位では規模が大きすぎて実現が難しいと考える。実際に上田薬剤師会では60名の実務部分の研修を実施するのに半日では15名前後が限界であった。

Q2. 「調剤業務のあり方」についての通知を受けて、薬剤師の行う対人業務を充実させる観点から、医薬品の品質の確保を前提として対物業務の効率化を図るために、地区薬剤師会はどのような取組みを行っていけばよいと考えるか。

A2. 調剤業務の効率化には、金銭的にできるのであれば機械化が理想的であると考え。だが、すべての薬局が同じように機械を導入するのは難しいので、今回の通知を受けて薬剤師以外で調剤業務が行える部分においては積極的に業務をシフトすることが、薬剤師が「モノ」から「ヒト」への業務をシフトしていくための一つの手段であると考え。また、通知の中で、「手順書の整備」と「研修の実施」が必要であると明示されたため、開設者のためにも職能団体が、実施体制を整えていく必要があると考え。

Q3. 通知では、調剤にかかる業務の一部を薬剤師以外の者が実施することができる場合の、条件として「処方箋に基づいて調剤した薬剤の品質などに影響がなく、結果として調剤した薬剤を服用する患者に危害の及ぶことがないこと」「当該業務を行う者が、判断を加える余地に乏しい機械的な作業であること」が挙げている。これにより、薬局（病院含む）で薬剤師以外が実施する調剤業務は今後どのようにかわっていくと考えるか。（調剤業務の線引きについてグレーゾーンなど）

A3. 今回の通知では、薬剤師職以外は「ヒートシート集める行為」は可能で、「散剤や軟膏を秤量する行為」は不可能であるということが明確になった。だが、「麻薬及び向精神薬取締法」や「覚せい剤取締法」など帳簿にて管理する医薬品は、薬剤師以外が調剤するためには然るべき教育をしないと医薬品の管理などの観点から個人的に難しいと考える。調剤機器によっては、「軟膏を容器に詰め機械にセットして混合する行為」や「散剤を円盤分包機の機械に投入する行為」はグレーな行為であると考え。今後は手順書の整備や研修体制が整ってくれば、薬剤師以外が実施可能な行為になる可能性はあると思う。

Q4. 薬剤師ではなくともできると認識された“技術”はもう技術ではなくなり、算定できる報酬も削減される動きが加速していくと思われる。これにより、対物業務を担当する薬剤師の数が減るのに対して、対人業務を担当する薬剤師の数が増えると考えるか？また国は対人業務に専念する薬剤師を増加させるためにどのような方策を今後取ってくると考えるか。

A4. 基本的に薬剤師の絶対数が増えない限り、対物業務をする薬剤師が減っても、対人業務をする薬剤師は多分増えないのではないと考える。現在対応している薬局内患者への服薬指導時間は増えると思うが、「在宅患者」や「地域連携などの業務」をする薬剤師は変わらないのではないかと考える。一方で、調剤業務しか行わないような薬剤師が、非薬剤師職に置き換わる可能性はある。調剤しか行わない薬剤師が淘汰される時代が来るのではないかと思う。

医薬分業

FAXコーナー職員向け研修会開催

日時：令和元年9月1日（日）13:00～15:30

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

標記研修会は、昨年の医薬分業対策委員会主催FAXコーナー担当者意見交換会において、FAXコーナー職員より開催の要望があり、医薬分業対策委員会で昨年より事業計画して、今回の初開催となった。

研修会は、医薬分業対策委員会の平良恭子委員が講師となり、司会進行を事務局の大城が務めた。研修内容は、各FAXコーナーの写真や設置場所を図面で確認、掲示物や配布物の確認、薬局・薬剤師の役割（薬局ビジョン、かかりつけ、健サポ）、薬の分類（医療医薬品・一般用医薬品）、薬剤流通（製薬会社、卸、小分け業務等）、医療保険（各種保険・自立支援等）、法的規制（処方箋の取り扱い・守秘義務）等の知識習得、現時点での問題点などが話し合われた。

その中で、琉球大学医学部附属病院FAXコーナーでは患者からのクレーム、特に恐怖を感じるくらい威圧的な患者が来られた時の対応方法や対策を早急に考えていただきたいとの訴えがあった。これを受け、県薬事務局では琉球大学医学部附属病院の管轄部署へ連絡し対策していただけることとなった。その他のFAXコーナーでも対策してもらうように地区薬剤師会を通してFAXコーナー設置の病院側と相談するよう伝えた。

研修会は、講義の項目毎に質疑応答が交わされ、大変有意義で充実した研修となった。同研修会は今後、2年に1度開催するFAXコーナー担当者意見交換会に盛り込むことを、主催する医薬分業対策委員会で計画している。

（報告：事務局 大城 喜仁）



講師を務めた  
平良 恭子 医薬分業対策委員



広報

## 第12回 熟年の集い 開催

日時：令和元年9月22日（日）12:00～15:00

会場：ダブルツリー by ヒルトン 那覇首里城 守礼の間



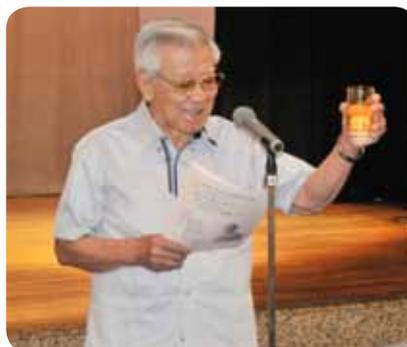
第12回 熟年の集い 記念撮影



開会のことば  
亀谷 浩昌 会長



熟年の集い代表あいさつ  
新垣 正次 相談役



カーリー音頭  
浜元 朝孝 氏



熟年の集いの思い  
宮城 初枝 氏

平成15年に40歳未満の会員を対象とした青年薬剤師部会が設立され、それに負け時とばかりに70歳以上の会員で結成された「熟年の集い」も早13年目になりました。年1回8月頃に開催してきた同集いは、本会務の報告方々、長年の本会へのご貢献に感謝したく、ささやかな集いの場として広報委員会が開催してきました。平成19年の第1回集いでは55名が在籍（会員1,075名）されていましたが、今年の第12回は206名も在籍（会員1,239名）されています。

去る9月22日（日）、第12回熟年の集いがダブルツリー by ヒルトン那覇首里城で開催されました。昨年よりお亡くなりました会員へ黙祷を捧げた後、亀谷会長の挨拶で開会、初代代表の金城保景先生が昨年お亡くなりにな

り、2代目に就任した新垣正次先生が熟年の集い代表あいさつをされました。浜元朝孝先生にカーリー音頭をとっていただいた後、昼食を兼ねての懇談に入りました。

司会を務められた広報委員会の前濱朋子委員が、出席者された28名の各席に寄り、お名前を呼び上げ紹介していきました。次に、去る6月の総会で就任した役員を亀谷会長が紹介、企画運営している広報委員会委員を宮城敦子委員長が紹介、今年4月に事務局長に就任した又吉章元事務局長が職員を紹介しました。

BGMが流れる中、事務局作成の「“薬剤師会”と“熟年の集い”のあゆみ」がスクリーンに映し出されると、懐かしげに釘付けになって見入っていました。最後にスクリーンに映し



特別余興 八木 政男氏

<式次第>

- |                              |                |
|------------------------------|----------------|
| ○開会のことば                      | 司会 広報委員会 前濱 朋子 |
| ○熟年の集い 代表あいさつ                | 会長 亀谷 浩昌       |
| ○カーリー音頭                      | 相談役 新垣 正次      |
| ○出席者紹介                       | 浜元 朝孝          |
| ○「薬剤師会」と「熟年の集い」のあゆみ          |                |
| ○熟年の集いの思い                    | 宮城 初枝          |
| ○会員余興                        | やまびこ薬局 山内 昌彦   |
| ○特別余興 「八木 政男の“しまくうとうばありんくりん” |                |
| ○閉会のことば                      | 広報委員会 宮城 敦子    |
| ○記念撮影                        |                |



八木政男の“しまくうとうばありんくりん”開幕

出されたページは、昨年お亡くなりになり、この熟年の集い、本会を先導されてきました金城保景先生と大城桂子先生の元会長同士が仲良くデュエットしているフォトグラフと、哀悼の意を表した「薬剤師会に素敵な思い出をありがとうございます」のキャプション。この最後のページに涙する先生もおられました。その余韻に浸る中、第1回の集いから参加されている宮城初枝先生が参加者と思いを一つ一つ振り返りながら語るお姿が印象に残ります。

休憩の後、雰囲気を変えて会員の余興です。自他ともに認める“笑売人”こと山内昌彦先生によるユーモア溢れる不思議ななぞなぞ大会が行われ、正解者には栄養ドリンクが付いてきます。不思議ななぞなぞの7問目に正解された國場節子先生には、小那覇幸子先生自作の花束が描かれた素晴らしい水彩画の作品という特典。ラッキー7という山内昌彦先生



会員余興  
「不思議ななぞなぞ」  
山内 昌彦氏



不思議ななぞなぞに正解して  
小那覇幸子氏の水彩画作品が  
当たった 國場 節子氏

の粋な計らいで大いに盛り上げていただきました。

広報委員会では毎回、特別余興を準備しております。この特別余興を楽しみにされている先生方も多いことでしょう。特別余興の出演者を司会が紹介すると、早速、会場から大きな拍手。舞台の幕が上がり、そこに佇んでおられた方は……。琉球放送（RBC）ラジオから流れ出てくる「民謡で今日拝なびら」の“あの声”、八木政男さん。「八木政男の“しまくうとうばありんくりん”」の出演タイトルから心躍らされます。地域によって違う方言の面白いエピソード等を方言を交えながら説明し、落ち着いた口調で会場と談義をしていく。うちなあ方言の生き字引であり、“あの声”に魅了された一時でした。

今年も和やかに開催されました熟年の集いは、広報委員会の宮城敦子委員長のことばで終幕しました。（文：事務局 大城 喜仁）

健サポ推進

## 令和元年度第1回健康サポート薬局 県内100軒実現に向けての研修会

日時：令和元年8月21日（水）19:30～21:10

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

<次第>	会進行	健康サポート薬局推進担当理事	笠原大吾
○あいさつ		会長	亀谷浩昌
○研修1.	“健康サポートモデル薬局”をめざして		
	講師：	会営薬局うえはら薬局長	仲真良重
○研修2.	経営面から見た“健康サポート薬局”とは		
	講師：	沖縄県薬剤師会事務局長	又吉章元
○質疑応答			



健康サポート薬局推進委員会  
盛本直也

今回、本会会営薬局うえはらの仲真良重薬局長、本会事務局の又吉章元事務局長よりご講話がありました。

仲真薬局長からは沖縄県薬剤師会として健康サポート薬局のモデル薬局を会営薬局うえはらに展開していくという内容でした。健康サポート薬局を目指すうえでどのようなことが必要なのか。

（健康サポート薬局の）施設ならびに薬剤師の要件・在宅・OTCそれぞれの課題を少しずつクリアしたり薬剤師への研修を実施

しされたりと尽力されている様子を聞かせていただきました。会員の方々のために率先してモデル薬局を作ろうとされていること。今後、会営薬局うえはらで健康サポート薬局を目指す薬局に向けての研修などを開催していくという大変ありがたい内容となりました。

又吉事務局長からは、自ら経験してきた経済界の話やこれからの経済がどのように進んでいくのか。またその大きな波の中で調剤薬局が存在し続けるためには何が必要なのかということを経済界という視点から話がありま



研修1 講師  
仲真良重 薬局長



研修2 講師  
又吉章元 事務局長



あいさつ  
亀谷浩昌 会長



司会進行  
笠原大吾 理事



した。その中で私自身が一番心に響いたことは「理念・信念・方向性」でした。調剤薬局で仕事をしていると、門前のクリニックの先生に処方箋枚数が左右されるのが現状で、その中で自分たちの理念・信念・方向性を特に打ち出す必要もなく、今までは何とかやってこられたと気が付きました。しかし、これからやってくるであろう大きな波に、それでは太刀打ちできないことも現実的にあるとも気が付きました。普段、調剤薬局におけるマーケティングについていろいろ考える中で、そもそも薬剤師として、調剤薬局としての理念とは、信念とは、方向性とは何か？というところまでは意識がいかず、点数や仕入れ、処方箋枚数にばかり視点がいていました。もちろん、そこも大切ですが、やはり限界は

あると感じます。マネージメントで有名なドラッカーの本にマーケティングの基本とは、①地域貢献、②自らの強みを生かすという言葉があります。今回、又吉事務局長が話された内容はまさにその部分で、各薬局が持っている強みを最大限生かし、地域に貢献する薬局が今後選ばれ生き残れる。これこそがまさに目指している健康サポート薬局の姿ではないでしょうか！健康サポート薬局には現在見合ったフィーがありませんが、生き残るという意味では必須条件ではないでしょうか。その部分を見直し変化させることのできる薬局が今後生き残れると思いました。

沖縄県薬剤師会の全ての薬局がこれから来るであろう大波に皆で乗って、乗り越えていきたいと思います。

### 健康サポート薬局に係る研修会の開催予定

#### ○令和元年度 第2回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会

～健康サポート薬局実現のためのOTC導入について～

日 時：令和元年11月28日(木) 19:30～21:00 会 場：県薬ホール

#### ○令和元年度 第1回健康サポート薬局研修会A・B

日 時：令和元年11月24日(日) 9:00～19:00 会 場：県薬ホール

#### ○令和元年度 第2回健康サポート薬局研修会A・B

日 時：令和2年1月26日(日) 9:00～19:00 会 場：県薬ホール

## 在宅医療

# 訪問薬剤業務研修参加報告

日時：令和元年5月28日（火）9:00～18:00  
場所：沖縄本島中部エリア



みらい薬局  
四谷 祐子

### <参加報告 1>

去る5月28日に、オレンジ薬局の諸見里めぐみ先生と在宅訪問研修に行きました。すこやか薬局野嵩店の石田浩先生が受け持つ在宅を見学させていただきました。今回はグループホーム、居宅（がん、精神疾患、小児）が中心の内容でした。

在宅見学をして一番印象的だったことは患者様や多職種から薬剤師が信頼されていたことでした。調剤した薬をお薬カレンダーや薬箱等にセットするだけでなく、バイタルチェック、服薬状況、副作用発現の有無、体調変化や薬剤の効果も細かく確認していました。また情報収集する際に問題点を見つけることで、患者様がより良い医療サービスを受けることが出来るように多職種に相談や提案をしていました。

日々の業務でも処方薬の服用状況、薬効、副作用、食事や運動についてのアドバイス、バイタルチェックは同じです。在宅では患者様との距離が近く普段の業務では気づけない事にも気づくことができ、多職種と連携することで質の高いケアを患者様に提供することができます。残薬に関しては訪問時に数量を直接確認することができ、服薬における問題点の発見から処方提案につながることも教えていただきました。今回の見学では、患者様の服薬状況を確認した上で確実に薬を飲むように服用時点を変更した疑義照会例、症状変化があるにも関わらず、調整して飲む薬が漫然と処方されていることに対しての処方解除の疑義照会例を見ることができました。

疑義照会で処方内容の提案をして変更になる場合は少ないと思いますが、在宅医療では医師と薬剤師の信頼関係が構築されている場合、処方変更になる可能性は高くなり薬剤師の職能を発揮しやすくなります。信頼関係の構築は難しく勇気がいることですが、一人の患者様に向き合いその患者様に対して何かしたいという思いが強くなれば、失敗を重ねていくうちにできるようになることも石田浩先生から教えていただきました。

在宅は一人でできることではなく、薬局内ではスタッフ同士の協働、薬局外では多職種連携が必要不可欠であることも感じました。薬剤師の数が少なく日常業務が忙しい、専門知識がないからできない等、様々なことで在宅業務を躊躇してしまうこともあると思います。在宅見学前の私は、在宅に関しての知識がなく知識をつけてから始めることで患者様に質の良い薬物治療を提供できると思っていました。在宅訪問見学後はコミュニケーションを通して問題点を発見し、患者様の立場に立った最良のサービスを考えて、チーム医療の一員としてやれることをしてみたいと意識が変化しました。

まだ、在宅を始めていませんが、在宅訪問見学事業への参加は在宅に対する視点や意識が変化するきっかけとなったと思います。あつという間の一日でしたが在宅の経験がない私にとっては充実した時間でした。

石田浩先生、お忙しい中ご指導いただきありがとうございました。

## ＜参加報告 2＞



オレンジ薬局  
諸見里 めぐみ

これまで在宅訪問は、施設基準、算定、在宅訪問の流れ、一人薬剤師であるという懸念があり実働に至りませんでした。今回、すこやか薬局（野嵩店）で見学する機会がありましたので報告致します。

1日8時間の訪問内訳は、①末期癌、②サービス付き高齢者住宅、③グループホーム、④小児在宅、⑤高齢者のレビー小体型認知症の患者様でした。主な業務内容は、配薬・残薬（内服薬・外用薬・頓服薬・注射剤のすべて）確認・副作用の有無・症状確認・衛生材料や物品の把握などでした。薬剤師は、面談結果や上記以外に血圧・脈・体温・睡眠・排便・食欲などの情報を現場で訪問専用PCに入力する事で報告書の作成も同時に進行でき、石田浩先生の素晴らしい仕事振りを拝見しました。

一般的な業務以外に感じたこともありました。それは、施設利用者の指導は、まず施設職員から情報聴取後に本人と面談する方がスムーズであることです。また、野嵩店は、事務職員と二人で在宅訪問へ伺うため「協働」\*が活かされ、薬剤師一人にかかる仕事が時間短縮できる利点も見学できました。それから、訪問件数が多い薬局は、効率的に業務ができるように訪問ルートや事前準備（聴取事項、報告書や配薬準備ホチキス止めなど）の大切さを痛感しました。訪問すると薬局指導では捉えにくい日常生活（服薬状況・おくすりの管理状況・食生活や生活環境など）を直視でき問題点の抽出もできます。新規の患者様は、薬局内の服薬指導のみならず、窓口施設職員さんが付き添いで来られる場合や多職種連携ケア会議などで顔なじみのケアマネからの紹介も多いと聞きました。

見学後の率直な感想は、日常の対面の服薬指導が在宅で対人の服薬指導を行うような印象でした。しかし、一番の検討課題は、先方の患者様と連絡調整を取り、一人薬剤師が時間外や昼休みに薬局を一時閉めて在宅に充てるなどしながら訪問業務を遂行継続できるかという点です。現在は必要書類の作成、届け出や算定について、事務職員と力を合わせて実働に向けております。今後、調剤だけの薬局が自然淘汰される仕組みも検討されていくなか、地域包括ケアシステムに「薬剤師」が取り残されないように職能を発揮する必要がありますと考えます。病院薬剤師、保険調剤薬剤師の連携をとりつつ、病院退院から地域へ、窓口から在宅現場へ対面から対人へ服薬指導することがそのひとつだと考えます。

県薬HPに在宅業務に必要な運用規定、契約書、訪問薬剤管理指導依頼書、情報提供書、薬学的管理指導計画書や医師への報告書などの参考様式があると各薬局の作成の手間が省かれ、在宅訪問が実施しやすくなるのではないのでしょうか。また、見学費用も県薬の事業として検討して戴くと在宅訪問に関心ある方は見学しやすくなるので、私からのお願いに変えて終わりに致します。

すこやか薬局野嵩店のみなさんのご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

\*「協働」とは、薬剤師以外の一般職員が薬剤師の指示のもと作業や情報共有して、お互いに効率よく稼働するという内容でした。

## 学術研修

# 令和元年度 新任・新人薬剤師研修会 報告

会期：令和元年8月4日（日）

会場：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター薬局（施設見学）  
沖縄県薬剤師会館 ホール（研修会）

共催：沖縄県薬剤師会・沖縄県病院薬剤師会

令和元年度新任・新人薬剤師研修会は、去る8月4日に沖縄県薬剤師会館ホールで開催された。参加者は、薬局10名、病院22名、薬学生2名、その他1名の計35名の参加があった。

講義前に自由参加で沖縄県立南部医療センター・こども医療センター薬局の施設見学が行なわれ、8名の参加があり、同病院薬局の垣花真紀子薬局長と屋嘉部末美副薬局長に対応いただいた。

研修会は、学術研修委員会の又吉智賀子委員のもとに進行し、亀谷会長と病院薬剤師会の中村克徳会長から新任・新人薬剤師に対する期待と自己研鑽継続の重要性などのお話をいただいた。

最初の「医薬品情報について」は、浦添総合病院の宮里弥篤氏が担当され、情報検索の基本や検索サイト紹介、海外の薬品情報の調べ方、病院でのDI業務紹介など多岐にわたる有益な講義であった。

「薬歴の書き方について」は、すこやか薬局グループの喜屋武芳美氏が担当された。薬歴未記載問題からなぜ薬歴が必要か、目的は何か、薬歴はより良い薬物治療を提供するツールであること、そして事例では SOAP記載の具体例を示しながらの講義であった。



会営薬局うえはら  
進藤 聡人

「疑義照会について」は、学術研修委員会の中尾滋久氏にご担当いただき、病院だけでなく薬局勤務薬剤師にも必要なことを失敗談や症例提示を例に進められた。また、参加者と短いロールプレイングをしながら医師との電話対応例を行うなど、分かり易いながらも疑義紹介の重要性を伝えた。

後半は、沖縄県保健医療部衛生薬務課薬務室技師の宮城隼人氏から「行政薬剤師」について、学校薬剤師部会の知名博樹副部長から「学校薬剤師」について、女性薬剤師部会の村田美智子部長から「女性薬剤師部会」について、最後に青年薬剤師部会の上原卓朗部長から「青年薬剤師部会」について紹介いただき、無事閉会となった。

新人薬剤師として、これまで薬剤業務をがむしゃらに体で覚えることに必死だったが、今回の研修会で得た新たな知識や考え方をともに、今後の業務をより一層充実させていきたいと感じた。



司会  
又吉 智賀子氏



病薬会長挨拶  
中村 克徳氏



会長挨拶  
亀谷 浩昌 会長



行政薬剤師紹介  
宮城 隼人氏



学校薬剤師部会紹介  
知名 博樹氏



女性薬剤師部会紹介  
村田 美智子氏



青年部会紹介  
上原 卓朗氏

<プログラム>

1. あいさつ
2. 医薬品情報について
3. 薬歴の書き方について
4. 疑義照会について
5. 行政薬剤師について
6. 学校薬剤師について
7. 女性薬剤師部会紹介
8. 青年薬剤師部会紹介

司会	学術研修委員会	又	吉	智賀子
沖縄県病院薬剤師会	会長	中	村	克徳
沖縄県薬剤師会	会長	亀	谷	浩昌
浦添総合病院		宮	里	弥篤
すこやか薬局グループ		喜	屋	武芳美
学術研修委員会		中	尾	滋久
沖縄県 保健医療部	衛生薬務課 薬務室 技師	宮	城	隼人
学校薬剤師部会	副部会長	知	名	博樹
女性薬剤師部会	部会長	村	田	美智子
青年薬剤師部会	部会長	上	原	卓朗

<講師陣>



医薬品情報業務 宮里 弥篤氏



薬歴の書き方 喜屋武 芳美氏



疑義照会 中尾 滋久氏



沖縄県立南部医療センター・こども医療センター薬局見学



垣花 真紀子 薬局長(右) 屋嘉部 末美 副薬局長(左) と記念撮影

## 薬事情報センター

### スポーツファーマシストのための情報提供研修会報告 大塚製薬(株) Live on Seminer システムを用いた 対象拠点会場とのweb研修会(第1回)

日時：令和元年6月28日(金) 19:00～21:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

主催：公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構 スポーツファーマシスト事務局

協賛：大塚製薬株式会社

#### <プログラム>

1. 本研修会の趣旨と質疑応答について
2. 国体に向けたTUE(治療使用特例)申請手続きの要点と事例紹介
3. スポーツファーマシストのための情報提供のポイント(質疑応答)
4. 大塚製薬株式会社より情報提供

薬事情報センター  
吉田 典子



日本アンチ・ドーピング機構が開催する本研修会は、スポーツファーマシスト認定者に対し、実際の問い合わせの対応方法などを学ぶ機会を設けることで、今後の業務に生かして頂くとともに、集合研修とすることで、日頃疑問を持たれている点を他のスポーツファーマシストと共有、解決して頂くことを目的としている。また、どの認定者も同じ問い合わせの対応ができることを目指して構築された内容となっている。今年度は全3回開催予定。

今回の研修会は「国体に向けたTUE対応」をメインに、申請手続きの重要事項等について演習を交えながらの講義となった。TUE申請手続きの中で特に重要である“4つの承認条件”についての説明の後、事例をあげて演習が行われた。参加者との意見交換、疑問点など共有する時間も設けられた。ケーススタディとしては、急遽国体代表となった「突発性難聴」の競技者に処方されたプレドニゾロン内服(併用薬:メチコバル、アデホスコワ)の事例を検証した。TUE審査に必要な書類について、「診断名のみの診断書」では認められないため、許可されている治療薬で治療ができない理由や、検査結果、治療経過な

どの医療情報が必須であること、疾患によっては各疾患の診療ガイドラインに沿った情報も必要となる等、審査の厳しさ、重要性を改めて確認した。国体や2020オリ・パラリンピック等、今後県内アスリート及び関係者へのアンチ・ドーピング啓発活動において、使用薬剤の可否のみならず、TUE申請に関する情報提供の必要性を強く感じた。

◇参加者：25名(沖縄県内の2018年度認定者63名(うち会員44名))

\*TUE(治療使用特例):禁止物質・禁止方法の使用を要する医学的状態(病気やケガ)にある競技者が申請して認められれば、禁止物質・禁止方法を治療目的で使用することができる。

#### 【今後の開催日程】

第2回：2019年11月20日(水)19:00～21:00  
「国体開催県による情報共有」

第3回：2019年12月11日(水)19:00～21:00  
「症例検証」



## 災害対策

## 令和元年度 沖縄県災害対策本部設置運営訓練に参加して

会期：令和元年7月12日（金）事前説明会  
 令和元年7月23日（火）設置運営訓練日  
 会場：沖縄県庁4階 講堂



災害対策委員会  
鈴鹿 玲子

去る7月23日、沖縄県災害対策本部設置運営訓練に参加させて頂きましたのでご報告いたします。去年に引き続き2回目の参加となりました。訓練は医療関連団体の他、消防、警察、海上保安庁、自衛隊、気象庁、ライフラインやインフラ関係団体など多くの団体が参加し本格的なものでした。昨年よりも参加者も増えており、災害対策への関心の高さがうかがえました。

訓練はシナリオ非開示型ロールプレイング方式図上訓練で実施され、初動対応期における災害本部活動を実践的・实际的に訓練するもので、私たちは、県災害医療本部に参加し、情報収集班として活動しました。

薬剤師会としての、意見や判断が求められない間は、情報収集班として、指示された最新の情報を集める作業に追われました。

J-MATやD-MAT、D-PATの方々には、独自に訓練をされており、実践も経験されているので、手慣れた感じで、出てくる課題や問題に、手際良く対応されていましたが、今回の想定が離島における被害が深刻であったため、離島への対応には悩まれている部分がありました。実際に災害が起きた場合も、おそらく離島への対応は厳しいことが多いのではないかと思います。

災害医療本部では病院・医院などの被災状況の把握や、受け入れ態勢、必要な物資等を広域災害救急医療情報システム『EMIS』を利用して収集されていました。

また、クロノロジー（入ってきた情報を時系列でならべる）を用いて、次々と入ってくる、さまざまな部署からの情報を時刻、発信元、受信先、内容、状況に分けてホワイトボードに記入し情報を共有しながら、解決できていない問題はないか、定期的に確認しながら対応をされていました。

昨年度は、薬剤師会の対応が求められる機会が、終盤に一度だけでしたが、今回の訓練では中盤に1度「備蓄医薬品を運ぶための、配送用車両の緊急車両登録と手配、そのための道路情報を県薬剤師会にFAXする」と、終盤に「D-MATが対応しきれない離島救護所へJ-MAT・看護協会・薬剤師会のチームを派遣する」との2度ありました。医薬品の配送は医薬品卸としての業務であったため、卸としての立場で回答しましたが、救護所への医療チームとして薬剤師会へ声がかかった時は、とてもうれしく思いました。

初動対応期の訓練だったので、これから避難所の情報収集、対応に入るという手前で訓練が終了しました。避難所の情報が入ってくれば、避難所での衛生管理や、救護所での医薬品の管理、薬事トリアージ等さらに薬剤師が必要とされたと思います。

また、医薬品については、配送時の緊急車両の手配という形ではありましたが、訓練中盤に出てきました。医薬品の手配については出てくることはありませんでしたが、実際に災害が起きた時は、早い段階で上がってくる

問題だと思えます。医薬品卸と、医師会、行政との連携、話し合うべき課題が多く見つかりました。

私は、卸勤務薬剤師なので各卸が災害時に備え、スムーズに連携をとり、医薬品を必要としている方々に届けられるよう、活動していこうと思えます。

また、薬剤師が災害時に対応できるよう、災害対応研修会なども定期的に行うと共に、災害時に積極的に協力してくださる薬剤師を募っておく必要があるのではないかと感じました。また、薬局の被災状況などを把握するシステム作りも必要と思いました。

災害対策委員会に参加させていただくよう

になり、卸の災害時の対応について尋ねられる機会が多くなりました。しかし、現在の卸間で災害に備える会議等の開催もなく、まだまだ整備が必要な段階だと思えます。また、難題が多くあると思えます。

しかし、少しずつ整備をして、災害に備えて行こうと考えております。

今回の訓練では、多くの方々が真摯な姿勢で参加し、有事に備える姿を近くで見ることができて、刺激を受けることができました。このような貴重な経験をさせていただいたことに、感謝申し上げます。ありがとうございました。この経験を、今後の委員会活動に活かしていく所存です。

## 地域保健

### 第256回全国禁煙アドバイザー育成講習会報告

日時：令和元年7月7日（日）9:45～16:00  
会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

令和元年7月7日に、日本禁煙科学会、禁煙健康ネット（沖縄）、禁煙マラソン主催の「第256回全国禁煙アドバイザー育成講習会」が開催されました。「うまくいった喜びを共感し うまくいくように支えあう そして笑顔で集う講習会」をコンセプトに、京都大学禁煙外来の高橋裕子氏を中心に講習会が進められました。

まず、「禁煙支援の基礎から最新知識まで」と題し、高橋裕子氏による禁煙支援の基礎内容と最新情報のお話がありました。近年の死亡要因は、1位がん、2位心疾患、3位肺炎、4位脳卒中。禁煙による肺がんのリスク軽減には約20年要することや循環器系では数か月要するなどの文献報告、クモ膜下出血やアルツハイマーのリスク軽減、歯周病のリスク軽減などいろいろな疾患に喫煙は関与しているということを改めて痛感しました。

職場環境においては、集中力低下による労

会営薬局うへはら  
上里 美矢子



災の背景には喫煙が関与していたり、夜勤と喫煙により死亡率が上昇するということが報告されていきました。一次喫煙（能動的）、二次喫煙（受動的）、三次喫煙（受動的）すなわちサードハンドスモークとって、喫煙者の呼気や髪の毛、衣類などにも有害物質が付着しており、受動喫煙を生じるといわれています。喫煙後すぐに屋内、職場に戻ると、他人も少なからず喫煙したことになるという状況というわけです。受動喫煙は医学的には完全に防ぐべきものと考えられています。

喫煙者は喫煙後45分は受動喫煙の影響を生じるといわれていることから、職場においても禁煙対策の重要性を改めて実感しました。

加熱式や電子タバコにおいても、有害物質90%カットと安全性を表記している販売会社はありますが、実際には200種類以上ある有

害物質のうち主流な9種類の成分に対してのみ表記しているようです。本当に安全性が高いかどうかは疑わしいものです。

次に、禁煙治療にあたり「タフスマーカー対応」について、ランチョンセミナー方式で高橋裕子氏よりお話がありました。喫煙はやめたい、でもやめたくない。手ごわい相手に対して、心理に基づく禁煙の声掛け法“4A+A”を推奨されていました。

4A+Aとは、「Accept-Admire-Ask-Advice-Arrange」の5つの頭文字をつないだもので、日本語では、「受け止める（くりかえす）－褒める－尋ねる－伝える－次につなぐ」という手法です。最後のA（Arrange）は、いつでもその気になったら相談できるような環境づくり、次につなげる気持ちを持ち、笑顔で対応することがポイントのようです。

続いて、「薬剤師の立場からみた最近の学校における禁煙支援・喫煙防止教育について」と題し、学校薬剤師でもある笠原大吾氏からは幅広い内容でお話がありました。

未成年による喫煙やアルコールがきっかけで薬物へ移行するケースは多く、今も昔も課題となっています。ノンアルコール、もちろん未成年はダメですので、社会的ルールとして大人のみなさんも未成年への対応は見直さないといけません。

加熱式タバコ、電子タバコについて、特に電子タバコでは、日本ではニコチンを除きフ

レーバーのみの許可であるのに対し、海外での販売やインターネット等での販売には、ニコチン含有や大麻含有のものも販売されているため、注意喚起がありました。

最後に、特別講演として、「DOHaD学説と喫煙」と題し、沖縄県立中頭病院ハワイ大学卒業医学臨床研修事業団の安次嶺馨氏による講演がありました。Developmental Origins of Health and Disease (DOHaD)とは、胎芽期・胎生期から出生後の発達期における種々の環境因子が、成長後の健康や種々の疾病発症リスクに影響を及ぼすという概念であり、諸外国では様々なコホート研究あるいは動物実験が行われているようです。

将来の健康や特定の病気のかかりやすさは、胎児期や生後早期の環境、影響を強く受けて決定されるとなると私自身女性としてドキッとさせられる内容でした。

投薬窓口にて、若い妊産婦による喫煙者に遭遇することがありますが、なかなか禁煙を理解してもらえず頭を悩ますことがあります。未来ある子供たちのためにも、禁煙の声掛け法“4A+A”やDOHaD学説を踏み込んで、今後の職務にトライしてみたいと思います。

講習会の合間には琉球交響楽団団員によるクラシカルなミニコンサートも行われ、真夏の暑い中、心地よいひとときをすごすことができました。このような充実した講習会を開催していただいた関係者各位に感謝致します。



「薬剤師の立場からみた最近の学校における禁煙支援・喫煙防止教育について」  
笠原 大吾 氏



講習会の合間には琉球交響楽団団員によるミニ演奏も行われた

## 実務実習

# 令和元年度第1期薬学生実務実習報告



薬学生実務実習受入委員会  
委員長 佐藤 雅美

今回で10年目になる薬学生の実務実習は、令和元年度は新元号に相応しく、薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成25年度改訂版）（以下、新コア）による実務実習の初年度となりました。それまでの3期体制から4期体制への変更に伴い、第1期が前年度2月からのスタートとなりました。

1期（2月25日～5月12日迄）は、実習生21名（7大学：第一薬科大学・福岡大学・長崎国際大学・九州保健福祉大学・明治薬科大学・名城大学・徳島文理大学）を指導薬剤師19名（薬局）で受け入れました。薬局の繁忙期とも重なる中、受け入れていただいた指導薬剤師をはじめ、薬局の皆様には本当に感謝申し上げます。

実習においては、感染症の流行時期ということもあり、学生にとっては数多くの患者対

応が可能だったのではないかと思います。逆に、年度代わりの時期ということで、学校薬剤師の実習が充分できなかったとの指導薬剤師からの声もありました。

また、今回から大学が中心となり、病院・薬局と連携することで、22週間の実習を通して学生が「代表的な8疾患」を学べるような取り組みもスタートしています。

今後、新コア実習による様々な問題点を吸い上げ、より良い実務実習にすべく実習後のアンケートもお願いしているところで、引き続きご協力を宜しくお願い致します。

以下に、実習生の感想文と実習薬局、実習協力機関を掲載いたします。紙面をもって御礼に代えさせていただきます。ありがとうございました。

### 実習薬局（19薬局）

（以下、順不同・敬称略）

- |            |           |         |         |           |     |
|------------|-----------|---------|---------|-----------|-----|
| ○アリス薬局     | ○うさぎ薬局    | ○そうごう薬局 | 新赤十字前店  | ○すこやか薬局   | 松島店 |
| ○レモン薬局     | ○なごみ薬局    | ○すこやか薬局 | おもろまち店  | ○すこやか薬局   | 外間店 |
| ○ゆうな薬局     | ○豊見城薬局    | ○とくりん薬局 | 前田店（2名） | ○すこやか薬局   | 知花店 |
| ○病院前薬局     | ○吉田薬局     | はんたがわ店  | ○すこやか薬局 | ライカム店（2名） |     |
| ○クララ薬局ティエラ | ○メイト平良川薬局 | ○すこやか薬局 | あげだ店    | ○ミドリ薬局    | 美里店 |

### 協力施設・委員会・団体

- |                       |                     |              |            |
|-----------------------|---------------------|--------------|------------|
| ○ぼたん薬局                | ○（株）薬正堂（すこやか薬局グループ） | ○こくら虹薬局      | ○まつお虹薬局    |
| ○会営薬局医療センター前          | ○すこやか薬局 野嵩店         | ○すこやか薬局 具志川店 |            |
| ○ドラッグイレブン薬局 新都心おもろまち店 |                     | ○ミドリ薬局 美里店   |            |
| ○（株）琉薬                | ○（株）ダイコー沖縄          | ○（株）アトル沖縄営業部 | ○（株）スズケン沖縄 |
| ○沖縄東邦（株）              | ○学校薬剤師部会            | ○各地区薬剤師会     | ○学校薬剤師の先生方 |

## 実務実習薬学生 令和元年度 第I期生からの体験記・感想

長崎国際大学5年 久場川 愛

(レモン薬局 実習 指導薬剤師 平田 崇)

実務実習の最初の頃は、実習生が本物の患者さんを相手に投薬を行うと嫌がられるのではないかと、薬局での業務についていけるかなど不安が大きかったです。しかし、薬剤師がひとつひとつ丁寧に、覚えやすく、理解しやすい順番で教えてくれ、すぐに薬局に馴染むことが出来ました。それから投薬の際には、患者さんも優しく練習に付き合ってくれました。

調剤は、はじめは右も左もわからない状態でしたが、薬の配置や機械の使い方、効率の良いやり方などを細かく教えていただいたので、早い段階で一人で調剤をこなすことが出来るようになりました。投薬に関しても、はじめに座学で、薬だけでなく、疾患についても教えていただき、さらに患者に対してどのように服薬指導を行えば良いのか、どういった説明を患者側が求めているのかを考える時間をいただくことで、ひとつひとつの投薬を落ち着いて、スムーズに行えるようになりました。また、投薬を多くこなしていくうちに、自然と患者の様子を観察したり、患者によって話し方や声量を考えたりなど工夫するよう

になり、相手とのコミュニケーションの取り方について身をもって学ぶことができました。投薬をする際、患者から質問を受け、解答した時に自分の説明で納得をしてもらえた瞬間が一番達成感があり、嬉しかったです。

それから局外でも漢方やOTC、学校薬剤師や在宅医療について学ぶ機会をもらいました。漢方や学校薬剤師、在宅医療に関しては学校でも学びますが、知識として理解していることでも、実際の現場ではその通りにはいかないことやもっと工夫をしなければならないことがたくさんあることを知ることができました。さらにOTCについては学校であまり触れることがなかったので、今回ドラッグストアで活躍する薬剤師の業務を実際に見学することができたのはすごく貴重な体験になったと思います。

今回の実習では、学校ではなかなか出来ないことを、臨床の視点で考えたり、学んだりすることが出来、充実した2ヶ月半となりました。この実習で学んだことを病院実習や国家試験だけでなく、将来薬剤師になった際にも活かせるようにしたいと思います。



令和元年度第1期実務実習薬学生記念撮影

福岡大学5年 仲吉 沙也加

(そうごう薬局新赤十字前店 実習 指導薬剤師 西川 裕)

私は2月25日からの2カ月半、そうごう薬局新赤十字前店で実習をさせていただきました。今回の薬局実習の中で、今までぼんやりとしか考えてこなかった薬剤師としての役割を指導薬剤師の西川先生や患者さんから学ばせていただき、考えることができたことは、私にとって一番大きな勉強になりました。服薬指導の時は、患者さんに確認し、それを評価して伝えることが大切だということを西川先生から沢山教わりました。例えばお薬をしっかり飲まれていたら、飲めていることへの評価をする。患者さんが不安に感じていることがあったらその事実から評価し、評価の根拠も伝えることが薬剤師の仕事であるということを学びました。実際に服薬指導をしてみて、評価して伝えることは意識しないと難しいのだなと感じました。大学で練習したロールプレイと実際とはやはり全く違うことがわかり、経験していくことが大事だとわかりました。おくすり相談会に参加させていただいた時には、私も少しだけ、相談会に参加された方々とお話しする機会がありました。薬局や病院でない場で自分の健康について相

談できる機会があるというのはとても良いと思ったし、実際に来てくださった方々とお話をされていて、こういった地域の方々の健康増進の力になりたいと思うようになりました。薬剤師がこのような活動をしていることを知って、これからの薬剤師の役割について考えるきっかけになりました。

疾患と薬の知識をもっと身に着けるべきだということも、この実習を通して感じました。薬の知識はもちろんですが、検査値や疾患の知識がないと、患者さんに説明することは難しいことがわかりました。今回の実習では、在宅訪問を通して以前よりも詳しくなれた疾患があるので、いい経験になりました。薬剤師になっても勉強は終わりではなく、医療人である以上日々勉強を続けたいいけないことはわかっているので、これから努力し続けられる人になりたいです。この11週間そうごう薬局をはじめ、外部実習でも多くの方々にお世話になりました。沢山学ばせていただいて、感謝しています。学んだこと反省したことを忘れず、まずは次の病院実習に活かしたいです。本当にありがとうございました。



オリエンテーション

## 第一薬科大学5年 又吉 莉子

(メイト平良川薬局 実習 指導薬剤師 福地 健治)

2.5か月間の薬局実習では、薬局内での業務において、調剤や薬歴作成など初めてのことばかりで戸惑いもありましたが、薬剤師が丁寧に教えてくださり、充実した実習を送ることができました。

初めは、計数調剤や監査などを主に実践し、その後、一包化調剤や服薬指導を体験させていただきました。服薬指導を行う際には、患者さんによって接し方や声の大きさ・スピードなど様々な工夫をすることが重要だと実感しました。耳の遠い患者さんの場合、声を大きくゆっくりと話し、ジェスチャーをすることで伝わりやすいことがわかりました。また、整形外科の門前薬局ということもあり、足・腰の悪い患者さんが多かったため、薬剤師が患者さんの座席まで行き、服薬指導を行うこともありました。患者さんが安心して医療を受けるためには、薬剤師としてどのように接するべきか、薬局は子供から高齢者まで幅広い年代の方が来局されるため一人一人にあった対応を考えながら実習を行いました。処方箋に記載された薬から患者さんの病態を推測しながら調剤を行い、薬の知識だけを一方的に伝えるのではなく、患者さんがわかりやすい言葉で説明する必要があると学びました。

実習に慣れてきた頃、ピッキングの際、薬の名前を確認することだけに集中してしまい、規格や錠数を見落とすことがありました。また、一包化調剤の際、用法用量を間違えて一包化をしてしまうという失敗が続きました。その際、処方箋と調剤薬を何度も確認し、正確に行うよう心がけ、処方箋監査と調剤薬監査の重要性を学ぶことができました。

1週間小児科の門前薬局で実習をさせていただきました。小児科の門前は、水剤と散剤の処方が多く、主に計数調剤を実践しました。水剤の調剤は学校で実習して以来やっていたため、計算などの記憶が曖昧で不安でしたが、数をこなすことで理解し、スムーズにできるようになりました。散剤は、なかなか均等にできず時間がかかることがありましたが、練習するうちに均等にできるようになり嬉しかったです。

この2.5か月という短い期間で、薬局実習でしか学ぶことのできない多くのことを経験し、たくさんの知識を得られ、より薬剤師になりたいという気持ちが強くなりました。病院実習では、まだ関わったことのない疾患について知識を深め、薬局での経験を活かしたいと思います。



学校薬剤師について学ぶ

九州保健福祉大学5年 洲鎌 光基

(とくりん薬局前田店 実習 指導薬剤師 宇津野 宣仁)

薬局実習では薬剤師、医療事務員が各々の役割に責任を持ち、協力し合い、患者に対応していた。仕事をする際にはチームワークが1番大切であり、他の職種も尊重していくことが大切であることがわかった。

薬剤師としての業務は調剤や投薬があるが、管理薬剤師は在庫の管理やメーカーや卸の方々の対応も必要となっていくことが学べた。また、業務中にミスが起こることは人間なので仕方ない。そのミスの後、どのように対処していくか、ミスを繰り返さないことが大事で、その差ができる人とできない人が分かれていくポイントだと学んだ。

国家試験に合格して薬剤師となった後も学ぶことが多く、改めて一生勉強だと感じた。しかし、ガイドライン通りに治療が必ずしも行われるわけではなく、医師によっても考え方が変わり、勉強をひたすらするといったことだけではわからないことも出てくるので、自分の経験、周りの経験を聞く等して自分の知識として取り込んでいくことが1番の成長

につながっていくことを学んだ。

投薬では患者の情報を聞きとり、患者に納得して薬を飲んでもらうためには、患者の年齢や性格に合わせて話し方や言葉の表現を変えていく必要があることがわかった。

漢方実習や薬局製剤、卸の見学など、県薬剤師会の手配があって参加でき、薬局ごとの違いや薬局に薬剤が届くまでの卸の仕事がどのように行われているのかを見学できて良かった。また、実習生同士のかかわりを持つるきっかけにもなり、将来同じ沖縄で働くかもしれない仲間とコミュニケーションが取れたことも良かった。

調剤薬局の薬剤師は1日の受診の最後に患者に接することとなり、次回の受診時の際までのモチベーションを与えてあげられる存在であると思う。患者に元気ややる気を与えてあげられるように人間としても成長していきたいと最後に一番感じた。

徳島文理大学5年 川満 彩

(すこやか薬局知花店 実習 指導薬剤師 比嘉 浩一)

約3ヶ月の薬局実習を終えて、私が感じたことは、調剤薬局は地域住民の健康向上に一番近い存在であるということです。私が実習を行った薬局は、生活習慣病の患者さんが大部分を占めており、定期的に薬局にきて、薬物治療を行っていました。また、未病の段階で、血糖値を測りに薬局に寄る方もいて健康相談をされていました。患者さんがドクターに聞くことのできないことも、薬局で薬剤師に気軽に聞ける環境があることを知ることができました。患者さんが、薬剤師に相談できて良かったと、笑顔で帰る姿をみて、とても素敵なことだと思いました。それをみて、私も将来、患者さんが気軽に相談できる存在になりたいと強く思いました。

薬局実習を行う前は、薬局の薬剤師は調剤業務がメインだと思っていましたが、患者さんの健康相談を聞き、コミュニケーションをとっていくことが一番重要だと学ぶことができました。

近年、高齢化が進む中で、薬局は在宅医療も主な仕事であることがわかり、薬局を出ての薬剤師の活躍が期待されていることがわかりました。薬の専門家である薬剤師が、様々な所で薬剤師の職能を発揮できるよう、国家試験を無事合格し薬剤師になって、社会に貢献できるよう頑張ります。

第一薬科大学5年 伊是名 秀亮

(クララ薬局ティエラ 実習 指導薬剤師 宮本 直樹)

最初のころは薬を見ても何の薬か分からなかったり、処方せんを見て患者さんがどうして受診したのか理解できませんでした。今回の実習を通して、よく出る薬は何の症状で使われるのか、患者さんの処方せんをみて高血圧や脂質異常などで受診されていることなどが見てわかるようになりました。

一包化などの作業も最初は数が少ない物でも時間が掛かっていましたが最後の週に近づくにつれ正確にそして早くできるようになり

自信ができました。

学校薬剤師の見学、ドラッグストア見学、在宅の様子、医薬品の流通の見学など色々なことも体験できたので自分のなかでは今回の薬局実習はとても充実したものでした。

今回の薬局実習での経験を活かしていきたいです。実習先の薬剤師の方たちや事務員の方たちには本当に良くしてもらったので心から感謝しています。

徳島文理大学5年 金城 詠美

(病院前薬局 実習 指導薬剤師 古堅 恵利)

私は、那覇市立病院の門前薬局の病院前薬局で実習をしました。調剤や服薬指導、納品など様々な業務をさせて頂きました。総合病院の門前薬局であったので、様々な処方箋を見ることができました。また、他店舗の薬局でも実習をさせてもらい、様々な薬局を見ることができて、勉強になりました。

指導薬剤師の先生は、業務で忙しいにも関わらず丁寧に教えてくれました。薬局の皆さ

んも私のことを気にかけてくれて、丁寧に色々教えて下さいました。私が行きたい勉強会、卸会社の見学、外部実習などにも参加させて頂きました。

私は薬局実習をとっても有意義に送ることができました。病院前薬局で実習することが出来て、とても良かったです。ありがとうございました。

第一薬科大学5年 新川 祥平

(うさぎ薬局 実習 指導薬剤師 川上 善久)

薬局では自分で動く積極性や自分で考えた事を他人に共有する難しさを学び、その機会を多く与えて頂きました。医療人として患者に対しどう接するか考えるのはもちろんですが、その前に一人の人間に対しどう接するかをこの実習を通して学ばせて頂きました。

服薬指導の際に、患者が症状に対し医療人に理解できないことを訴えてきた場合、それは原因不明と見なされ、心療内科や精神科に行くように指導してしまうことも少なくない

と教えて頂きました。しかし「精神科に行ってください」と、もし指導した場合、その方はどう思うのかを考えると、深く傷つき医療機関には自分の症状をわかってもらえないと感じてしまうに違いありません。医療人として服薬指導の場に立つのではなく、ひとりの人間としてその場に立つことができたなら、違う言葉かけができることと薬局実習を通して感じました。

徳島文理大学5年 花城 帆乃佳

(すこやか薬局ライカム店 実習 指導薬剤師 金谷 智尋)

私はすこやか薬局ライカム店で実習させていただきました。

学校での事前学習で学んだことと実際の業務の違いがあるのか、医薬品の提供までの流れがどのように行われているのか、現場でしか学べないことを自分の目で見て経験することで理解し、とくに患者さんとの会話を大切にして高いコミュニケーション能力を身につけることを目標に、実習に臨みました。

最初は、調剤を中心に教えてもらいました。総合病院の門前ということもあり薬の種類はかなりありました。先発品からジェネリックへの変更がなかなか覚えられず難しく、規格の取り間違いや、水剤や散剤では計算ミスがよくありました。患者さんが集中する時間帯は焦ってしまうため、集中力をきらさないように調剤後の確認を心がけました。

服薬指導では、まず鑑査をして次に薬歴と薬情を見て患者さんの情報を予習し、どのようなことを質問するのかを考えた上で服薬指導に臨みました。OSCEで練習したように話してみましたが、最初のころは緊張で声が

小さくて患者さんに聞き返されることもありました。服薬指導の数をこなしていくことで自然な会話ができるようになり、また実習生と名乗ると「がんばってね」と応援してくれる患者さんも多く、緊張もほぐれて笑顔で接することができました。患者さんの主訴、医師の見解、検査値などからどういう理由でこれらの薬が処方されているのかを考えるようにしていたので服薬指導を行うたびに薬の知識も身につけていきました。投薬では現場でしか学べないことを多く経験できました。

研修では、OTCや漢方製剤、卸業者見学、夜間薬局、薬局製剤などについて学びました。見学して自分の目で見ることで、地域で活躍している薬剤師についても理解することができました。

この実習を通して、薬剤師の役割と責任を理解し、医薬品の供給・管理、健康相談、地域との関わりについての基本的な知識・技能・態度を習得できたので将来薬剤師になった時に活かしたいと思います。

九州保健福祉大学5年 高尾 明日香

(すこやか薬局松島店 実習 指導薬剤師 古堅 直也)

11週間の実習期間の中で様々なことを体験し学ぶことができました。薬局実習が始まる前までは授業で調剤を行うだけだったので、自分が調剤した薬が本当に患者さんの手元に渡ると考えると心配で不安でしたが、先生方から細かい調剤の手技や処方箋、薬歴の見方などを教えていただいて後半は自信を持って調剤することができました。他にも学校では習わないような処方や新薬についての情報などこれからの国家試験に役立つ情報についても学ぶことができ、とても有り難かったです。また、薬局実習が始まって先生たちの仕事の様子を見てみると、私が思っていたよりも疑義照会の数が多いことに驚きました。疑義紹

介の内容としては、向精神薬の処方日数が長すぎたり、遮光が必要な薬に半錠の指示が出ていたりなど基本的なものから、患者さんの身体に関わる重要なものまで様々でした。先生たちが患者さんとの会話やお薬手帳、問診票、薬歴などから得た情報を元に残薬を確認したり、副作用を未然に防いだりするところに薬剤師の重要性とやりがいを感じました。

外部実習では、漢方製剤を始め救急医療や学校薬剤師、卸、OTC医薬品などの実習を行ないました。その中でも特に記憶に残っているのは、卸とOTC医薬品についての実習です。卸ではどのように薬が薬局まで運ばれているかの具体的な流れや、沖縄という島国ならで

はこの薬の供給の難しさについて知ることができました。OTC医薬品についての実習では、患者から情報を聞き取って適切な薬を薬剤師が選び、提供するという点で調剤薬局の業務との違いを感じとても興味を持ちました。

今回の実習を通して薬学に関する専門的知識

はもちろんのこと、勉強だけでなく、コミュニケーション能力や問題解決能力、対応力なども薬剤師として働く上でとても重要だと感じました。少しでも実習先の先生方のような立派な薬剤師に近づけるようこれからも頑張っていきたいと思います。

九州保健福祉大学5年 親川 大地

(すこやか薬局あげだ店 実習 指導薬剤師 仲間 聖)

11週間薬局で実習してたくさんのことを学びました。実習で一番学んだのは、対物業務から対人業務に移行していることです。薬局では機械化が進んでおり、調剤業務や鑑査業務が効率化されていました。特に驚いたのは水剤分注機で、いつもはメートルグラスで全量を量り投薬瓶に入れていたが、水剤機は全量に合う投薬瓶を中に入れてボタンを押すだけで調剤をしてくれました。水剤機で調剤している間に他の調剤や鑑査ができるので効率的でした。また鑑査業務でも機械を用いて薬のバーコードを読み取り処方せんの薬と調剤してきた薬が一致しているのか確かめていました。そうすることで鑑査の確認事項が減り、また調剤過誤のリスクも軽減できるので驚きました。対物業務が機械化により効率的にできるので、一人の患者さんにかかる時間が増えていました。服薬指導をする前に薬歴を確認し前回どんな薬を飲んでいるのか、今回薬

の変更点はないか、患者さんに気を付けることはないか、前回確認し忘れたことはないかなど、お薬手帳から他の薬局からどんな薬をもらっているのか、今回処方される薬が重複してないか、薬の相互作用はないかを確認していた。患者さんにかかる時間を増やすことでコンプライアンスや患者さんの安全を守っていました。対人業務に移行しているため、薬剤師に求められるものが薬学的知識だけでなくコミュニケーション能力や情報処理能力などがあり、それらの能力を高めていく必要があると感じました。薬局で実習をしていて学校で学んだことや臨床の現場にたつて初めて分かることなどがありいい体験ができたと思います。実習を行い薬剤師の仕事を経験したことで、より一層薬剤師になりたいと感じ社会に貢献できるように頑張っていきたいと思いました。

九州保健福祉大学5年 原田 夏帆

(豊見城薬局 実習 指導薬剤師 長谷川 幸司)

この実務実習で多くのことを学び経験しました。実習に来る前はこんなに外部実習があることも知りませんでした。知識不足な私を薬局や外部実習の方々はとても丁寧に指導して下さいました。そのため、とても楽しく学ぶことができました。薬剤師になるための知識だけでなく社会性も学び、人の温かみも感

じました。関わってくれた方々には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

この実務実習を通して、薬剤師にはたくさんの職種がありそれぞれに役割があると実感しました。しかしすべて共通して言えることは、人とのコミュニケーションの大事さだと感じました。医療チームとして看護師・医師、

ドラッグストアでは地域の人々、学校薬剤師では学校の先生や生徒たち、もちろん患者さん一人ひとりとも向き合います。中でも、医療を担う中で地域の人々と一番触れ合うことができるのは薬剤師だと思いました。身近な存在だからこそ、難しい専門用語を使うと患者さんは離れてしまうし、医師の言葉を柔らかく説明するというのも時にはしなければなりません。知識はもちろん大事ですがいかに相手のこと考えて日常に関連させて説明できるかがポイントとなってくると感じました。実習に行く前に断片的に覚えている知識が患者さんに説明するときは何も役に立ち

ませんでした。体の中で起こっていることを患者さんに話すのはとても難しいことだと感じ、同時に面白いとも感じました。患者さんに説明しようとすることや、他の薬剤師の先生の投薬を見ることで私の知識付けにもなりとても勉強になりました。そして人に説明するということはこういうことを言うのだと感じました。私が実習した薬局薬剤師の先生方が投薬するのを見ている時、患者さんへの言葉の使い方一つ一つが的確であると感じる場面が多かったです。このような薬剤師の先生方の言葉を学んで、いつか完全に自分の武器にできるようにになりたいと思いました。

名城大学5年 玉城 亜寿香

(すこやか薬局外間店 実習 指導薬剤師 金城 奈々美)

私は、すこやか薬局外間店で実習させていただきました。実習を行う前は薬局に対して、そこまで重くない疾患の患者に薬の効果や副作用の有無を確認しながら薬を渡す場所、薬剤師といっても処方薬の決定などには深く関われない、調剤業務がメインの仕事というイメージがありました。しかし実習をしてみて、医師の処方に対して疑義が想像以上にあり、調剤よりも患者への服薬指導にかける時間が多く、在宅医療が進んでいて、ALSやアルコール依存症、ターミナルケアなどの薬局内ではなかなか関わらないような患者にも対応することがあると分かりました。漢方薬を扱うイメージもあまりありませんでしたが、意外と処方されていました。漢方相談薬局では、患者の話を聞いて、患者にあった薬を薬剤師が出している店舗もあると知り驚きました。また、学校薬剤師の仕事がどのように行われているのかなど実際に同行することで何度も学校に出入りして、検査を行っているというこ

とがわかりました。夜間救急は、平日は19時から24時、休日は9時から24時まで営業しており、地域の人だけでなく、本島全域、観光客まで様々な疾患の人々が訪れると知り、色々な薬剤師の活躍の場があるということを知りました。

今回の実習を通して、学校では学べない現場の雰囲気や薬剤師に求められる役割、患者との関わりなどを学ぶことが出来ました。処方箋が常に正しいと思わず、薬の用量・用法が正しいかなどの疑義を探す事も意識できるようになったと思います。また投薬では、患者に合わせた親しみ易い話し方や確認すべきポイントなどがあるということも学びました。この実習で学んだことは多いのですが、アウトプットがうまくできなかったのが次の病院実習ではたくさん知識や技術を吸収しつつ、学んだことを使えるように頑張りたいと思います。

## 第一薬科大学5年 匿名希望

(すこやか薬局ライカム店 実習 指導薬剤師 金谷 智尋)

私は11週間の薬局実習をすこやか薬局ライカム店で過ごさせていただきました。中部徳洲会病院という総合病院の門前に立地するため、取り揃える薬剤の種類が非常に多い薬局でした。錠剤は五十音順ではなく疾患別に棚に収められているため、商品名と一般名の違いもあって、実習の最初の頃はレシピ数の少ない調剤でもたいへん時間がかかりました。また調剤機器も充実しており、大型錠剤分包機、2剤までの散剤を混合できる円盤式の分包機、遠心力で軟膏を均一にすることができる機械などが取り揃えてありました。非常に親切なスタッフの方々の助けもあって、実習終盤にはこれらの機器での調剤もほぼ正確に行えるようになりました。

ライカム店は処方箋枚数が非常に多い上、内容も複雑で多種の薬剤を一人の患者さんが受け取る場合が多かったのですが、先生方がそれらの鑑査を素早く行い、よどみなく服薬指導されている姿にはいつも感心しておりました。多くの患者さんが来られるため、中には少し理不尽なことを先生方に投げられる患

者さんもおられたのですが、先生方は動じることなく諭したり、いなしたりして対処されていました。薬の知識だけではなく薬剤師という職種のコミュニケーション能力の重要性も感じました。

また、ライカム店では全国でも珍しいドライブスルーでの薬の受け取りを採用していました。沖縄の車社会という土地柄のニーズを考慮した素晴らしいサービスだと思います。

スタッフの方々の連携も洗練されていて、フロアスタッフの案内、受付、入力、調剤、投薬という流れがスムーズに行われており実習を通してプロの業務に触れることができました。

薬局外での実習では学校薬剤師の講演、在宅訪問、OTC薬局体験、薬局製剤を体験させていただいたのですがどれも興味深いものでした。

最後に、ご指導していただいた先生方、スタッフの皆様11週間本当にありがとうございました。

## 明治薬科大学5年 宮城 彩

(すこやか薬局おもろまち店 実習 指導薬剤師 玉村 澄恵)

薬局実習を終え、振り返ると学びの多い11週間でした。学校の授業を受けるだけでは知ることのできなかつたこと、実際の現場に行くからこそ理解、勉強になる事が多くありました。

特に印象に残っていることは、服薬指導において、患者さんが何を薬剤師に求めているか考え臨機応変に対応すること、そして薬剤師の立場である以前に、人と人との関わりであるという意識を持つことでした。私が服薬

指導した患者さんは、急いでる方もいれば、たくさん話してくれる方もおり、みな様々でした。その中で薬剤師は患者さんから必要な情報を聞き出し、いかに簡潔に分かりやすく説明するかが大切だと感じました。また、処方箋と薬歴のみを重視するのではなく、その場にいる患者さんに対し、1人の人間としての視点を持つ事で、その人にあった話し方や対応ができると思いました。これらの配慮が患者さんに薬学的指導を聞き入れてもらうこ

とができ、薬への意識やコンプライアンスに繋がるのだと思います。

また、指導薬剤師からの服薬指導において、患者さんの名前を3回呼ぶ事で人は親近感を抱くというアドバイスがとても印象に残っており、ひと工夫する事で患者さんとのコミュニケーションの幅が広がり、患者さんとの距離も縮まることに感動しました。病院実習においても実践していこうと思います。

この場を借りて、すこやか薬局おもろまち店の薬剤師の先生方をはじめとして、事務の方々に感謝申し上げたいと思います。知識不足や至らない面も多くあり、ご迷惑をかけることもありましたが、いつも優しく、丁寧に接していただき、本当にお世話になりました。この薬局実習での経験を活かし、これからも日々精進していきたいと思っています。ありがとうございました。

### 第一薬科大学5年 中本 明日

(吉田薬局はんたがわ店 実習 指導薬剤師 吉田 洋史)

2か月半の薬局実習では、調剤や患者対応、医薬品の管理・採用、OTC販売など様々な業務を体験させていただきました。調剤、調剤薬監査、処方解析においては、工夫していることや気を付けていることなどを学び、一つ一つの業務の意義について考えながら行うよう心がけました。多くの処方箋の調剤を実践できたので実習開始時と比べ、薬から病態を推測できたり、調剤を素早く正確にできたりと自分自身の成長を実感できました。

服薬指導では、患者さんとお話をする前に患者さんの病態やなぜその薬が使われているのか、それぞれの薬について患者さんに何をどのように説明するか、何を質問するかなど時間をかけて調べたり、先生から教えていただいたりして準備をしました。実際に患者さんを前に指導を行ってみると、なかなかうまくできず、薬や疾患の知識だけではなく、幅広い知識とコミュニケーション力が非常に重要だと実感しました。また、患者さんの病状や年齢など一人一人に合わせた服薬指導を行うことの大切さを学びました。回数を重ねるごとに緊張は減ったと思いますが、まだまだ

スムーズではなく先生に助けていただくことも多かったです。今後の課題としては、服薬指導にまだ不安が残るため、患者さんに分かり易く説明できるよう、薬の知識を身につけたいです。

薬局外での業務において学校薬剤師や在宅、施設訪問へ同行することができ、座学の知識だけでは学ぶことのできない多くのことを経験することができました。在宅へ同行した際、お薬カレンダーでのお薬管理や患者さんご家族への服薬指導を見学することができました。在宅医療では、患者さんを中心にご家族や他の職種と情報共有することの大切さを学び、多職種連携において薬剤師も大きく関われることを知り、興味を持ちました。薬剤師は薬局内の業務だけではなく、様々な場所で活躍でき地域医療への貢献に携われることを学びました。

この貴重な経験を糧として、薬剤師を目指し勉強に取り組んでいこうと思います。丁寧にご指導していただき本当にありがとうございました。

## 長崎国際大学5年 高嶺 佳乃

(なごみ薬局 実習 指導薬剤師 伊敷 美佳)

11週間の薬局実習が終わりました。長いと思っていた実習もあっという間に終わり、今回の実習がとても充実していたと実感しています。

薬局での実習では、基本的な調剤を行いましたが、監査のしやすい方法や調剤のコツなど、学校では習わない様な事が学べました。薬の名前や作用などを覚えるのは苦手でしたが、実際に調剤していると特徴や副作用まで自然に覚えることができ、嬉しかったです。また、処方内容から疾患や指導内容を考え、実際に服薬指導を行いました。服薬指導では、学校で習っていたマニュアルが通じない事が多く、指導薬剤師のやり方を見て指導方法や内容、会話の仕方を学びました。服薬指導をしていて驚いたのは、私たちが何気なく使用している言葉や単語が、患者さんには通じないという事です。わからないまま薬を服用し、症状が改善しなかったり悪化したりする患者さんもあり、言葉をできるだけ簡単にわかりやすく説明することに苦労しました。

外部実習では、漢方薬やOTCなどについて

学ぶ機会があり、その中でも一番印象深いのはドラッグストアでの実習です。ドラッグストアでは医薬品を気軽に購入できるイメージがありますが、同じ効能の薬でもたくさんの種類があるため、お客様に症状や状態などを聞き、どの薬が一番適しているのか選んであげる必要がありました。そのために、たくさんのOTC医薬品のそれぞれの特徴を知らなければならぬと学びました。

11週間、様々な場所で薬局実習を行ってききましたが、どの場所においても薬剤師として、コミュニケーションはとても大切だと改めて感じました。患者さんの不安や要望などを理解し、安心していただけるような会話や説明をすること。また、それだけでなく、薬に関係ない日常生活の話なども気軽に話して貰えるような信頼関係が大切だと思いました。コミュニケーション能力をうまく身に付けることは大変ですが、患者さんの立場に寄り添って考えることができれば少しずつ身につけてくるのではないかと思うので、これからの病院実習でも積極的に頑張りたいと思います。

## 福岡大学5年 平良 若子

(アリス薬局 実習 指導薬剤師 普久原 隆)

11週間アリス薬局で薬局実習を行いました。調剤薬局では処方箋を受け付けて調剤するのみだと思っていましたが、実際には地域活動の一環で学校薬剤師として児童・生徒の健康安全のための活動や在宅医療などさまざまな活動を行っていました。中でも特に印象に残っているのは在宅実習です。患者さん宅に向かう前に患者さんの今の状況を聞いたときにとても暗い気持ちになってしまいましたが、実際に患者さんに会ってみるととても前向きで家族も明るく、むしろ私のほうが元気をもらいました。また、重症の患者さんを前にした時に一歩引いてしまったり暗い顔になってしまったりしましたが、自分が逆の立

場だったらと考えた時に、笑顔で接したほうが安心して医療を受けられ元気になってもらえると考えました。これから病院実習が始まりますが、患者さんに少しでも安心してもらえるように笑顔で心のこもった医療人になれるよう努めていきたいです。

また、薬局ではただ調剤するだけではなく、患者さんのためにさまざまな工夫が施されていてとても感心しました。兄弟で同じ薬が処方されている時、親御さんが間違えて投与しないように色別に分包紙に蛍光ペンで線を引いたり、シロップの容器にマジックで大きく名前を書いてあげていたりしました。些細なことですが、過剰投与を防ぐためにもとても

大切なことだと思いました。ただ調剤してただ服薬指導するだけではなく、患者さんが安全に服用できるように考えて工夫をすることの大切さを学びました。

11週間の薬局実習を通して、薬剤師は地域の方々の健康のために最善を尽くし、地域医

療に深く携わる大切な職業だと改めて感じることができました。この機会をくださり温かく指導していただいた先生方や事務員さんに感謝し、今の気持ちを大切にして一人前の薬剤師になれるよう努力していきたいと思っています。

長崎国際大学5年 長嶺 僚紀

(ミドリ薬局美里店 実習 指導薬剤師 玉城 武範)

ミドリ薬局での実務実習を行い、薬局業務だけでなくOTC医薬品の販売や相談、在宅訪問、学校薬剤師業務など様々な体験を行うことができました。薬局とは地域の中にありその薬局のある地域で住民に必要とされているものが違ってきます。指導薬剤師が公民館での健康講話や老人施設への在宅訪問、介護ヘルパーさんへの薬に関するアドバイス、地域住民の薬に関する相談などを行っているのを見ました。いままで薬剤師は薬局の中で薬を渡すだけのイメージでしたが、地域の人達と関わりあいながら、様々な働きかけができることを知り、考え方が変わりました。また私はバイト等の経験が無かったため、いままでは同年代としかほとんど会話をする機会がありませんでしたが、今回の実習で、コミュニケーションに関して方法や注意点を多く学ぶことができました(他のスタッフへの接し方や連携の取り方、薬局の患者さんやドラッグストアのお客さんの対応方法など)。

学校では薬の作用機序を重点的に勉強して

いましたが、薬局で服薬指導を行っていて作用機序などの知識も大事だが作用機序を患者さんに細かく説明することは無いことを知りました。服薬指導は、患者さんに対してどれだけ分かり易く説明し服用する理由を納得してもらえるかが大事です。小児や老人などで説明方法が違って、同じ薬でもいろいろな症状に用いるため様々な説明方法があり、患者さん一人一人薬局にきた背景が違って、服薬指導が凄く難しいものだと知ることができました。また薬局での業務を行っていて、薬局では粉薬や軟膏の混合調剤、一包化などは機械での自動作業となっており、薬剤師の仕事が対物から対人の仕事へと変わっていているということを実感することができました。

約3か月間薬局だけでなく薬局外の様々な地域の活動、ドラッグストア、他の職種の方達との連携の取り方などを教えてくださってありがとうございました。

長崎国際大学5年 仲西 彩香

(とくりん薬局前田店 実習 指導薬剤師 宇津野 宣仁)

11週の薬局実習は、始まる前は実際の薬局という医療が行われている現場に行くことに不安と緊張がありましたが、沖縄県薬剤師会での説明会や薬局でも丁寧に業務について教えていただき、安心して臨むことができました。

現場の実習では全く知識と技術が伴っていない中でも、現場の薬剤師の方々が優しく指導してくれました。患者さんとの対面でも気

づきや教えていただくことが多かったです。特に医学的に「正しい」ということもただ押し付けるだけでは医療の実践とはなり得ず、患者さん本人の意思で行えるようにお手伝いしていけるようになることが大事であることを痛感しました。それぞれの患者さんの背景や治療についての姿勢が異なる中で「何をどう話すのか」を前もって時には瞬時に判断し

て話す事は、一回ごとに野球試合のバッターボックスに立っているようで想像以上に緊張し、多くの反省が生まれるものでもありました。

また、薬剤師会での学校薬剤師新人研修会や実際の学校薬剤師の業務に携わる機会をいただいて薬剤師の活躍の場が医療現場だけでなく、その前段階である衛生業務も健康を守るという観点で重要なものであることが実感でき、視野が広がりました。

施設での在宅医療についても現場を見せてくださり、薬局ではあまり意識していなかった他の医療職種の中での薬剤師の役割が明確になり、非常に勉強になりました。

今回受け入れてくださった薬局ではグループ内の他の薬局でも指導を行っていただきより多くの疾患の処方について学ぶ機会が与えられ、薬剤師の方々から講義を行っていただき実際の現場に必要な知識・経験を学ぶ環境として大変恵まれていました。

実習中は不手際や失敗も多く、大変ご迷惑をおかけしたと思いますが、それでも的確に指導してくださった指導薬剤師をはじめ、グループ薬局の薬剤師や事務の方々に心より感謝申し上げます。今後の病院実習、ひいては大学での勉学、さらに社会に出ていく際にも役に立てるよう精進していきたいです。

長崎国際大学5年 比嘉 良太

(ゆうな薬局 実習 指導薬剤師 高木 宏之)

まず始めに、今回実習させていただきました株式会社筑後ゆうな薬局の皆様、沖縄県薬剤師会の皆様、その他実務実習に関わった皆様、お忙しいところ実習を受け入れて下さり誠にありがとうございました。

薬局実習では、服薬指導などで患者様やその家族と直接話し、薬の説明や患者について聞き取りを行うため、潤滑にコミュニケーションをとることが一番重要だと感じました。患者様は患者である前に一人の人間であり、こちらの話を聞いてくれる人、くれない人、治療に積極的な人、関心のない人など様々でした。副作用や飲み合わせなど注意事項を伝えることは重要ですが、患者様本人の意見を聞かず、自分の話したい事のみを伝えると良い人間関係は作れません。患者様の知りたい事や要望をできる限り尊重し、患者様の需要に合わせた服薬指導を行う事で良い人間関係を築き、必要最低限の情報を理解していただくことが重要だと感じました。

私は実習に入る前、保険調剤薬局では、門前の病院やクリニックとしか関わりがないものと考えていました。しかし、実際には周辺

地域の薬局との医薬品の貸し借りや、門前以外からの処方箋をもってくる患者様もいるため、地域におけるチーム医療の役割を果たしており、おくすり手帳を用いた一元的な服薬管理や在宅患者への服薬指導など、地域包括ケアシステムにおいて重要な役割を担っていることを実感しました。

また、外部実習では、ドラッグストアや漢方薬局、在宅医療など、一つの薬局ではカバーできない分野の実習もさせていただきました。ドラッグストアでは患者の不調に対して医薬品選択のサポートを行い、漢方薬局では明確な診断のつかない不定愁訴に対して強みを発揮している点など、様々な事を学ばせていただき、薬剤師として働いてみたいと感じました。

今回の実習を通して、コミュニケーションの重要性や薬局が担う役割について学びました。これらの事は大学でも言葉としては学んでいましたが、実際に学べたことはとても幸運な事でした。今後はこの貴重な体験を糧とし、大学に戻っても日々精進していきたいと思っています。

## 学薬部会

# 学校薬剤師部会研修会報告

日時：令和元年7月21日（日）13：00～16：00  
会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

<式次第>

講義①「学校薬剤師が知っておくべき衛生害虫の知識・生態と駆除方法など」

アース製薬株式会社 山本 美由紀

講義②「興味を持って取り組める医薬品の教育～小中高等学校での実践事例集の活用法～」

学校薬剤師部会 新垣 紀子

害虫対策についての研修会は、昨年も実施されたようですが、私は日程、時間の都合上参加できなかったのが、今回の研修会は楽しみでした。

夏場のシーズンは害虫の発生、繁殖率が多いと言われていますが、沖縄県では一年中発生しやすい温度、湿度の環境のなかでくまっています。私は常に清潔にしていれば、ダニは発生しないと思っていました。が…？ダニは掃除機では吸い取れない！と…？日常の掃除や布団の天日干しの後のダニ数は約半分ほどに減るそうですが…？えーっ？それでも半分…？生活スタイルが畳よりはフローリングに。布団よりはベッドマット、敷きパッド、シーツ3点セット、4点セットも家族の人数分を洗濯し、小さいベランダでの1日干し、掃除機をかけ、エンドレスな主婦業を考えると薬剤を利用するのが手っ取り早



学校薬剤師部会宮古支部  
支部長 方 智子

い！しかし、子供たちには安易な方法をみせたくはないし…？休日は天気とのたたかいなのです。わたくし言で失礼しました。

それよりも多くの生徒を管理する学校側へのダニ対策、予防、助言には、とても参考になる内容でした。講話は①ダニ、②アタマシラミ、③ゴキブリ、④蚊、⑤ネズミの害虫駆除についてでした。

地域性もありますが、私の住んでいる宮古島の市場の近辺には古い建物が多く、飲食街がならんでいます、ドブネズミをよくみかけます。この研修会を開催していただいた学校薬剤師の先生方、理事の役員の皆様方に大



講義① 講師  
山本 美由紀氏



講義② 講師  
新垣 紀子氏



変感謝です。私の担当している学校は、郊外にあり森林に囲まれている立地で、野ねずみも学校に出没するという話がでました。さっそく、保健委員会で野ねずみ対策に取り組む話をさせていただきました。

第2研修目は、新垣紀子先生の「興味をもって取り組める医薬品の教育」でした。教材内容は小学校編、中学校編、高等学校編、参考資料に分けられていて、とても分かりやすく理解しやすい、見やすいので生徒の目線で作られているという感じで、話術のスキル

アップが私には必要な事だな!?!とと思いました。質問形式の資料はとても参考になりました。今後は相手（生徒）に伝わる言葉選びを学んでいきたいと思います。

学校を訪問すると生徒達が声をかけてくれたり、挨拶してくれたり、覚えていてくれたりして学校薬剤師として検査結果の報告書よりも地域とのつながりにやり甲斐を感じています。

今回の研修内容を宮古島の学薬会員に聞いてもらいたく、現在、日程調整しています。

## 行政部会

### 行政薬剤師部会総会報告

日時：平成31年1月11日（金）18:00～18:30  
平成31年3月8日（金）18:00～18:30



行政薬剤師部会  
大城 由希子

行政薬剤師部会は、平成30年度に新規加入を受け、会員数がこれまでの4名から20名まで増員することが出来ました。平成31年1月11日には行政薬剤師部会総会を開催し、11名の会員が参加し、沖縄県薬剤師会行政薬剤師部会設置要綱の承認と役員を選任を行いました。総会終了後の意見交換会では、(一社)沖縄県薬剤師会から亀谷会長、前濱副会長、大城課長（現次長）にご出席頂き、亀谷会長からは、行政薬剤師の今後の活躍に対する激励の挨拶を頂き、その後は、和やかな雰囲気の中で、意見交換を行うことが出来ました。

平成31年3月8日には、設置要綱の説明及び役員を紹介。平成31年度事業計画として、組織の強化拡大、全国又は地方学会等への参加、沖縄県薬剤師会への入会取組強化を掲げ、承認を得ることができました。

これまで、行政薬剤師部会は会員数4名と少数であったため、部会として活動することが難しかったところがありますが、会員数も大幅に増え、今後は、薬剤師会と協働しながら、行政薬剤師の資質向上等、様々な活動に取り組んでいけるのではと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひします。



## 女性薬部会

### 令和元年度 女性薬剤師部会通常総会 報告

日時：令和元年6月2日（日）  
10:50～11:30  
会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

女性薬剤師部会  
副部長 狩俣 イソ



#### <会次第>

- 司会 副部長 与儀 和子
- 開会のことば  
副部長 与儀 和子
- 女性薬剤師部会 あいさつ  
部 会 長 村田美智子
- 会長あいさつ  
亀谷 浩昌
- 議事  
進行 部 会 長 村田美智子
1. 平成30年度事業報告  
副部長 狩俣 イソ
2. 平成30年度会計報告  
会 計 草壁 瑞恵
3. 令和1年度事業計画案  
副部長 狩俣 イソ
4. 令和1年度予算案  
会 計 草壁 瑞恵
5. その他
- ・乳幼児健診への取り組み
  - ・漢方講座について
  - ・令和1年参議院選挙に向けて
- 閉会のことば  
副部長 狩俣 イソ

左記日程にて18名の参加をいただき、女性薬剤師部会総会を開催しました。

亀谷沖縄県薬剤師会会長から、女性薬剤師の地道な努力に対する賞賛と、今後の活躍を鼓舞する挨拶をいただきました。また女性薬剤師本田顕子さんを国会に送るための努力を促す依頼がありました。

平成30年度の総会、3回の漢方講座、なごみ会主催のおくすり相談会への参加、継続学習通信教育講座の幹旋とスクーリング、妊婦・授乳婦と薬の勉強会、試験的に行った浦添市乳幼児健診での「おくすり相談会」の報告、薬草園の手入れ、「暮らしの中の薬草学」の執筆、日本女性薬剤師会総会・学術大会・都道府県女性薬剤師会会長連絡協議会への参加などの、事業報告がなされました。

会計報告では、50万円と前年度繰金287円で活動し329円が次年度の繰越金となった詳細が述べられました。

令和1年度の事業計画案・予算案が提案され、満場一致で可決されました。

例年の活動に加え、浦添市乳幼児健診での「おくすり相談会」が実施されることとなります。前年度の相談内容が詳細に報告され、次年度は病院薬剤師会とも連携し相談員を募集して、より充実した「おくすり相談会」を行えるようにします。

参院選に向けてのこれまでの活動報告と当選への戦略が示され、会を終えました。

女性薬部会

女性薬剤師部会 漢方講座報告

日 時：令和元年6月2日(日)  
 会 場：沖縄県薬剤師会館 ホール  
 講 師：清水医院(佐賀県) 清水正彦院長  
 テーマ：腸内環境を整える食と漢方

多くの患者さんを診察し漢方薬を処方する日々の診療の中で効くはずの薬が効かない、或いは、なかなか思うように効かないという事態が起きることがある。何故だ？…何故効かないのか？……わかったことは、腸内環境に問題があるのではなからうか？ということである。それ以来、腸に、視点を当てることを重要視している。

＜腸管アプローチの要点＞

どの部位が問題か。腸内フローラの問題か。腸粘膜の機能低下によるものか。食材の問題か。問題点の是正にはどのような漢方薬を選択すべきか。これらのことを、念頭に置くようにしている。その結果、腸内環境を整えることで、漢方治療が上手く行き、アレルギー疾患、躁病、うつ病などの精神神経疾患、ADHD、月経痛、月経困難症、認知機能低下などの、諸症状の改善傾向が期待できることを実感している。

＜腸内環境を整える方法＞

1. 腸内細菌(善玉菌、日和見菌:ご先祖さまのような菌)を増やす
2. 腸管粘膜を丈夫にする
3. 過剰な活性酸素を生じさせない
4. 過剰な活性酸素を除去する
5. ストレスを溜めない
6. 深部体温を下げ過ぎない(腹部を温める)などが挙げられる。

腸内細菌は、指紋のように一人ひとり違うものであるという事も話された。

さて、善玉腸内細菌を増やすには、多くの食物繊維を摂取すれば良いことがわかっている。特に、短鎖脂肪酸(酢酸、酪酸、プロピオン酸などの総称)を体の中で増やすことである。短鎖脂肪酸が増えると、腸内フローラの活性化、腸管粘膜の修復、体内の炎症を抑制、肥満の解消、と良いことづくめである。水溶性の食物繊維プラス酢で短鎖脂肪酸を増やす事が出来る。簡便な方法では、キャベツの千切りプラス酢(米酢、きび酢、果実酢)が挙げられた。漢方では、補気剤、駆瘀血剤、補陰剤、利尿剤、理気剤、などを各症状に合わせて使い分けると良い。腸内細菌を増やして自然治癒力をUPさせよう！

最後に、私の感想を述べさせていただきます。現代は、飽食の時代。しかし高カロリーで、低栄養が、様々な疾病の元になっているとも言われている。薬局で服薬指導の時、食に関する事を聞かれる事もおいが、何をどれだけ食べたら良いのか…判断しかねている方が多いことに驚く。食や栄養に関する情報が、多いのも混乱を招いている原因の一つではないだろうか。私はバランスが大事と話すようにしている。食べたものでしか身体は作れないのだから。

(報告：女性薬剤師部会 与儀 和子)



講師の清水正彦氏と女性薬剤師部会の与儀和子氏

## 青年部会

# 実務実習薬学生向け合同就職説明会報告

日時：令和元年7月28日（日）14:00～17:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



こくら虹薬局  
運天 芳生

去る7月28日（日）、沖縄県薬剤師会館にて行われた青年薬剤師部会主催の実務実習薬学生向け合同就職説明会に参加しましたのでご報告いたします。当日は沖縄県薬剤師会の亀谷浩昌会長の開会の挨拶の後、就職説明会が開催されました。

就職説明会ではそれぞれの企業がブースに分かれて1クール15分の自社の説明を行いました。ブースでは自社のパンフレットはもちろん、企業の事業内容が分かるものを机に並べたり、机全体をデコレーションして学生の目を集める工夫をしている企業もあり、とても賑やかでした。また、タブレットを使用している企業も見受けられ、学生に1人でも多くのことを説明しようとする姿勢は今後参考にしていきたいと思いました。

自分は学生時代に就職説明会に参加したことはありますが、企業側での参加は今回が初めてでした。はじめは、上手く自社のPRができるか不安でしたが、説明会が始まると学生も熱心に説明を聞いてくれて上手くプレゼンテーションができたと思えました。また、自社の働きやすさや地域貢献などについても十分に伝えることができたと思えました。

学生の中には病院実習がまだ行っていないということもあり、病院の中も見てみて就職先を考えたいという意見や県内か県外で就職をするか迷っているという意見もありました。大学5年生で就職のことを考えるのは難しいとは思いますが、これからの実務実習やインターンなどを通して自分に最も合う就職先を見つけることができたら幸いと思っています。学生からの質疑応答では「どのように就職先を選んだのか」という質問もあり、自分なりの就職先の選び方などを説明しました。

合同就職説明会終了後は懇親会が行われ、オードブルをいただきながらフリートークによる交流を持ちました。懇親会では学生と説明会の時には話せなかったことを、ゆっくり打ち解けた雰囲気の中で話すことができました。その中で学生の進路についての悩みや卒業試験の不安についても詳しく聞くことができ、大学5年生の時の自分と照らし合わせながら、解決策を一緒に考えたりしていました。学生の中には気になる企業の担当者に積極的に話しかける姿も印象的で、中には今回の説明会で就職先を見つけたという方もいて、自分もとてもうれしく感じました。

今回、第1回目の沖縄県薬剤師会が主催する実務実習薬学生向けの就職説明会でしたが、参加した実習生の人数が少なめという印象を受けましたが、説明会や懇親会等の時間配分などはとても満足でした。また、就職説明会を初めて行う自分としてもとても有意義な時間でした。次回は薬学生や企業への参加の呼びかけを強めていくことで、さらに盛り上がる就職説明会になっていくと思いました。

最後に、このような場を設けていただき、薬剤師会のスタッフの皆さんに心から感謝を申し上げます。



## 卸部会

### 2019年度 日本医薬品卸勤務薬剤師会 沖縄県支部会報告

日時：2019年7月5日(金) 理事会15時～16時／総会16時～17時／  
情報交換会17時～18時／懇親会19時～  
会場：株式会社 琉薬 第1会議室 他

この度、2019年度日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部の理事会・総会・情報交換会・懇親会を開催しましたので、ご報告致します。



日本医薬品卸勤務薬剤師会  
沖縄県支部 支部長 吉富 弓江

#### 【理事会・総会】

##### 1) 報告事項

- ①平成30年度 支部活動状況報告
- ②平成30年度 実務実習薬学生の受入報告
- ③平成30年度 会計監査報告・収支報告
- ④2019年度 本部理事会報告
- ⑤2019年度 九州ブロック協議会報告
- ⑥平成30年度支部会員の入会・退会報告／  
新会員紹介  
⇒質問は特になかった

##### 2) 協議事項

- ①2019年度 支部活動計画について  
⇒質問は特になかった
- ②2019年度 支部予算について  
⇒質問は特になかった
- ③2019年度公文書開示請求担当卸について  
⇒琉薬が担当する
- ④2020年度 フォーラム会員発表テーマについて  
⇒決議に至らなかったため、7月末までに各社1案を提出することとした
- ⑤2019年度 日本医薬品卸勤務薬剤師会表彰者について  
⇒吉富弓江(琉薬)を推薦することとなった
- ⑥その他  
⇒2019年冬の支部研修会の日程とテーマについて  
12月6日又は20日開催とし、テーマは

「遠隔服薬指導」又は「認知症」とした。  
今後、講師を選択して日程とテーマを決めるとこととした

##### 3) 連絡事項

- ①実務実習薬学生受入について  
⇒質問は特になかった
- ②沖縄県支部会費について  
⇒質問は特になかった
- ③研修会等への派遣・助成について  
⇒派遣費用の定期用範囲に「自宅(会社)と那覇空港の往復交通費」を加えることとした
- ④沖縄県支部規約について  
⇒質問は特になかった

#### 【情報交換会】

- 下記テーマについて、情報交換した
- ①麻薬の配送はどのように行っているか  
(専任の配送者、運搬用ケースなど)
  - ②土曜日の麻薬注文にはどのように対応しているか
  - ③医療機器販売業の届出をしていない薬局への管理医療機器の販売について(みなしとしているか、免許確認をしているか)
  - ④薬剤師が関わっている業務について

## 月例相談会

# 第170回健康とおくすり相談会報告

日時：令和元年7月28日（日）10:00～14:00

場所：多良間村役場

担当：宮古地区薬剤師会



コジャ薬局  
古謝 真己

多良間村は多良間島（周囲約15Km）、水納島（周囲約4Km）の2島で構成され、世帯数が500強、人口が1,200人弱 老年人口割合が25%を超える地域となっています。村内には高校がなく10代後半から20代が極端に少ない人口構成となっています。医療機関は歯科を除けば沖縄県立宮古病院附属多良間診療所1軒のみで当然薬局はありません。

多良間島の印象はやはりヤギです。そこら中にいます。多良間島に到着早々、空港敷地内でヤギのお出迎えがあり、車で走っていると畑の中からポツンと顔だけ出していたり、ヤギの親子が道路を悠々と横断していたりします。この場所だけ時間の流れが他と異なる感じさえました。そんな中、我々7名でお邪魔しお薬相談会を開催させていただきました。

当日は天気も良く、うだるような暑さで道を歩く人も見えず、参加者も少ないかもしれないと感じました。ところが多くの方がすでに会場に入っており、椅子に腰かけ我々を待っていてくださいました。多良間島でのお薬相談会には毎回参加しておりますが、私がお薬相談会で皆さんと話してみても感じたこと

は、元気な高齢者が多いということです。自分の生活圏の同世代の高齢者と比べると、「日焼けしている」「声がしっかりしている」「年齢より若く見える」「行動力がある」「自らいろいろ考えている」など違いを感じました。

今回、会場には骨密度測定器、動脈硬化の測定器を持ち込みましたが、私がお薬相談を担当しました。相談者が皆お薬手帳をしっかりと持って来場してくださったことに驚きました。相談がとてもスムーズに進みました。たいていの相談会では服用している薬がわからず当たらず触らずの答えをするのに苦労するのですが非常に助かりました。また血糖降下剤を服用している方が多い印象を受けました。随時血糖の測定を行いました。血糖のコントロール不良が多いことが気になりました。今回はHbA1cの測定をしなかったため何とも言えないところもあったのが残念でした。来場者の多くが高齢者の中、特に印象に残った相談は、母子でご相談にいらした方です。お子さん2人に気管支ぜんそくがあり、吸入薬の使用がうまくできていない事例がありました。院内調剤で薬を出してもらい、吸



入方法などもしっかり指導を受けていなかったようです。今までほとんど吸入できていない状態であったと思われます。吸入補助具も持って来場していたので使い方も指導できてよかったです。幸い喘息発作はしばらく起こっていないと話していたので胸をなでおろしました。発作時使用の吸入薬も持ち歩いておらず、いつでもでも使用できるよう持ち歩くよう指導できた。薬剤師が近くにおらず薬の正しい知識を得るチャンスが少ない地域がやはりあるのだなあと感じた事例でした。

お薬相談会にいらした相談者の中には、毎回参加しているという方もおられました。たのしみにしている方もいるのだなという感じ



もうけました。相談会の時間はバタバタと過ぎてしまい、相談者を長く待たせる場面もあり少しメンバー不足を感じました。次回が又あれば、もう少し薬剤師の数を増やして参加したいと思いました。

■健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

- 下地 仁    ○古謝 真己    ○砂川裕美子    ○山崎今日太    ○三吉 鮎子    ○笠原 大吾

お知らせ

**地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい！**

年々、地区（支部）、部会の活動が活発化しております。

ぜひ“おきなわ薬剤師会報”へ活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告以外の情報も歓迎します！

お知らせ

**＜県薬が会員に販売している印刷物等＞**

- |              |              |   |        |
|--------------|--------------|---|--------|
| ○管理薬剤師業務日報   | 1年分 1冊 600円  | ○薬歴カード                                    | 各1枚 5円 |
| ○処方せん        | 100枚 1冊 160円 | （国保（本人・家族）青色）<br>（社保（本人）白色）<br>（社保（家族）桃色） |        |
| ○お薬手帳カバー     | 1枚 22円       |   |        |
| ○お薬手帳        |              |   |        |
| 薄青色 14 ページ   | 1冊 12円       |   |        |
| 薄黄色 34 ページ   | 1冊 22円       |   |        |
| ○“マッシュ君”お薬手帳 | 1冊 22円       |   |        |

※薄青色、薄黄色の2色ありますが、同内容・同頁です。

※表示価格は税抜きです。

## 月例相談会

# 第171回健康とおくすり相談会報告

日時：令和元年8月4日（日）13:00～16:00

場所：サンエー経塚シティ

担当：那覇地区薬剤師会



那覇市立病院  
金城 雄一

8月4日、サンエー経塚シティで行われた「健康とおくすり相談会」に参加しました。お盆を控えた日曜日ということもあり、店内は多くのお客さんで賑わっていました。そのような中、薬剤師5名、薬学生1名、事務員1名の7名体制で会場の準備にとりかかり、お昼過ぎ1時から「健康とおくすり相談会」開始となりました。

内容としては、器具を用いた健康測定とその測定結果や食事、運動、普段の生活習慣、お薬の服用状況等をもとに健康アドバイスを参加者に行います。今回、使用した器具は、体組成分析装置（筋肉量、脂肪量、ミネラル量などの測定）、血圧脈波検査装置（動脈硬化度、血管年齢測定）、血圧測定器でした。1階スターバック前での会場設置ということもあり、人通りがとても賑やかな中での相談会となりました。「これは、何の機械なの？」「血管年齢？コワイサー」「脂肪の量がわかるの？」めずらしい機器を前にいろいろと尋ねる方も多く、「それじゃー測ってみよーかねー」「お母さん、測って見たら？」「買っ物の帰りにね」等、会話を重ねる中、参加

する方も大勢いました。スタッフ7名のチームワークのおかげもあり、大きな渋滞やトラブルもなく無事終了することができました。

「先生からもやせなさいって言われるけど」「最近、ジムに通うようになったさー」

今回、いろいろな方の声を聞く事ができましたが、特定健診等をしばらく受けていない（まったく受けていない！）高齢者の方が複数人いたことに非常にびっくりしました。長寿県沖縄を取り戻すためにもこのようなお薬相談会を通して多くの方に受診等を呼びかけて行きたいと思います。相談会に参加するのは、今回で3回目となりましたが、まだまだ、いろいろと学ぶことも多く、今後も地域の皆様の健康をサポートできるよう、これからも継続して参加できるよう努めていきたいと思っています。

最後に、会場の日程調整から準備等、いつもお世話になります薬剤師会のスタッフの皆様、ご一緒頂いた薬剤師の皆様、実習で忙しい中、参加していただいた薬学部実習生の皆様に心から感謝申し上げます。



### 健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

○吉田 洋史

○渡具知一枝

○上原 幸代

○坂口 和志

○金城 雄一

啓発・普及活動

第8回はえばる夏まつりキッズパーク参加報告

会期：令和元年7月15日（月・祝）  
会場：南風原町立中央公民館



会営薬局うえはら  
進藤 聡人

去る7月15日（月・海の日）南風原町中央公民館にて、第8回はえばる夏まつりキッズパークが開催されました。会場では31のブースで体験プログラム（ものづくり体験、お仕事体験など）と、7の飲食ブースが用意されており、開催当日は天候に恵まれ、約4千名以上が訪れました（おきなわはえばる観光ガイドより）。

薬剤師会が企画するブースでは、まず薬剤師が活躍する場（病院、薬局、ドラッグストア、学校など）の紹介から始まり、次に小学生の参加者を2グループに分けて「一包化調剤」、「薬の配合変化」、「カプセルペタペタ」を体験して頂きました。

- 「一包化調剤」：医薬品と見立てたチョコレート、用意した処方箋サンプルどおりに実際の分包機を使って一包化を行いました。
- 「薬の配合変化」：インクレミンシロップをお茶と水、それぞれに混ぜるとどのような変化が生じるのかを観察し、服用時の飲料にも注意する大切さを伝えました。

○「カプセルペタペタ」：濡れた指先をカプセルに当ててみて、濡れる程度の違いでくっついたり、離れたりする現象を通して、薬は十分量の水で服用する必要があることを伝えました。

当日、私は薬剤師として経験が浅いため子供に対してうまく説明できるか自信が全くありませんでした。薬について理解を深めてもらうには、どのように言葉を砕いて、わかりやすい表現にすればいいのか見当もつかないままイベントが始まりましたが、先輩の先生方から頂くアドバイスや、同年代の先生方の取り組む姿を参考にさせて頂き、なんとかやり遂げることができました。

企画最後のあいさつで、「この体験を通して、薬剤師という職業に興味を持った人はいますか？」という問いかけに対して、たくさんの挙手があったことに、本企画の目標達成を感じることができました。薬剤師不足が問題となっている沖縄において、地元の子供達に将来の選択肢を提供できたのは、大変喜ばしいことです。

（次ページへ続く）



啓発薬剤師：左より、新垣 紀子氏、直島 深氏、三上 まどか氏、進藤 聡人氏、伊差川 サヤカ氏、新垣 梓氏



一包化調剤



薬の配合変化



カプセルペタペタ

また、保護者の方から「薬ってお茶で飲んだらダメなの？いつもお茶で飲むようにしてたのに…」という声をいただき、子供だけでなく保護者の方にも正しい薬の飲み方を伝える、意義のある催し事だったと感じました。

最後に、ご参加いただいた皆様、開催当日ご指導いただきました先生方、企画から物品の準備等でお世話になりました事務局の方々に感謝申し上げます。

◆啓発薬剤師（五十音順・敬称略）

○新垣 梓 ○新垣 紀子 ○伊差川サヤカ ○進藤 聡人 ○直島 深 ○三上まどか

啓発・普及活動

生涯学習フェスタしごとミュージアム2019参加報告

日時：令和元年7月17日（水）13:00～19:00

会場：沖縄コンベンションセンター 展示棟



理事  
島袋 さゆり

県内の高校生および若年者を対象に、コンピュータ・情報、美容・理容・ファッション、語学・旅行、ホテル・ブライダル、公務員・法律、保育・幼児教育、建築・土木・インテリア、自動車・航空・機械整備、調理・栄養、薬学・医療・福祉・介護など26以上の様々な

ジャンルの仕事を紹介するイベントです。沖縄県専修学校各種学校協会は、仕事に就くために必要な専門的技術や技能・知識を教授する職業教育機関として同フェスタを主催しており、若年者の就業意識の啓発と各分野の職業を体験学習する機会としています。

薬剤師ブース出展は、薬剤師職能の啓蒙活動の一環としており、今回で8回目の参加となりました。主催者側からの情報では、今年はしごとミュージアムに、高校生だけでも約3,000人の参加があったとのこと。薬剤師ブースには約70名が訪れました。

開催期日が薬学生実務実習期間中ということもあり、薬学生は6年前から同ブースにて啓蒙活動をして頂いています。今年は、佐藤雅美薬学生実務実習担当理事に16名の薬学生を引率頂き、大いに活躍してもらいました。

沖縄県薬剤師会はブース内に、「おくすりの実験」と「薬剤師について～パネル展示」のコーナーを設けました。実験・パネル展示ともに、薬学生が高校生に説明しました。

おくすりの実験コーナーでは、「お茶＋鉄剤（インクレミンシロップ）＝キレート形成で黒く変色する」の変化を、試験管の中で実験しました。ピペットを用いた実験にドキドキしながらも楽しんでいる様子でした。「水＋鉄剤＝変化なし」の試験管と対比することにより、「お薬は、なるべくお水で服用するようにしましょう！」に、高校生たちも納得の様子でした。

また、「お薬はコップ1杯の水で飲みましょう！」をテーマに掲げ、お皿に置いたカプセル剤に少量の水、多量の水を指につけ、ぬるぬる度合をさわって体験してもらいました。

少量の水だとカプセルは指にくっつきませんが、多量の水の方では指にくっつくことはありません。服用する水が少ないと、薬が食道に付着し潰瘍を引き起こしたり、効果がしっかり出なかったりすることになります。コップ1杯の水で服用することで、薬を飲みやすくし、よく溶かして吸収を良くするだけではなく、食道炎の防止にもなります。直にさわって体験することで、高校生たちも「お薬はコップ1杯の水で飲みましょう！」の意義を理解してくれたようです。

「薬剤師について～パネル展示」のコーナーでは、さまざまな職場（病院、薬局、ドラッグストア、製薬メーカー、医薬品卸、学校薬剤師、公務員など）で活躍する薬剤師の役割や、薬剤師を目指すためにはどうしたらよいか（全国薬学部の紹介、6年生薬学教育の意義など）を、実際に体験している薬学生が、説明を行いました。

これからの進路を真剣に考えなければならない高校生にとって、年齢の近い薬学生の話や直に聞けるということは、遠慮なく質問もできますし、大変参考になることも多かったのではないかと思います。また、参加してくれた薬学生にとっても「薬剤師とは・・・」を再認識できる良い機会になったのではないかと思います。



地区だより

第6回 那覇地区薬剤師会 通常総会

日 時：令和元年5月18日（土）総会19:30～20:00(特別講演会20:00～21:30)

会 場：沖縄県薬剤師会館 ホール

＜式次第＞		司 会	新 垣 紀 子
1. 出席人員確認・宣言			
2. 開会の辞		副会長	吉 田 洋 史
3. 会長挨拶		会 長	川 満 直 紀
4. 議長選出			
5. 議事録署名人の選出		議 長	伊 波 重 宏
6. 議題			
報告第1号 平成30年度会務・事業経過報告		副会長	盛 本 直 也
第2号 平成30年度監査報告		監 事	大 城 博 次
議案第1号 平成30年度決算承認について		副会長	渡具知 一 枝
第2号 理事・監事選任について		議 長	伊 波 重 宏
報告第3号 平成31（令和元）年度事業計画について		副会長	吉 田 洋 史
第4号 平成31（令和元）年度予算について		副会長	盛 本 直 也
7. 閉会の辞		副会長	金 城 雄 一

令和元年5月18日（土）沖縄県薬剤師会館において、第6回通常総会が新垣紀子氏の司会進行により開催された。吉田洋史副会長の開会の辞で始まり、続いて川満直紀会長の挨拶が行われた。「会長職を2期4年務められたのも、先輩方や会員の皆様、事務局の協力によるもの」と感謝の言葉を述べ、また会の事業については「行政活動への積極的な参加や、広域病院との連携交流、健康とおくすり相談会の開催など、顔の見える薬剤師を心がけ、市民の皆様に薬剤師職能を啓発してきた。今期で会長を退くが、引き続き協力させていただきたい。」と述べられた。

議事は、議長に伊波重宏理事が選出され進められた。まず報告第1号を盛本直也副会長より資料に沿って説明が行われた。引き続き報告第2号を大城博次監事より、平成30年度の会計及び事業実行状況が適正かつ妥当なものであったとの監査結果が述べられた。次に議案第1号を、渡具知一枝副会長より資料に沿って説明が行われ、審議の結果賛成多数で承認された。次に議案第2号は議長より、役

員任期満了に伴い改選となる旨の説明が行われ、議場に理事及び監事への立候補か推薦を求めたが無かったため執行部案が提出され、審議の結果賛成多数で承認された。続いて報告第3号を吉田洋史副会長より、報告第4号を盛本直也副会長より資料に沿って説明が行われた。全ての報告・議案が滞りなく終了し、最後に金城雄一副会長の閉会の辞で第6回通常総会が閉会した。

総会終了後の特別講演会は、有限会社アップル薬局代表取締役の山本雄一郎先生をお招きし「誰も教えてくれなかった『実践薬歴』講座」と題し、ご講演を賜った。著書や薬歴公開のブログで人気の先生が県内で講演される貴重な機会とあり、多くの方にご参加いただいた。具体例を交えながら分かりやすく実践的な薬歴の書き方をご講演くださり、大好評に講演会を無事終えることができた。

総会終了後、新理事による理事会が行われ、会長候補の吉田洋史理事が満場一致で会長に承認され、次頁の通り新体制となった。

（報告：那覇地区薬剤師会事務局）

会 長 吉田 洋史  
 副会長 盛本 直也、金城 雄一  
 理 事 中村 昌義、西川 裕、安次富 長洋、  
 國吉 直子、又吉 智賀子、伊波 重宏、  
 武富 弘記、上原 幸代（新）、  
 山道 峻也（新）、吉田 安樹（新）  
 監 事 具志堅 興信、大城 博次



総会特別講演 講師の山本雄一郎氏



地区だより

令和元年度 宮古地区薬剤師会総会報告

日時：令和元年5月18日（土）18:00～19:00

会場：宮古地区薬剤師会事務所

<式次第>

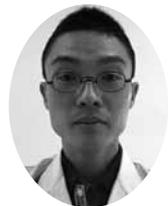
1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議長登壇  
（挨拶・点呼・宣告）
5. 議題（右記参照）
6. 県薬会長挨拶
7. 閉会の辞

- |       |       |                |
|-------|-------|----------------|
| 5. 議題 | 報告第1号 | 平成30年度事業報告     |
|       | 第2号   | 県薬理事会報告        |
|       | 第3号   | 平成30年度会計監査報告   |
|       | 議案第1号 | 平成30年度決算承認の件   |
|       | 第2号   | 令和元年度事業計画案の件   |
|       | 第3号   | 令和元年度会費額の件     |
|       | 第4号   | 令和元年度FAX負担金の件  |
|       | 第5号   | 令和元年度予算案承認の件   |
|       | 第6号   | 宮古地区薬剤師会会則変更の件 |
|       | 第7号   | 役員及び担当者改正の件    |
|       | 第8号   | 県薬総会における代表質問の件 |

令和元年5月18日（土）18時より令和元年度宮古地区薬剤師会総会が行われ、平成30年度事業報告・決算報告、令和元年度事業計画・予算案等の報告議案が審議されました。

平成30年度の事業報告としては、多良間村での2回の健康とお薬相談会開催と認定実務実習指導薬剤師の増員が挙げられました。残念ながら今年度は宮古地区での実習生の受け入れ予定はありませんが、ふるさと実習を実施する環境が改善されたかと思えます。

平成27年度から地域包括ケアシステムの推進が活発化し我々薬剤師の業務も「対物」から「対人」への変換を求められており、より



宮古地区薬剤師会  
理事 上川畑 剛

一層地域社会へ貢献していかなければなりません。このことを踏まえて令和元年度の事業計画として地域包括ケアシステムへの参加を掲げました。

決議事項につきましては、審議の結果議案全て異議なしで承認されました。

また、総会終了後に行われた懇親会にはたくさんの会員・非会員の先生が参加され親睦を深めました。

同窓会

## 第29回名城大学薬学部同窓会沖縄支部研修会報告

日時：令和元年9月1日（日）13:00～15:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



名城大学薬学部同窓会沖縄支部  
支部長 前濱 朋子

去る9月1日（日）に沖縄県薬剤師会館において名城大学薬学部同窓会公開講座が開催された。

講演1では同窓生講演として、沖縄県薬剤師会薬事情報センターの吉田典子先生が、「うっかりドーピング防止に向けて～薬剤師ができる事」と題して講話された。

オリンピックを控え、今年度で13年目になる薬剤師会のアンチドーピング活動の紹介から、「うっかりドーピング」が、知らなかった、忘れていたという無知から生じるもので、薬やサプリメントの正しい知識の欠落からくるものだという事だった。しかし、治療使用特例（TEU）があり、誰もがスポーツに平等に参加する権利が守られていること等を話された。

検索ツールの紹介もあり、実際に「Global DR0」の使い方を各自のスマートフォンから

行うなど、実践に即した講義であった。

県内のスポーツファーマシストは43名（会員）と少なく、薬剤師会では少人数で活動しているとの事で、オリンピックに向け、またかかりつけの薬剤師としての知識としても、大事だと感じた。多くの薬剤師がスポーツファーマシストをめざし、活動できるといいと感じた。

講演2では、大学から二改俊章教授による、「ヘビ毒・細菌毒・真菌感染症・化学兵器（サリン・VX）の知識と題しての講演であった。

奄美と沖縄のハブ毒の成分は異なっているが、現在では混合してハブ抗毒素（血清）がつくられていること、ハブ毒には神経と血液凝固系に作用する2種類の毒があり、そのうち血液凝固系に作用する部分から治療薬が発見された、腎機能障害を持つ実験動物がハブ毒を使用している等、興味深いものだった。



講演1 講師  
吉田 典子氏



講演2 講師  
二改 俊章氏



講師を囲み関係者で記念撮影

# 薬事情報おきなわ No.256

2019年8-10月号 : Vol.34 No.4

薬事情報センター TEL : 098-963-8931

FAX : 098-963-8937

## 薬価基準追補収載品目

### ●新医薬品 2019年7月3日付

区分	販売名 ( )内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内用薬	シムツーザ配合錠 (JG/8121)	1錠	4,751.00	ヤンセン ファーマ	ダルナビルエタノール付加物・コピシスタット・エムトリシタ ピン・テノホビルアラフェナミドフマル酸塩:抗ウイルス化学 療法剤(HIV-1感染症)(新医療用配合剤)

### ●新医薬品 2019年9月4日付

区分	販売名 ( )内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名:適応症・効能効果
内用薬	ミニリンメルドOD錠25 $\mu$ g (25)	25 $\mu$ g1錠	59.50	フェリング・ ファーマ	デスモプレシン酢酸塩水和物:脳下垂体ホルモ ン剤(男性 における夜間多尿による夜間頻尿)(新効能、新用量、 剤形追加)
	ミニリンメルドOD錠50 $\mu$ g (50)	50 $\mu$ g1錠	100.00		
	ヴァンフリタ錠17.7mg (DSC511)	17.7mg1錠	19,694.90	第一三共	キザルチニブ塩酸塩:抗悪性腫瘍剤/FLT3阻害剤(再発 又は難治性のFLT3-ITD変異陽性の急性骨髄性白血病) (新有効成分)
	ヴァンフリタ錠26.5mg (DSC512)	26.5mg1錠	26,582.10		
	ロズリートレクカプセル100mg (ENT100)	100mg1カプセル	5,214.20	中外製薬	エヌトレクチニブ:抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼ阻害剤 (NTRK融合遺伝子陽性の進行・再発の固形癌)(新有効成 分)
ロズリートレクカプセル200mg (ENT200)	200mg1カプセル	9,889.90			
注射薬	オンバットロ点滴静注2mg/mL	8.8mg4.4mL1瓶	986,097	Alnylam Japan	パチシランナトリウム:トランスサイレチン型アミロイ ドーシス (トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー) (新有効成分)
	デファイテリオ静注200mg	200mg2.5mL1瓶	53,108	日本新薬	デフィプロロチドナトリウム:肝類洞閉塞症候群治療剤(肝類 洞閉塞症候群(肝中心静脈閉塞症))(新有効成分)
	ゾルトファイ配合注フレックスタッチ	1キット	5,293	ノボノルディス クファーマ	インスリンデグルデク(遺伝子組換え)/リラグルチド(遺伝子 組換え):特効型溶解インスリンアナログ/ヒトGLP1アナログ (インスリン療法が適応となる2型糖尿病)(新医療用配合 剤)
	ユルトミス点滴静注300mg	300mg30mL1瓶	717,605	アレクシオン ファーマ	ラプリズマブ(遺伝子組換え):抗補体(C5)モノクローナル抗 体製剤(発作性夜間ヘモグロビン尿症)(新有効成分)
	ロナセンテープ20mg	20mg1枚	278.40	大日本住友製 薬	プロナンセリン経皮吸収型製剤:抗精神病剤(統合失調 症)(新投与経路)
	ロナセンテープ30mg	30mg1枚	401.30		
	ロナセンテープ40mg	40mg1枚	520.20		
	アジマイシン点眼液1%	1%1mL	302.20		
	ビバスピエアロスフィア28吸入	28吸入1キット	1,780.30	アストラゼネカ	グリコピロニウム臭化物/ホルモテロールフマル酸塩水和 物製剤:COPD治療配合剤(慢性閉塞性肺疾患(慢性気管 支炎、肺気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解 (長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入 $\beta$ 刺激剤の併用が必要な場合))(新有効成分、新医療用配 合剤)
	ビレーズトリエアロスフィア56吸入	56吸入1キット	4,074.80	アストラゼネカ	ブデニソド/グリコピロニウム臭化物/ホルモテロールフマ ル酸塩水和物製剤:COPD治療配合剤(慢性閉塞性肺疾 患(慢性気管支炎、肺気腫)の諸症状の緩解(吸入ステロイ ド剤、長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入 $\beta$ 刺激剤の併用が必要な場合))(新有効成分、新医療用配 合剤)
	イナビル吸入懸濁用160mgセット	160mg1瓶	4,164.40	第一三共	ラニナミビルオクタン酸エステル水和物:長時間作用型ノイ ラミダーゼ阻害剤(A型又はB型インフルエンザウイルス感 染症の治療)(新剤形)
	コラテジェン筋注用4mg	4mg1.6mL1瓶	600,360	アンジェス	ベベルミノゲンペルプラスミド:遺伝子治療用製品1プラスミ ドベクター製品(標準的な薬物治療の効果が不十分で血 行再建術の施行が困難な慢性動脈閉塞症(閉塞性動脈硬 化症及びパーヴァー病)における潰瘍の改善)(新再生医 療等製品)

\* 識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。



## Medical News

### ●健康被害の防止へ処方薬リスト通知 広島県内自治体（中国新聞8月22日）

病院で出される薬の重複を防ぐため、広島県内の自治体などで患者に処方薬のリストを通知する取り組みが広がっている。個々が医療機関や薬局にリストを見せ、チェックしてもらう仕組みだ。広島市では、昨年11、12月分の計8784人について検証した結果、2カ月分で少なくとも約1500万円の薬剤費が抑制された。国民健康保険もしくは後期高齢者医療に入る65歳以上で、複数の医療機関から月14日分以上の薬として計10種類以上を処方されている人を対象とした。

### ●10代で一般薬依存が増加 最多は「ブロン」～厚生労働省調査（薬事日報8月22日）

10代の若年層で一般用の鎮咳・去痰薬「ブロン」などの使用による依存が疑われる事例が増えていることが、厚生労働省の研究班がまとめた調査報告書で分かった。2018年度厚生労働科学研究費補助金の分担研究「全国の子供科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査」（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部）がまとめた。

### ●薬剤師の7割が減薬実践～緩和領域で処方適正化（薬事日報8月22日）

日本緩和医療薬学会研究推進委員会が会員の病院薬剤師2618人を対象に実施したアンケート調査で、薬剤師の介入による減薬の実態が明らかになった。回答した薬剤師の70.2%が、医療用麻薬が処方された癌患者に対して薬剤数の削減につながった介入を実践しており、薬剤師は緩和領域で処方適正化に貢献していることが分かった。アンケート調査は、ウェブサイト上で実施。359人から回答を得た（回答率13.7%）。2017年10～11月までのデータを対象に9問に回答してもらい、解析した。

### ●薬剤師への業務移管提案一医師と事前合意～四病院団体協（薬事日報9月9日）

全日本病院協会などの病院団体が構成する四病院団体協議会は6日、医師の労働時間短縮のため、一部業務を薬剤師など他職種に移管することを求める提案書を根本厚生労働相に提出した。薬剤の種類や投与量等の変更を事前に作成したプロトコルに基づいて医師と協働することなどを求めており、医師の包括的指示と同意がある場合は医師の確認を必要とせず、これら業務を薬剤師が主体的に行うことが望ましいとした。具体的には、薬剤の種類や投与量、投与方法、投与期間の変更や検査オーダー等。

### ●かぜに抗菌薬使用が減少、処方に地域差～協会けんぽ調査（薬事日報 9月10日）

全国健康保険協会は、加入者の抗菌薬の使用状況に関する調査結果を公表した。2018年度の急性上気道炎に対する使用割合は31.4%で、3年間で10%以上減少。種類別では、クラリスロマイシンが27.3%で最も多く、適正使用の手引きで推奨しているアモキシシリン水和物の増加傾向も見られた。調査は、協会けんぽ加入者の16年6月から2年間のレセプトデータを分析。

### ●「減薬取り組む薬局少ない」支払い側委員が指摘～中医協総会（薬事日報 9月18日）

中央社会保険医療協議会総会は11日、2020年度診療報酬改定に向けた具体的な議論を行った。18年度改定後の算定状況をまとめたデータを踏まえ、支払側委員からは、減薬に取り組む薬局数や服用薬剤調整支援料を算定する薬局数の少なさを指摘する声が上がった。

### ●4年連続で遵守率が低下～厚生労働省覆面調査（薬事日報9月18日）

厚生労働省は12日、2018年度「医薬品販売制度実態把握調査」（覆面調査）の結果を公表した。エフェドリンやコデインを含む「濫用の恐れがある医薬品」の販売ルールを遵守していない店舗が昨年より増加し、4年連続で遵守率が低下していた。今回は、5000の店舗（薬局1754件、店舗販売業3246件）、500のインターネット販売サイトを対象として実施した。インターネット販売では、第1類薬販売時の使用者の状況（年齢、症状、他の医薬品の使用状況）について確認していた割合が96.0%、第1類薬の販売時に情報提供を行っていた割合も77.4%と、前年に比べて全体的に改善されていた。

### ●巡回指導を本年も実施 都薬：コンプライアンス研修も（薬局新聞9月27日）

東京都薬剤師会は、薬事衛生自治指導事業の一環として、会員薬局への巡回指導を行う。

巡回指導は各地区の薬事衛生自治指導員が薬局へ直接赴く形式で、本年も重要確認事項8項目を中心に展開する。また都内全保険薬局の管理者を対象にしたコンプライアンス研修会を都福祉保健局と共催で開催する。会員・非会員を問わず全ての管理者を対象に実施する。研修会は10月から、2カ月間にわたり4カ所で開催し、研修会受講者・未受講者名簿は、東京都と関東信越厚生局へ情報提供することを明らかにしている。

## 7～9月に薬事情報センターに寄せられた質問から はい、薬事情報センターです。



薬事情報センターでは、会員の方々を対象に、医薬品に関するお問い合わせや、文献入手サービスなどに応じております。どうぞお気軽に御利用ください。

〔質問〕 ニュースで貼付剤等が保険適応外になるとか言っているけど、内容は？（薬局）

〔回答〕 去る9月22日、健康保険組合連合会（健保連）が、医療機関で処方される市販薬と同じ成分の花粉症治療薬について、医療保険の適用から除外し全額自己負担にすべきだとの提言を取りまとめ発表した。保険財政悪化への対応策として、最大で年600億円程度の医療費削減効果があると試算しており、これにより患者の負担は重くなることが想定されている。健保連は、これまでも市販薬で代用可能な湿布や保湿剤等の処方薬を保険適用から外すよう求めていた。これについては、日本医師会等が「患者の受診抑制につながりかねない」として強く反対している。

〔質問〕 市販薬の咳止めや睡眠薬の1回で買える量について制限はありますか。（薬局）

〔回答〕 平成26年に一般用医薬品の鎮咳去痰薬などに配合されている「コデイン」など7成分は「乱用の恐れのある医薬品の成分」に指定し、販売時の数量を原則で1人1箱に制限することを通知している。通知により平成27年6月12日以降、販売個数が制限された。指定されているのは、コデイン（鎮咳去痰薬）、ジヒドロコデイン（かぜ薬、鎮咳去痰薬）、ジヒドロコデインセキサノール（鎮咳去痰薬）、メチルエフェドリン（鎮咳去痰薬・液剤、鼻炎用内服薬含有）、ブロムワレリル尿素（解熱鎮痛薬など）、エフェドリン（点眼薬など）、プソイドエフェドリン（鼻炎用内服薬）の7成分。適正な使用のために必要と認められる数量については、原則として、薬効分類ごとに1人1包装単位（1箱、1瓶等）である。例：解熱鎮痛薬と鼻炎薬等、使用目的が異なる医薬品を販売等する場合には、それぞれの用途ごとに1人1包装ずつを適正数量とする。

参考：「薬事法施行規則第15条の2の規定に基づき濫用等のおそれのあるものとして厚生労働大臣が指定する医薬品（告示）の施行について」薬食発0604第2（平成26年6月4日）

〔質問〕 エクオールの乳癌抑制作用、抗エストロゲン作用について（薬局）

〔回答〕 イソフラボンに含まれるエクオールは、抗エストロゲン作用とエストロゲン作用を併せ持つ。植物エストロゲンの一種であるイソフラボンに抗エストロゲン作用があることから、イソフラボンを多く含む大豆

食品の摂取が乳癌の発症を減らす可能性が示唆されている。また、エストロゲン作用について、その効果はエストロゲンと比べるとかなり弱いと考えられ、逆に乳癌発症リスクが増加する可能性も危惧されている。現時点では食事により得られる程度のイソフラボンによる乳癌発症リスクの増加は確認されていない。サプリメントとしてのイソフラボン摂取により乳癌発症リスクが減少するというエビデンスはなく、サプリメントとしての高用量のイソフラボン摂取の乳癌予防効果や安全性については証明されていないことから、厚生労働省はイソフラボンサプリメントの服用は1日30mg以下にとどめることを勧めている。乳がん患者がエクオールを摂取したときの副作用については、信頼できるデータが不十分なため、乳がん患者、乳がんの既往歴がある人は、使用を避けた方が良い。

参考：「健康食品」の有効性・安全性情報（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）

### 〔患者様からの苦情・ご意見（4～8月）〕

- ・ 子供の名字は英語で名前は日本名。受付時は日本語で対応したのに、英語を調べていたという理由で、薬はできているのに後に来た人達が先になった。待たせた上に言い訳も気に入らない。
- ・ 薬を家族が受け取ったが、薬を並べての説明はなく、薬情のみで説明され、領収書と一緒にまとめて袋に入れて渡された。帰宅後、確認すると、0D錠(処方普通錠)になっていた。
- ・ 子供の喘息の薬の印字がラックビーとなっていた。夜気が付いて薬局に電話をしたところ、間違えるはずはないと否定された。まるでそちらの勘違いだと取れるような言い方をされた。謝罪の言葉はなく、明日持ってきてもらえれば、作り直しますと言われた。違う薬を飲ませたと思い、眠れなかった。
- ・ 今まで、先発品だけ出してもらっていた。今日、薬局へ行ったら勝手にジェネリック医薬品に変えられそうになった。先発品からジェネリック品に変更する人は2～3割しかいないとネットでみた。効き目も不安だしねえ。薬局が勝手に変えてもいいの？
- ・ 不足分の薬を届けますと言って、隣の家のポストに入っていた。個人情報もダダ漏れですよ？まず、薬をポストに入れること自体、間違っていないですか？
- ・ 薬局の薬剤師が宗教勧誘をしてくる。



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口  
「おくすり相談室」受付事例から  
消費者専用電話：098-963-8935

●医薬品一般●

[質問] 同じ疾患なのになぜ、病院によって出す薬が違うのか、ボルタレン、ロキソニン、カロナールの違いを教えてください。一番強いのは何ですか？（男性）

[回答] まず、適応の違いについてですが、ボルタレンとロキソニンは解熱、鎮痛、消炎作用がありますが、カロナールのみ消炎作用が認められていません。ボルタレンは、即効性があり患者さんにとって鎮痛効果を実感しやすいお薬です。炎症作用や鎮痛作用は強い方です。ただ、長期になると胃腸障害や腎障害の恐れもあるため、月に1回は腎機能等の検査を行う事が望ましいとされています。また、ロキソニンはボルタレンに比較し鎮痛効果は若干弱いか、ほぼ同じです。胃腸障害は少ないため、胃粘膜保護薬の併用により長期使用できる薬剤です。カロナールは、他の鎮痛薬と比べ通常用量だと鎮痛効果は弱い方になります。他の鎮痛薬にみられる胃腸障害などの副作用が少なく、胎児への影響も殆どないため、妊娠中や乳児にも使用されています。処方医はその時の症状に合わせて薬剤を選択します。疑問があるようでしたら、処方医にご相談ください。

参考：添付文書、JIM15（7）、2005等

[質問] 飛行機に乗る時に耳が痛くなるからいつもはナファゾリン点鼻薬を処方してもらっている。今回は病院に行く時間がないので、一般用医薬品を購入したい。同成分のお薬はありませんか？（女性）

[回答] 航空機では、離着陸時の急激な気圧の変化により、耳管が閉じたままになり、鼓膜の内側と外側で圧力の差が出て耳が痛くなることがあります。これを「航空性中耳炎」と言いますが、軽い場合は、水を飲む、アメなどをなめる、またはあくびをすることで症状が治まります。やや重症の場合には「耳抜き」も効果があります。ご質問のナファゾリンと同成分の一般用医薬品をお調べしたところ、大正製薬のパブロン点鼻薬等、ナファゾリンが含まれている医薬品はありません、ナファゾリン以外に抗炎症、抗アレルギー作用のある医薬品も含まれています。適応が急性鼻炎、アレルギー性鼻炎又は副鼻腔炎による次の諸症状の緩和：鼻みず（鼻汁過多）、鼻づまり、くしゃみ、頭重となっています。単独の効果・成分を希望するのであれば、耳鼻科クリニックへの受診を勧めます。

●安全性情報●

[質問] イクスタンジンカプセル（エンザルタミド：前立腺癌治療剤）という薬を処方されて2回目。昨日お尻を拭いたら血がついた。ワーファリンも飲んでいるが、飲み合わせが悪いのか調べてほしい。痔ではない。（男性）

[回答] イクスタンジンはワーファリンの作用を弱める作用があります。出血しやすくなるとは逆の作用ですね。イクスタンジンの副作用としても考えにくいので、症状が続くようでしたら、早めに処方医にご相談ください。

[質問] 2歳の子供が粒状の“アリの巣コロリ”を食べたかもしれない。大丈夫ですか。（女性）

[回答] 毒性は低いため、少量食べた程度では心配はないでしょう。ただ、食べた量が多いと便が緩くなることもあります。お子様がひどい下痢等をするようでしたら、受診してください。

[質問] 2か所の病院からプリピナ点鼻薬（ナファゾリン）とアラミスト点鼻薬（フルチカゾンフランカルボン酸エステル）を処方されている。両方使っても大丈夫ですか？（女性）

[回答] プリピナ点鼻薬は、血管を収縮させて、充血を一時的に取り除く効果があるため、鼻づまりなどに使用される薬剤です。また、アラミスト点鼻薬は、抗炎症作用、抗アレルギー作用により、くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどの鼻症状や、アレルギー性鼻炎の治療に用いられます。成分や作用点も異なりますが、どちらも鼻づまりの改善に使用されるお薬です。成分的には問題はありませんが、使用方法等について医療機関に確認された方がいいでしょう。

参考：厚生労働省検疫所「FORTH」HP等

●妊婦・授乳婦●

[質問] 6か月の乳児がいる。乳腺炎でセファレキシンが処方され、飲む前に搾乳するように言われたが、どうなのか。（女性）

[回答] セファレキシンの母乳中への移行量は少ない事から、児への危険性は低いとされ、服薬中の授乳は安全と考えられています。母乳中濃度のピークは約4時間後となっていますので、気になるようであれば、授乳直前に搾乳や授乳を行うといいでしょう。

参考：母乳とくすり（南山堂）、授乳婦と薬（じほう）

Medical Magazines titles

今月の特集・論文

\*薬事情報センターで購読している雑誌の中より文献情報を掲載しました。

【今月の特集】

- ◇エキスパートナーズ 35巻8号  
\*本当に効果がある「酸素療法」ができるようになる
- ◇エキスパートナーズ 35巻8増刊号  
\*アセスメントの根拠になる身体のしくみとはたらき
- ◇エキスパートナーズ 35巻9号  
\*みんな気になる！排泄ケアの「なぜ？」&「どうする？」
- ◇エキスパートナーズ 35巻10号  
\*1日の業務のすすめかたとアセスメントがわかる  
「周術期」先輩ナースはこうして患者をみている
- ◇月刊薬事 61巻10号（増刊）  
\*外来・病棟でよくみる精神症状 対応マニュアル
- ◇月刊薬事 61巻11号  
\*つまずかないための 抗パーキンソン病薬の使い方
- ◇月刊薬事 61巻12号  
\*徹底比較！“よく似た2剤”の使い分け
- ◇産科と婦人科 86巻8号  
\*漢方の今、これから
- ◇産科と婦人科 86巻9号  
\*エキスパートに聞く 産婦人科超音波ABC
- ◇産科と婦人科 86巻10号  
\*どうする 再発婦人科がん
- ◇総合診療 29巻7号  
\*リウマチ・膠原病ミミック症例帖 “膠原病っぽくみえてしまう疾患たち”にだまされない！
- ◇総合診療 29巻8号  
\*ノーモア見逃し！ 日常の検査と画像に潜むピットフォール
- ◇総合診療 29巻9号  
\*“ヤブ化”を防ぐ！ 「外来診療」基本のき
- ◇調剤と情報 25巻10号（増刊）  
\*スキルに自信がもてなくても、地域連携に悩んだとしても。できるところから始める在宅
- ◇調剤と情報 25巻11号  
\*トレーシングレポートの正しい書き方、教えます
- ◇調剤と情報 25巻12号

- \*慢性疾患の生活指導に差がつく！食事と運動のエビデンス！
- ◇治療 101巻8号  
\*実地医家のための外国人診療
- ◇治療 101巻9号  
\*新時代不眠症治療宣言！
- ◇日経ドラッグインフォメーション 261号  
\*フォローアップ 事始め
- ◇日経ドラッグインフォメーション 262号  
\*高齢者の薬、ここに注意
- ◇日経ドラッグインフォメーション 263号  
\*抗結核薬の処方箋
- ◇日経メディカル 620号  
\*医師人生「後半戦」の落とし穴
- ◇日経メディカル 621号  
\*患者を癒やす言葉 傷つける言葉
- ◇日経メディカル 622号  
\*あなたの知らない血液の世界
- ◇日本医事新報 4969号  
\*これからの心不全デバイス治療
- ◇日本医事新報 4971号  
\*内視鏡検査の前処置と薬剤投与
- ◇日本医事新報 4972号  
\*増加し続ける川崎病
- ◇日本医事新報 4973号  
\*わが国で注意が必要な“熱帯病”
- ◇薬局 70巻8号  
\*糖尿病患者のフォローアップ 継続的な薬学的管理と患者支援の実践
- ◇薬局 70巻9号  
\*静脈・経腸栄養投与ルート徹底解説

【今月の論文等】

■薬物療法■

- ▶ 抗うつ薬のトラゾドンを処方したい不眠患者とは  
日経ドラッグインフォメーション (261) p. PE021

- ▶ IgA腎症患者に適応外でロトリガを処方する狙いとは  
日経ドラッグインフォメーション (262) p. PE021
- ▶ アモキシシリンにプロベネシドを併用する狙い  
日経ドラッグインフォメーション (262) p. PE039
- ▶ 降圧薬が変更された尿路結石患者  
日経ドラッグインフォメーション (261) p. PE031
- ▶ 抗癌剤による手足症候群の予防方法  
日経ドラッグインフォメーション (261) p. PE037
- ▶ クローン病患者に追加されたシプロフロキサシン  
日経ドラッグインフォメーション (261) p. PE039
- ▶ 降圧が不十分な患者に出されたミネプロ  
日経ドラッグインフォメーション (262) p. PE031
- ▶ 肩の痛みにファモチジンが出された理由  
日経ドラッグインフォメーション (262) p. PE023
- ▶ コルヒチンはなぜ痛風初期のみに有効なのか？  
日本医事新報 (4969) p. 58
- ▶ 小児の溶連菌感染症等の長期投薬に適した抗菌薬は？  
日本医事新報 (4969) p. 58

#### ■新薬■

- ▶ 審査報告書から見る新薬の裏側 [31] ベージニオ<sup>®</sup>錠  
50mg、100mg、150mg (アベマシクリブ)  
月刊薬事61 (11) p.158
- ▶ 審査報告書から見る新薬の裏側 [32] タリージェ<sup>®</sup>錠  
2.5mg・5mg・10mg・15mg (ミロガバリンベシル酸塩)  
月刊薬事61 (12) p.141
- ▶ 潰瘍性大腸炎 新規局所製剤 ブデソニド注腸フォーム  
剤の特徴と使用の実際  
新薬と臨牀68 (9) p. 11
- ▶ 糖尿病薬物治療における有効性の見方・考え方  
薬局70 (8) p. 20

#### ■安全性情報■

- ▶ 薬と相互作用のしくみ～自殺企図に至る薬剤性アカシ  
ジアの発症に注意  
日経ドラッグインフォメーション (262) p. PE026
- ▶ 眼科治療薬による副作用と対策  
調剤と情報25 (11) p.80
- ▶ 薬剤性眼障害の軽減に向けた製薬企業の取り組み  
調剤と情報25 (12) p.94
- ▶ 徹底解説！ 静脈栄養・経腸栄養における相互作用と  
その対処法  
経腸栄養剤との相互作用  
薬局70 (9) p. 43

#### ■薬剤師業務■

- ▶ パーキンソン病患者への服薬指導と留意点  
月刊薬事61 (11) p.86
- ▶ これなら医学論文が読める！使える！医薬品情報を  
引き出すイージーアプローチ  
製薬メーカーのパンフレットをもとに読み込む医療情報  
調剤と情報25 (11) p.94
- ▶ これなら医学論文が読める！使える！医薬品情報を  
引き出すイージーアプローチ  
素早く信頼できる情報を入手するためには？～二次資料  
を活用する  
調剤と情報25 (12) p.99
- ▶ 高血圧治療の意欲と関心を高める服薬支援  
調剤と情報25 (12) p.28
- ▶ 糖尿病治療薬で留意すべき副作用のマネジメント  
薬局70 (8) p. 39

#### ■産科・婦人科■

- ▶ 妊婦・授乳婦の服薬指導～妊娠中の風疹ワクチン接  
種は危険？  
日経ドラッグインフォメーション (261) p. PE028
- ▶ 妊婦・授乳婦の服薬指導～妊婦が使える市販の消炎  
鎮痛外用薬は？  
日経ドラッグインフォメーション (262) p. PE022

#### ■その他■

- ▶ 小児に対する咳止めの処方に関する考え方は？  
日本医事新報 (4975) p. 48
- ▶ スポーツファーマシストが教える セルフメディケーション  
のピットフォール  
肉離れの再発予防にアプローチ  
調剤と情報25(11) p.116
- ▶ リンゴ酸およびマグネシウム含有サプリメントの摂取  
がいびきを自覚する健常成人の睡眠の質に与える有  
効性  
新薬と臨牀68 (8) p.16
- ▶ 国民保険と海外の保険—医師と医事課が理解しておく  
こと—  
治療101 (8) p.971
- ▶ 高齢者における漢方薬の有用性と留意点  
新薬と臨牀68 (7) p.37
- ▶ トレーシングレポートとは～書き方向上のための工夫  
調剤と情報25 (11) p.8
- ▶ プライマリ・ケアにおけるアンチ・ドーピング  
日本医事新報 (4969) p. 8

# 医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

なぜベンゾジアゼピンが問題なのか？

治療 9月号

今日、ベンゾジアゼピン受容体作動薬（以下BZDs）は覚せい剤につぐわが国第2位の乱用薬物となっている。覚せい剤依存症患者の多くが刺激・快楽希求的な動機から使用するのに対し、BZDs依存症患者は、「不眠や不安の軽減」、「抑うつ気分の改善」といった、苦痛緩和のために薬物を使用する傾向がある。多くは依存症にはならない。しかし、たとえ依存症にならなくとも、自殺リスクを高める可能性はある。うつ病治療の導入期において抗うつ薬と一緒にBZDsを処方する。これは、抗うつ薬の効果が出るまでのもどかしい期間、即効性のあるBZDsで治療からの脱落を防ぐ意図がある。しかし、時としてBZDsのみを服用する患者が出てくる。以降、さして言葉も交わさないまま漫然とそのBZDsの「DO処方」を繰り返す治療が続く。常用量依存では、薬物の服用量は増加傾向がないが、服薬中断時には不眠や不安、焦燥などの離脱が生じてしまう。どうしてもBZDsを処方しなければならぬ局面は、十分にありえるが、そのときには、患者からの好感度下落を恐れずに、できるだけ血中半減期の長い、「切れ味の鈍い」薬剤を選択すべきだ。

国立研究開発法人国立精神・神経研究センター  
松本 俊彦

ポリプ切除後に新幹線や飛行機での移動を一定期間制限する理由は？

日本医事新報 4971号

ポリプ切除後の生活指導については、「消化器内視鏡ハンドブック」（第1版）において、後出血の予防目的に運動や飲酒を1週間程度制限する、また遅発性穿孔の生じるきっかけとして術後排便時のいきみ、飲酒、運動が関与することをあらかじめ説明するなどの注意点が明記されています。飛行機内は常に大気圧より低い状態です。ボイルの法則から気体の体積は地上と比べて約1.25倍に増加することになり、いきみによる腸管内圧上昇と同様の事象が起こっていることとなります。それに伴い、縫縮クリップの脱落、遅発性穿孔、後出血のリスクが上昇すると考えられます。また新幹線などの高速鉄道においてもトンネル内走行時に車内の気圧が低下することから、その影響は短時間と予想されますが、同様のリスクが生ずる可能性があります。後出血は治療後約1週間までに出現することが多く、遅発性穿孔の大部分は治療後24時間以内に発症すると報告されています。また、長距離フライトなどで緊急事態が生じた際は適切な治療が行えないこともあります。以上より、術後1～2週間以内の飛行機や新幹線の移動制限は妥当であると考えます。

藤田医科大学消化管内科 大森崇史・大宮直木

漢方療法の適用を見直す  
妊婦の便秘

産科と婦人科 8月号

妊娠中は黄体ホルモンの影響や子宮の増大に伴う腸管への物理的圧迫などがあいまって便秘になりやすく、妊娠中の便秘症は約半数に認められている。そこで、妊婦にも安心して使用できる漢方薬として大建中湯に注目した。大建中湯は腹部を温め、胃腸の消化機能や蠕動運動を促進する働きがあるとされる。また、潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸炎疾患において抗炎症作用を示すことや、腸内細菌叢の代謝活性化などの効果も臨床で報告されている。便秘に対しても、消化管の摘出術後等幅広い背景の患者に効果があると報告されており、何よりも子宮収縮を惹起しないことが報告されているため、妊婦に安心して使用できるのではないかと考えた。2010年2月～2012年8月で、便秘を訴えた合併症のない妊婦20例を対象とし、大建中湯7.5g/日を28日間投与した。対象者には毎日CAS（CASスコア：自覚的な便秘症状を8項目で測定する尺度）を記入してもらい評価した。その結果、大建中湯は妊娠中の便秘に有用であること、また内服翌日より有意な効果が出現する事、妊娠中期の症例に有意な効果を発揮することが示された。また、母体への副作用や妊娠転帰への影響は認めなかった。

名古屋第一赤十字病院 産婦人科  
津田 弘之

家庭血圧の測定方法と測定条件  
いつ、何回、どのように、いつまで測定するか

薬局 10月号

家庭血圧（HBP）は、今日、高血圧診断・治療の根拠として、診察室血圧より優位に位置づけられている。高血圧治療ガイドラインにある「診察室血圧と家庭血圧の間に診断の差がある場合、家庭血圧による診断を優先する」という記述がそれを示している。家庭血圧測定装置が、比較的安価に入手可能で広汎に普及していること、その平均値が診察室血圧に比べて、標的臓器障害、心血管病の発症、死亡をよりよく反映していることなどによる。HBPの測定環境、測定条件は、ガイドラインに原則が示されている。1機会複数回の測定は、記録時に「都合のよい血圧値を記す」という選択・報告バイアスのかかる可能性が極めて高い。測定は、原則1機会2回の測定値の平均値を記すのが適当と思われるが、その際やはり、2回の平均値を算出することの忍容性が問題になる。筆者は「1機会に何回測定してもいいが、最初の1回目の血圧値は必ず記載するように」指示している。血圧手帳への自己記録により、血圧計の中にあるメモリーへの読み出しで、選択・記録バイアスは除外可能であり、これを用いるのが、最も適当と考える。最も大切なことは、とにかく患者がHBPを測定することであり、測定を阻害する要因を常に考慮すべきである。

東北血圧管理協会 今井 潤

## Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

### ★【日薬幹旋図書】社会保険薬価基準 2019年10月版

【発行】薬事日報社 【発行日】2019年9月

【版型/頁】B5判/856頁 【定価】3,888円(税込)【幹旋価格】2,100円(税込)

2019年10月1日実施の薬価基準改定に対応。薬価基準収載医薬品を「内用薬」、「外用薬」、「歯科用薬剤」ごとに品名50音順(注射薬のみ別建)に記載。調剤報酬算定の必要事項がコンパクトにまとまった充実の内容に「用法・用量」の確認もできる便利な一冊。

### ★【日薬幹旋図書】薬価基準点数早見表 令和元年10月版

【発行】じほう 【発行日】2019年9月

【版型/頁】A5判/1,046頁 【定価】3,960円(税込)【幹旋価格】2,050円(税込)

薬価基準収載医薬品を「内用薬」、「外用薬」、「歯科用薬剤」の投与経路別に、商品名の50音順に配列し、点数早見表、薬効別分類表を収録した医療事務必携の書籍。

### ★【日薬幹旋図書】商品名・一般名からさがす ジェネリック医薬品リスト 令和元年10月版

【編著】医薬情報研究所 【発行】じほう 【発行日】2019年9月

【版型/頁】A5判/642頁 【定価】3,740円(税込)【幹旋価格】3,300円(税込)

2019年6月収載の新規後発医薬品を収録。同一成分内での類似剤形・規格違いの後発医薬品がひと目で分かる。一般名、商品名のどちらからでも検索可能。製品ごとの適応をコンパクトにまとめ、薬価差や製剤特性なども一覧表示。

### 2ページで理解する 標準薬物治療ファイル 第3版

【編集】日本アプライト・セラピューティクス(実践薬物治療)学会 【発行】南山堂 【発行日】2019年7月

【版型/頁】A5判/145頁 【定価】2,750円(税込)

臨床で遭遇する主要67疾患について、ガイドラインに基づき標準的な薬物治療及びその管理をコンパクトに整理したチェック・リスト。SOAP形式で患者情報を記録し、処方設計・管理する際、医師・薬剤師が何を確認し治療を進めていくかを箇条書き形式で2ページにまとめた、病棟業務や薬学教育における実務実習に必携の1冊。

### ここからはじめる 検査値×処方箋の読み方 第2版

よくあるケースに自信をもって疑義照会する！

【編著】増田 智先、渡邊 裕之、金谷 朗子 【発行】じほう 【発行日】2019年8月

【版型/頁】A5判/416頁 【定価】3,850円(税込)

今版では、検査項目や症例を加筆・追加。新たに保険薬局薬剤師も執筆に加わり薬局目線の解説も充実。異常値のとらえ方から疑義照会のポイントまで分かりやすく紹介。付録「患者向け検査値説明シート」は、各項目の検査目的や異常があったときの症状などをわかりやすく解説、専用サイトからダウンロード・プリントアウトが可能で患者説明時に役立つ。

# Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

## イラストでよくわかる がん治療とサポーターティブケア 第2版

【監修】田口 哲也 【発行】じほう 【発行日】2019年7月

【版型/頁】B5判/152頁 【定価】2,750円(税込)

がんと遺伝子の関係や、免疫チェックポイント阻害薬の特徴・副作用など、近年注目されているがん診療に関わる話題を大幅に追加。また、心のケア、就労や医療費についてなど、患者が高い関心を持つ話題についても丁寧に解説。

## 在宅医療 Q&A 令和元年版

### 服薬支援と多職種協働・連携のポイント

【編著】日本薬剤師会 【発行】じほう 【発行日】2019年8月

【版型/頁】A5判/272頁 【定価】2,750円(税込)

在宅医療における薬剤師の疑問に答える定番書籍。在宅医療に踏み出そうとしている初心者にぴったりのQ&A集。在宅訪問準備から訪問後の報告、患者・服薬支援、多職種連携・体調チェック・薬のチェックなどのポイントや、緩和ケアの知識などをコンパクトにまとめている。在宅医療の実務はもちろん、フレイル、ロコモ、サルコペニア、転倒スコアなど、知っておくべきポイントが満載。

## フォーミュラリーマネジメント

### ～院内フォーミュラリーから地域フォーミュラリーへ～

【編集】フォーミュラリー編集委員会 【発行】薬事日報社 【発行日】2019年8月

【版型/頁】B5判/247頁 【定価】4,180円(税込)

医療削減に向けた「合理的および経済的な医療提供」、患者のために「医師、薬剤師が標準薬物治療を行うための指針」として活用が期待されるフォーミュラリー。本書では、フォーミュラリーの策定・導入方法に加え、作成後の使用状況の把握や薬物治療の質を維持するためのマネジメント手法について紹介・解説。

## 機能・活動・参加とQOLを高める リハビリテーション薬剤

【編集】若林 秀隆、中道 真理子、中村 直人【発行】じほう 【発行日】2019年7月

【版型/頁】A5判/250頁 【定価】3,740円(税込)

リハビリテーションでの訓練内容を考慮した薬物治療と継続不可欠な薬剤の副作用を考慮したリハビリテーションの基本的な考え方から臨床での実践までをわかりやすく解説。リハビリテーション現場での薬の使い方に悩みをもつ医療職種が問題解決のヒントを得られる1冊。

## 医療現場のための薬物相互作用リテラシー

【編集】大野 能之、樋坂 章博 【発行】南山堂 【発行日】2019年7月

【版型/頁】B5判/271頁 【定価】3,960円(税込)

近年では、薬物相互作用(DDI)を考える際にその影響の強度によって相互作用薬と被相互作用薬を分類するなど、DDIの考え方は転換期を迎えている。DDI予測に有用なCR-IR法とPISCSの使い方から、基質薬や阻害薬・誘導薬として重要な薬剤のDDIマネジメントまで医療現場に必要なDDIリテラシーを身につけるための解説書。

## 書籍紹介



### ◎本書目次◎

- 序章 そうだ！ 薬剤師さんに相談だ！
- 第1章 お薬の素朴な疑問に答えます
- 第2章 薬局、お薬手帳の疑問に答えます
- 第3章 薬の副作用・薬の心配事について答えます
- 第4章 子どものお薬の疑問に答えます
- 第5章 妊娠中、更年期のお薬の不安に答えます
- 第6章 高齢者のお薬の不安に答えます
- 第7章 風邪薬、頭痛薬、便秘……身近な薬の不安に答えます
- 第8章 薬に頼らない健康体を手に入れるために

### 〈書籍内容〉

本書はお薬に関する素朴な疑問から薬の正しい飲み方、薬に対する不安や副作用まで、Q&Aの形で紹介していきます。いずれも著者が日々、現場で患者さんからよく聞かれる質問を集めました。

飲み方や飲む量もそうですが、薬に対して漠然とした不安を持っている人も少なくありません。しかし、薬についてどこかで疑問や不安を持ちながらも、それを誰にも聞けないままに飲んでいく現実があります。あるいは「間違った飲み方」をしていたり、薬の飲み方、扱い方を勘違いしている方も少なくありません。

大事なことはざっくりでいいから「基本」を覚えておくことです。これだけはしてはいけないことは何か、こういう緊急事態にはどうすればいいのかなど、最低限の飲み方の基本さえ押さえておけば、いざというときに対応ができます。

本書で薬についての理解を深め、健康でイキイキとした人生を送ることができますよう心から願っています。

### 〈著者プロフィール〉

宮城敦子（みやぎ・あつこ）

1962年沖縄県那覇市生まれ、第一薬科大学卒業。薬剤師。有限会社メディキャスル代表取締役。病院勤務を経て、1999年クララ薬局を設立。薬局を3店舗経営する傍らメディカルハーブコーディネーター、アロマセラピーアドバイザー、また健康ジャーナリストとして雑誌やサイトのコラム執筆など、活動するフィールドを広げている。2006～2010年、沖縄ケーブルテレビ番組「沖縄発！おもしろ調査隊」のキャスターを務め、沖縄の食事や野菜、薬草、自然などを再認識し沖縄の良さをアピールする。現在はラジオ番組を持ち、パーソナリティーとして薬だけでなく癒しや健康生活に関する情報を発信している。2019年よりゴルフスタジオの経営に関わる。著書に『薬剤師クララがいく！』（文芸社）、共著書に『薬剤師のためのコミュニケーションスキルアップ』（講談社）がある。

…………… お問い合わせは下記まで ……………

〒162-0053 東京都新宿区原町 3-61 桂ビル  
株式会社現代書林 担当/企画部 浅尾浩人  
TEL 03-3205-8040 FAX 03-3205-8423  
E-mail asao@gendaishorin.co.jp

## 健康食品の安全性情報 (1)



# グルコサミン

Key word: 関節痛、軟骨、関節炎、変形性関節症

2018年の民間調査(\*1)によると、中高年層で摂取率の高い健康・機能性素材上位はDHA・EPA、青汁、ブルーベリー、コラーゲン、乳酸菌、グルコサミン、また都民1200人に行った調査(\*2)では健康食品利用者の多くが動き目・有動性(機能性)を重視していました。「TVショッピングで体にいいといわれると、つい買ってしまふのよね。」と患者さん。健康食品については、TVで話題となり、口コミなどをきっかけに、利用を始める傾向にあります。医薬品と比べ多くのデータがないのが実情です。情報が氾濫する中、健康食品による健康被害の報告もあります。普段から信頼できる情報をもとに選択することが大切です。

\*1 株式会社矢野経済研究所「健康・機能性食品素材に関する消費者アンケート調査」結果(2018年7月)

\*2 東京都福祉保健局「都民を対象とした「健康食品」の摂取に係る調査結果」(2016年2月)

**【概要】**「グルコース(糖)」に「アミノ基」が付いた構造をしている糖の一種で、軟骨や腱等の結合組織を構成するプロテオグリカン(ムコ多糖タンパク質)の成分として生体組織に広く分布。甲殻類の外殻に含まれるキチンの構成成分。研究者の間では、関節周囲の軟骨及び体液が増加したり、これらの物質の破壊が予防されたりする可能性があると考えられている。グルコサミン硫酸塩、グルコサミン塩酸塩、N-アセチルグルコサミンなど複数の形態がある。

**【最新情報】**フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)は2019年3月29日、関節痛のサプリメントを特定の集団に摂取しないよう推奨。フランスでは関節痛のためのグルコサミン及び/又はコンドロイチン硫酸塩を含むサプリメントが大量に販売されており、これらのサプリメントの摂取が原因であるとされる有害作用がANSESの栄養監視システムに登録された。同定された有害事象は23件。これらの特定の集団\*による当該サプリメントの摂取に関連するリスクについて、ANSESは消費者へより適切な情報提供をするために製造者が対策を講じることを推奨している。  
\*特定の集団：糖尿病患者、または前糖尿病患者(糖尿病予備軍)、喘息患者又はビタミンK拮抗薬の治療を受けている者、甲殻類又は昆虫に対する食物アレルギーを有する者、食事でNa, K, Caの管理をしている者、妊婦、授乳婦。

## 【有効性】

-グルコサミン硫酸塩：

- ・骨関節炎：おそらく有効
- ・変形性関節症(特に膝)：おそらく有効。(4-8週間かかる可能性)
- ・重篤で慢性的な骨関節炎の痛み：効果はない
- ・エストロゲン値を低下させる医薬品による関節痛、間質性膀胱炎、膝関節痛、多発性硬化症、顎関節症、緑内障、体重減少：科学的データが不十分
- ・コンドロイチン硫酸等他の成分と組み合わせて販売されているサプリメントもあるが、単独で使用するより有効性が高まるかどうかについては明らかではない。

## 【使用量の目安】

グルコサミン：1,000~1,800mg



・・・参考文献・・・

1. 内閣府食品安全委員会「健康食品等の安全性情報等に関する調査報告書」(WIPジャパン株式会社)、2012
2. 「健康食品」の安全性・有効性情報 <https://hinet.nibiohn.go.jp/>(国立研究開発法人 医薬品基盤・健康・栄養研究所 HP)
3. 健康食品・サブリ「成分」のすべて 第6版(同文書院) (2019.10作成)
4. サプリメント事典第3版(平凡社)

## 【安全性】

- グルコサミン硫酸塩：適切に摂取すればおそらく安全。
- グルコサミン塩酸塩：短期間、適切に摂取する場合は安全性が示唆されている。若い人が長期にわたって摂取すると、自然な軟骨再生力が低下する可能性。
- アレルギーを誘発する可能性！  
甲殻類又は昆虫に対する食物アレルギーを有する者。
- 妊婦・授乳婦：摂取しない。  
安全性について信頼できる十分なデータがない。
- その他：血糖値、血圧、血中コレステロール値の上昇などが懸念されているので、糖尿病、高脂血症(脂質異常症)、高血圧のリスクのある人は、注意が必要。

## 【医薬品との飲み合わせ】(相互作用リスク)

1. ワルファリン(高：併用してはいけない)⇒コンドロイチンとの併用に関係なく医薬品の効果を高めて、血液凝固をさらに遅らせるという報告もあり、重度のあざや出血を引き起こす可能性がある。
2. アセトアミノフェン(低：併用注意)⇒それぞれの作用に影響する可能性。現時点では問題ないとする専門家が主流。
3. 抗悪性腫瘍薬(エトポシド、ドキシソルビシン塩酸塩)(中：慎重な経過観察が必要)⇒がん細胞の複製を早める可能性がある。医薬品の効果が低下するおそれ。
4. 糖尿病治療薬(低：併用注意)⇒医薬品の効果が減弱し、血糖値を上げる可能性も示唆されていたが、最近の研究で糖尿病患者の血糖値を上昇させることはないことが示されており、糖尿病治療薬の効果を妨げることはおそらくないとされている。
5. 他のサプリメント：コンドロイチン硫酸とグルコサミン塩酸塩：理論上、グルコサミン塩酸塩の吸収が抑制されるおそれ。

\*健康食品は、あくまでも食品であって、たとえ健康に良いとされる効果が表示されている場合であっても、薬のように、痛みを軽減したり、病気を治したりする効果が期待できるものではありません。(消費者庁)

## 薬事情報センターの利用のしかた

### ○業務内容

(1)医薬品情報の提供 (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3)医薬品に関するお問い合わせ (4)県薬ホームページの制作・管理 (5)消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6)ドーピング防止ホットライン業務

### ○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室及びドーピング防止ホットラインの電話は **098-963-8935** になります。お気軽にご利用ください。

### ○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の閲覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL：098-963-8931 FAX：098-963-8937

沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

## スポーツファーマシスト認定者向け

## Live on Seminer のご案内

### 『スポーツファーマシストのための情報提供研修会』

【※ 日本薬剤師研修センター認定研修1単位】

平素、アンチ・ドーピング活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、日本アンチ・ドーピング機構(以下、JADA)スポーツファーマシスト事務局が主催する大塚製薬株式会社 Live on Seminer システムを用いた対象拠点会場とのweb研修会(第2回・第3回)の開催をご案内申し上げます。

国民体育大会や禁止表国際基準など、季節毎のテーマで年3回開催し、公認スポーツファーマシストの知識のアップデートや実践的な情報を得る機会となっています。

公認スポーツファーマシストの資格をお持ちの方、是非ご参加ください。

なお、前回(第1回目)を受講されていない方も受講可能です。

### 【開催日程・受講料】

第2回：2019年11月20日(水) 19:00～21:00 「国体開催県による情報共有」

第3回：2019年12月11日(水) 19:00～21:00 「症例検証」

場 所：沖縄県薬剤師会館 ホール(南風原町字新川 218-10 Tel.098-963-8930)

受講料：沖縄県薬剤師会会員は無料、非会員は1万円

● 県薬HP-「研修会の頁」からも申し込みが可能です。

● 右のQRコードもご利用ください

申込締切：令和元年11月1日(金)



県民の皆様へ

薬剤師会をご活用ください!

やくたっ  
薬達ちゃーより

## あまくま<sup>やくだ</sup>薬立つ情報

### ➔ 健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地（離島も含む）の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催！薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。（会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。）

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電話 098-963-8930

### ➔ おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。（薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など）

電話 098-963-8935

### ➔ 試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第12条第1項に関する試験検査機関の登録機関として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。（検査の際は、調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。）

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承下さい。

電話 098-963-8934

e-mail [siken@okiyaku.or.jp](mailto:siken@okiyaku.or.jp)

### ➔ 薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施（在宅支援）薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの“かかりつけ薬局”をおもちになってください。（詳細は沖縄県薬剤師会ホームページを閲覧ください。）

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ  
<ホームページアドレス <http://www.okiyaku.or.jp>>

## 第41回 暮らしの中の薬草学 身近な薬草を知ろう



女性薬剤師部会 狩俣 イソ

ミニ薬草園にイノコヅチが育っています。何の変哲もない雑草のようで、引き抜いて捨てたくなるような草ですが、土の中で生薬ゴシツが息づいているのです。

### イノコヅチ：猪子槌

学名	Achyranthes bidentata
科名	ヒユ科 Amaranthaceae
属名	イノコヅチ属 Achyranthes
使用部位	根・葉・花芽
有効成分	イノコステロン、エクジステロン、 グルタミン酸、オレアノール酸
生薬名	牛膝ゴシツ



### <イノコヅチの名称と繁殖地>

イノコヅチは、ヒユ科イノコヅチ属の多年草で、日陰に多いヒカゲイノコヅチと逆に日向に多いヒナタイノコヅチがある。薬用としてはヒナタイノコヅチを使用する。ヒカゲイノコヅチは根が大きくなならないので薬用としては使用しない。根は外面が灰褐色で、あまり肥厚せずまばらな髭状である。根が長くて節が太く、茎が紫色のイノコヅチは薬効が高い。逆に根が細くて節が小さく、茎が青色の根は薬効が低い。

日本にはイノコヅチは雑草として山野、路傍、藪など至る所に繁殖しており、資源豊富な生薬で、日本で自給可能な数少ない生薬と言える。

茎の節が膨らんでいて、イノシシの膝や腫のように見え、これを槌にたとえてイノコヅチの名がついた。この膨らんだ部分は、虫のコブを含む場合が多く、切断すると虫の幼虫が出てきたりする。フシダカ、コマノヒザとも呼ばれる。

### <イノコヅチの特徴>

茎の断面は四角形で節部は固く直立しており、太い。高さは1m近くになる。葉は長さ10cm～20cmで柄があって対生し、長楕円形～倒卵形で先が尖っている。葉のふち全辺で多少波打っていて、葉の両面に毛がまばらにある。8月～10月にかけて、茎の上部または葉腋から10cm～20cmの細長い穂状花序を出して、緑色の小花を多くつける。花は初め上を向いているが、花が散った後果実が出来ると下向きになり、苞の先が尖る。花弁は無く、萼（ガク）は5枚、外側の萼が鋭く尖っている。花被片、雄蕊（オシベ）は5つ、雄蕊と雌蕊の間に仮雄蕊もある。小さく尖った苞葉は花の基部に3個あり、果実は胞果、果実の熟後（実は熟しても裂けない）も残りどげ状となって動物の毛や衣服に付着（泥棒草・ひつつき虫とも言われる）し、それによって種子を散布する。

### <イノコヅチの成分>

イノコステロン、エクジステロン、ルプロステロンなどの昆虫変態ホルモンが、含まれている。その他、アミノ酸のアスパラギン酸、グルタミン酸や、コハク酸、シュウ酸、サポニンのオレアノール酸、粘液質などを含有する。

### <食材・茶・入浴剤としてのイノコヅチ>

若葉・花芽を熱湯で5～6分茹で、その後、冷水にさらしてゴマあえやおひたし、汁ものの具にする。冬に根を掘り上げたものを煎じて（イノコヅチ5～10gを水700ccほどの中に入れて弱火で15～20分程度抽出）飲めば、利尿、生理不順、神経痛に効く。イノコヅチを入浴剤にすれば疲労回復、保湿効果が期待できる。

### <薬用としてのイノコヅチ：牛膝ゴシツ>

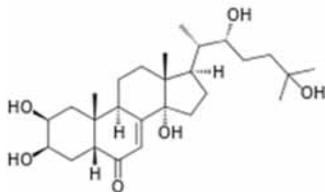
イノコヅチの根を乾燥させて作った生薬を牛膝といい、服用する事により浄血作用、利尿作用、通経作用が期待でき、神経痛、腰痛、関節炎、

膝の痛み、脚気、リウマチ、生理不順、利尿などの効果がある。また俗間では墮胎薬としても使われた。

牛膝は神農本草経・上品(中国最古の薬物学書)によれば「一名百倍、味苦平、生川谷、治寒濕痿痺、四肢拘攣、膝痛不可屈伸、逐血氣、傷熱火ラン、墮胎、久服輕身耐老」という記述がある。

日本では本草和名(ホンゾウワミョウ) 918年日本現存最古の薬物辞典に「牛膝、和名:為乃久都知(イノクヅチ)、一名:都奈岐久佐(ツナギグサ)」と記述がある。

### <エクゾソン>



エクゾソンは昆虫変態ホルモン(卵から幼虫、サナギ、成虫に変態する)と言われ、昆虫の前胸腺から分泌され、成長を促すステロイドホルモンである。脱皮または変態を促進する作用があり、脱皮ホルモンとも呼ばれる。エクジソンはホルモン前駆体であり、20-ヒドロキシエクジソンに代謝されて機能を発揮する。類似構造を持つホルモンを総称してエクジステロイドとも呼ぶ。これらは植物にも存在し、植物エクジソンと呼ぶ。昆虫以外の節足動物にも存在し同様の機能を有する。甲殻類ではY器官から分泌される。

イノコズチにはエクジソンが含まれており、イノコズチの葉を食した昆虫は、昆虫変態ホルモンの影響で脱皮や成長が促され、成虫化する時間が大幅に短縮される。

「新規エクジステロン合成誘導体及びその製造方法と用途: エクジステロンはリボ核酸・タンパク質の合成を促進、糖代謝に寄与、脂質代謝を促進、免疫を調整、中枢神経系に寄与、老化を防止、血行を促進して鬱血を解消する」として公表特許公報に複数名で掲載されている。

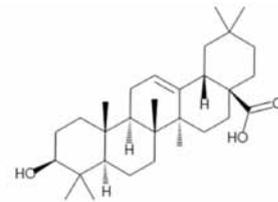
エクジステロンというサプリメントが販売されている。エクジステロンが筋肥大に効果的というデータを、ベルリンの薬学研究所が発表。若年男性の筋力トレーニングに関する10週間の介入研究の結果、エクジステロンを投与した参加者では、筋肉量の増加が観察され、ベンチプレス性能の顕著な増加が観察された。肝臓または腎臓の毒性は認められなかった。研究者は

WADA(世界アンチドーピング機関)の禁止薬物に含めるべきだと主張している。

一方でテキサス州ベントンの大学で、メトキシソフラボン、エクジステロン、及びスルホ多糖の効果の研究した。プラセボグループとエクジステロン投与グループで除脂肪体重の変化に差はなし、スプリントピークパワー、ベンチプレス、レッグプレス性能において変化なし、エクジステロンは効果なし、と結果がでた。

### <オレアノール酸>

オレアノール酸はブドウの果実表面に見られる白い粉として知られ、農薬やカビと勘違いされやすい。ブドウの場合は、オレアノール酸が生成され、果皮の表皮をコーティングし、病原菌の感染の予防や鮮度保持などの役目を果たしている。



オレアノール酸は、ウルソール酸、ベツリン酸とともに「三大機能性トリテルペン」と呼ばれ、エイジングケア向けの皮膚の外用剤、化粧品素材や、メタボリックシンドロームの予防関連商材などに利用されている。

**肝機能保護作用:** 中国では医薬品と同レベルに扱われ、オレアノール酸が肝臓で重金属の解毒を促すことがわかっている。

**血糖値上昇抑制作用:** オリーブ葉(オレアノール酸を多量に含む)を食する人に糖尿病罹患率が少ないことが研究で明らかになった。

高浸潤性乳癌の細胞増殖を妨げる・心血管疾患抑制・抗炎症・皮膚に対する作用・抗菌作用・抗酸化作用・抗高脂血症・アンチエイジング効果・虫歯菌の増殖抑制・育毛などの作用がラットやヒト臨床試験で報告されている。

大阪大学、横浜市立大学、理化学研究所、東京工業大学、キリンホールディングス、サントリーブビジネスエキスパート、神戸大学の7者は、「オレアノール酸生合成のカギとなる酵素遺伝子を明らかにし、同遺伝子を導入した組み換え酵母でオレアノール酸を合成することに成功した」と共同で発表した。

参考: 日本大百科全書、野に咲く花、東京工業大学、TEA CRIP、やなぎ堂薬局、村上光太郎: 崇城大学教授、東京生薬協会

投稿

## 九州・沖縄地域包括ケア推進フォーラム受賞報告

この度、弊社の管理栄養士を活用した在宅・施設訪問の取組が、九州厚生局主催の「九州・沖縄地域包括ケア推進フォーラム（以下、フォーラム）」において、団体の部「特別賞」を受賞しましたので報告致します。

同フォーラムは、「地域包括ケアシステムについて（省略）優れた取組を管内において広く横展開を図ること及び各事業の普及啓発を図ること（九州厚生局ホームページより引用）」を目的に、全国でも初の試みとして去った8月30日に福岡県にて開催されたものです。

地域包括ケアシステムとは、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制を指します。そこには各市町村行政による地域に応じた体制づくりを中心に、各医療機関、介護機関、民間団体等の連携、協働が欠かせません。

フォーラムでは、厚生労働省老健局大島一博局長の基調講演に続き、「市町村の部」8市町村、「団体の部」5団体の表彰が行われました。

受賞したうちの2市町村・2施設に発表の機会が与えられ、弊社の取組みも管理栄養士により紹介する事が出来ました。紹介内容として「薬剤師・事務・管理栄養士の三者協働



葉正堂 すこやか薬局グループ  
佐藤 雅美

により各職種が専門性を発揮し減薬や低栄養の改善につながった症例」や、「地域ケア会議への薬剤師・管理栄養士の派遣を通して調剤薬局の地域包括ケアシステムへの関わり」について発表させていただきました。

発表後の会場の反応として、薬局が地域包括ケアシステムのなかで貢献できる事への驚きと期待、そして今後互いに繋がっていける事への喜びを感じる事が出来ました。

「創造と奉仕」「地域貢献」の基本理念のもと、訪問事業を立ち上げて11年。

こつこつと日々の業務に取り組んできた社員、そして関係各位の皆さまへの深い感謝の思いとともに、地域に根差した薬局、地域に選ばれる薬局を目指して、邁進する活力をいただいた受賞となりました。



### 各職種の業務内訳

外部研修: 令和元年8月

#### 薬剤師

- 健康状態、副作用症状等の確認
- 処方内容や剤形等の提案
- 残薬調整 ● 服薬指導
- 麻薬処方時の24時間対応

#### 事務

- 薬のセット、残薬確認※薬剤師最終チェック
- 訪問スケジュール管理
- 契約書等書類管理
- レセプト請求

#### 管理栄養士

- 摂取量等の栄養評価
- 栄養、食事指導
- 調理、買い物等の実技指導
- 経腸栄養剤、輸液等のプラン提案

### 症例②

外部研修: 令和元年8月

■ 80代女性 ■ 主病: パーキンソン病  
■ ADL: 全介助

数年かけて経口摂取不良、体重減少。  
訪問看護より管理栄養士介入依頼。

XX年 12月 **米** 訪問時、薬剤管理の必要性をケアマネージャーへ提案。

薬 服用時点の変更、薬剤増量提案  
⇒無動症状が改善し安定した摂食が可能に。  
米 嚥下機能に応じた食形態の調整、および調理。

	介入前	4か月後
アルブミン(g/dl)	3.2	3.6
ヘモグロビン(g/dl)	9.6	11.7
体重(kg)	33.1	33.6

徐々に摂取量が増量。  
(909kcal/日⇒1000kcal/日)  
**栄養状態が改善した。**

### 症例①

外部研修: 令和元年8月

■ 男児 ■ 主病: 脊髄髄膜瘤 経鼻胃管栄養  
■ 身体所見: 気管挿管、人口肛門造設

訪問薬剤管理開始。その後も入退院を繰り返す。

XX年 12月 8か月間の入院。  
抗生剤投与長期化により腸管使用困難となり、  
中心静脈栄養へ。

翌年 5月 退院。便秘のため、  
薬剤にて排便コントロール。  
薬剤師より栄養士へ情報共有。

翌々年 1月 投与後数日で排ガス、自然排便あり。  
滴剤型緩下剤、浣腸を中断。  
3か月後、酸化マグネシウムも中止。  
**合計3剤の減薬に。**

米 水溶性食物繊維の投与を主治医へ提案、採用となる。

### 調剤薬局管理栄養士の利点と展開

外部研修: 令和元年8月

● 薬剤師が構築した他医療機関、介護事業所とのネットワークを活用し、新規参入した管理栄養士も**多職種連携がスムーズ。**

● 情報共有により、広い視野で地域住民の健康に貢献。

● 創造途中の新しい職場だからこそ、**地域に出向き、さまざまなニーズに対応が可能。**

「地域に根差した、顔の見える管理栄養士」

● 複数店舗を有する為、「店舗の数だけ地域に窓口」があり、少数の管理栄養士でも社内連携により地域のニーズを収集可能。

● グループ企業の利点

● フットワークの軽さ

● 薬と栄養の連携

## 薬連だより

# 本田あきこ氏が当選！ 第25回参議院議員通常選挙

沖縄県薬剤師連盟  
会長 亀谷 浩昌

会員の皆様には、平素より本連盟活動へのご支援に衷心より厚く御礼申し上げます。

第25回参議院議員通常選挙において、私たち薬剤師の代表「本田あきこ氏」が159,596票を得て、自民党比例区候補者33人中14番目で当選を果たしました。

選挙日前の数ヶ月の間、地区薬剤師会、幹事長、副幹事長はじめ総務役員、支部担当者と共に、薬剤師職能の確立のために政治の必要性のご理解をお願いして参りました。会員の皆様の一票一票の積み上げにより、結果を得ることができました。

今後、国の医療政策において薬剤師職能が十分に発揮できるよう本田あきこ氏と共に頑張っていきたいと思っております。

## 本田あきこ オレンジ日記 国会議員としての第一歩

「当選確実」、この瞬間を待ち望み、私は選挙事務所近くに待機していました。当日は、選挙事務所のみならず、たくさんの支援者の皆さまが自宅で開票を見守っていただいたことを後でお聞きしました。NHKが当選確実を伝えたのは、夜明け近くの、7月22日（月）の午前4時40分でした。同日11時から、当選報告会が開催され、当選ダルマへの目入れと、万歳三唱が行われました。私は、これまでの活動に対するご支援への感謝の気持ちをこめて挨拶をさせていただきました。その後の日程については以下の通りです。

7月25日（木）：参議院自民党主催の新議員説明会

7月26日（金）：中央選挙管理会委員長名の当選証書及び議員記章（議員バッジ）を受領。

7月29日（月）：参議院議員任期開始。厚生労働部会、その後、参議院自民党の通常総会に参加。

8月1日（木）：臨時国会召集・初登院。国会対策委員会、議員総会、本会議、両院議員総会、天皇陛下をお迎えしての開会式。



日本薬剤師連盟  
副会長 本田 あきこ

このような公務日程をこなしています。

今は、国会内を歩くのに右も左もわからない状態ですが、参議院議員の藤井基之先生、衆議院議員の松本純先生、とかしきなおみ先生に国会内のことを教えていただきながら、過ごしています。

伝統があり、格式の高い参議院の中で、薬剤師の存在感を更に増幅させていくことや、支援いただいた皆様の声を国政に届け、実行していくことがこれからの私の使命です。薬剤師と医療の未来を切り拓くことができるよう、更に頑張ってお参ります。

参議院議員会館の私の部屋番号は、次の通りです。

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館1001号室

電話：03-6550-1001 FAX：03-6551-1001

薬剤師の皆様の身近な窓口としてご利用下さい。

薬連だより

本田あきこ オレンジ日記  
国政の場で薬剤師の声を



日本薬剤師連盟  
副会長 本田 あきこ

参議院議員当選後、あっという間に2か月が過ぎてしまいました。ご支援をいただいた皆様へのお礼回りを続けながら、秋の国会への準備をしています。

さて、2年3か月にわたって全国を回り感じたことは、全国どこに行っても質の高い医療を受けることができる素晴らしさとありがたさを、次の世代に確実に繋いでいかななくてはならないという思いです。これからの医療制度の中で、私たち薬剤師の働き方、調剤業務の在り様など、抱えている問題について、国政の場で薬剤師の声を伝えられるようにと訴え、159,596票という大変多くのお気持ちをいただくことができました。私の責任は、国政の場で薬剤師の声を伝えることであり、そのスタートラインに着くことができました。

政治信条として掲げました「国民皆保険の堅持」、「国民の期待に応えられる医薬分業制度の定着」、「誰もがかかりつけ薬剤師・薬局を活用できる社会の構築」、「地域包括ケアシステムで求められる薬剤師による在宅業務の

推進」、「健康サポート機能の充実とセルフメディケーションの推進」、「女性がより活躍できる社会環境の整備」等の実現に向けて、国政の場で努力していきたいと思っております。

自民党の新人議員は、国会の議会運営を一日も早く体得するために、国会本会議前に開催される「国会対策委員会（国対）」に参加することが必須となっており、新人議員の一番の仕事だそうです。

これからの6年間は、経験させていただいた全国キャラバンと同様に、長いようでもあっという間に過ぎてしまうような気がしますが、慌てすぎず、着実に、旗印を忘れずに歩いて行きたいと思っております。引き続きのご支援をお願いいたします。

1 本田あきこのホームページを開設しました。  
右のQRコードから閲覧してください ⇒



2 Facebookページ「本田あきこの部屋」を公開しました。  
右のQRコードから閲覧してください ⇒



3 本田あきこメールマガジンを開始しました。  
右のQRコードから登録をお願いいたします ⇒



## 薬連だより

# 国会レポート

## ～ 骨太の方針2019 ～



自由民主党組織運動本部部長代理  
参議院議員・薬剤師  
藤井 もとゆき

参議院議員選挙は7月4日公示され、選挙戦がスタートしました。投開票前で結果は判りませんが、皆さんの力強い支援は必ずや吉報をもたらすものと信じています。

さて、6月21日に閣議決定した、いわゆる「骨太の方針2019」、今回は「令和」新時代：「Society 5.0」への挑戦を副題に、人口減少と少子高齢化が進行する新時代において、Society 5.0を早期に実現し、より高度な経済社会を築き、人生100年時代を見据え、誰もがいくつになっても活躍できる社会を創るとしています。

医療分野では、マイナンバーカードの健康保険証利用を進めるため、診療時の本人確認と保険資格確認を可能として、2011年3月から本格運用を始め、2022年度中に概ね全ての医療機関等での導入を目指し、読み取り端末等の早期整備を進めています。

医療提供については、病院と診療所の機能

分化・連携等を推進しつつ、かかりつけ医・かかりつけ薬剤師等の普及を進めるとともに、医療機関へのかかり方の啓発を行うとしています。また、オンライン診療の実情を踏まえて診療報酬における対応を検討するとともに、オンライン服薬指導の実施の際の適切なルールを検討することも明記されています。

更に調剤報酬について、2018年度報酬改定の影響の検証等を行いつつ、地域におけるかかりつけ機能に応じた適切な評価や対物業務から対人業務等への構造的な転換の推進等、2020年度報酬改定に向けて検討し、併せて、医療機関及び薬局における調剤の実態や報酬体系を踏まえ、調剤技術料の適正な評価に向けた検討を行うとしています。

## ～ 社会保障の充実に向けて ～

7月の参議院議員選挙、日本薬剤師会が擁立した本田あきこさんは見事当選されました。参議院に薬剤師議員の仲間を迎えられたことは、何よりの喜びです。8月1日に召集された選挙後初の臨時国会は、参議院議長に自民党の山東昭子氏、副議長に立憲民主党の小川敏夫氏を選出した他、常任委員長を選任、特別委員会の設置等の必要な手続きを行い、閉会となりました。

さて、政府内では来年度予算概算要求に向けた作業が本格化しています。来春は診療報酬・調剤報酬の改定期となります。10月に消費税率の引上げが予定されていますが、人口の高齢化や医療技術の高度化に伴い、医療費は毎年確実に増加しており、その適正化と効率化を進めていくことが引き続き求められています。

骨太の方針2019では、医療費等について、給付と負担のあり方を含め、2020年

度の骨太の方針において、総合的かつ重点的に取り組むべき政策をまとめられています。

しかしながら、6月19日に財務省の財政審議会が取りまとめた、「令和時代の財政のあり方に関する建議」では、国民皆保険を維持していく観点から、「大きなリスクは共助、小さなリスクは自助」との考えのもと、薬剤費について、医薬品の種類に応じた保険給付率設定や、OTC類似薬の給付のあり方の見直し等、自己負担の引上げを求めています。また、調剤報酬について、調剤業務の機械化等の実態や薬剤師の業務範囲の明確化を踏まえ、対物業務から対人業務へのシフトが必要としています。

適正な医療を確保する観点から、本田先生とともに必要な財源の確保に努めて参りたいと思います。

藤井もとゆきホームページ <http://mfujii.gr.jp/>

薬連だより

次代を担う薬剤師フォーラム  
～3年毎の参議院選挙に勝利するには～

会期：令和元年9月15日（日）・16日（月・祝）1泊2日

会場：クロス・ウェーブ船橋

参加対象者：各都道府県から1名（50才以下）

※今回及び次回の選挙に深く関わる方、または将来、  
薬剤師議員を目指している方



沖縄県薬剤師連盟  
副幹事長 石川 恵市

フォーラム初日は、山本日薬会長の挨拶から始まり、晴れて当選を果たした本田顕子参議院議員の特別講演を拝聴した。岩本幹事長の基調講演では、この選挙を振り返っての反省点を事細かに熱弁されていたのだが、今回当選の安堵感もあり、見た目とは裏腹な普段と違う穏やかな口調は一目瞭然であったと一言付け加えておきたい。藤井基之参議院議員の来賓挨拶は、厳しい現実問題の内容であった。一部抜粋より、「殆どの薬局が調剤報酬に依存しているのが現状。来年の改定で点数が今よりも厳しくなる事が予想され、政治力で調剤報酬を薬剤師職能に沿った内容にしていかなければならない。我々医療に関わる点数は、国会で決定されるため、直接意見が言える薬剤師議員が必要不可欠である」とのことであった。

そこで今回の最大の目的である、3年毎（まずは3年後）に確実に票を獲得し、勝利に導くためのシステム構築等を中心に議論を重ねるべく、各代表を地域ブロック別に分けてのグループディスカッションが執り行われた。様々な意見が積極的に飛び交う中、今回の参加者から立候補の意思を持つ者が現れたら？

という期待の声もあった。ただ、九州ブロックの中からは「我こそが！」という者はさすがに出なかったのだが・・・

翌日の発表では、参加者全員による2分間スピーチ形式で行われた。私のスピーチは、改めて薬局・企業代表者への徹底的な周知および職員への協力要請をしてもらうよう活動していく。その際、職員である薬剤師や医療事務の生活（給与）にも強く影響を及ぼすことになり兼ねない旨をきちんと説明し、職員へ真摯な姿勢・対応で取り組んでもらうよう強くお願いしていきたいとの内容で締め括った。

限られた医療費の予算を各医療団体に割り振りしている状況下、薬剤師議員が少ないと厳しい結果になってしまう。政治力で左右される調剤報酬は、薬局経営に強く関わってくるであろう。遅くとも次回選挙の2年前には薬剤師の立候補者を擁立し、着々と準備を進めていかなければ、3年後の参議院選挙には到底間に合わないのである。



本田 顕子 議員



藤井 基之 議員



松本 純 議員

## 令和元年度 第5回理事会議事概要

日時：令和元年7月13日（土）19:00～21:10

場所：沖縄県薬剤師会館 研修室

### <出席者>

進 行：又吉章元

出席者：亀谷浩昌、川満直紀、前濱朋子、佐藤雅美、西川裕、村田美智子、新垣秀幸、  
笠原大吾、幸地良信、古謝真己、島袋さゆり、知名博樹、友寄安彦、中尾滋久、  
盛本直也、吉田洋史

監 事：江夏京子、神谷朝雄

事務局：又吉章元、大城喜仁、宮城豊英

欠席者：中村克徳、宮城幸枝、金城雄一、上原卓朗

### 議題

#### (1) 各種委員会委嘱について

<資料配布>

(大城次長)

本会各種委員会職務内容規定を参考に、各委員会の委員を地区薬剤師会、部会等から推薦していただき、次回理事会から順次、それぞれ選出されてきた委員候補について委員委嘱の承認を得ていく予定である。各委員会には、各担当理事が配置され、既に各地区薬剤師会より数名の推薦が挙がってきているので、委嘱の承認をいただきたい。

特に異議無く全会一致で承認された。

#### (2) 代議員補欠選挙について

<資料配布>

(大城次長)

去る6月16日開催の本会第80回定時総会において1名の代議員が「本会の役員となった事」、同総会前に「本会を退会した事」「代議員を辞退した事」の事由により、平良支部1名、那覇東支部2名の欠員が生じたことを受け、補欠の代議員選挙を、平良支部と那覇東支部の2選挙区において、告示、立候補受付、投票、開票など統一した基準で選挙管理委員会が行う。立候補受付は告示予定の7月16日からとし、9月13日に締め切り、この時点で立候補が欠員数を超えない場合、無投票当選とし、翌日9月14日に当選者の告示をする。員数を超えた際は、当該選挙区内の本会正会員の投票による選挙となり、9月14日に投票開始、10月11日を選挙期日とし、10月12日に当選者の告示とする。

以上の内容と期日は同選挙規程に基づいて選挙管理委員会から提示されており、本日の理事会で承認得て、週明け7月16日に告示したい。

特に異議無く全会一致で承認された。

**(3) 会営薬局におけるカード決済の変更検討について**

＜資料配布＞

(又吉事務局長)

今般、琉球銀行より新端末 (RPG-T) を導入することにより、3会営薬局におけるカード手数料を引き下げる旨、提案があった。導入効果として、①国際クレジットカード含め、全てのカード (電子マネー、交通系、中国系カード) が利用できる。②新端末導入で現金出納事務の軽減になる。③手数料の引き下げ効果、となる。

(古謝理事)

医師会・看護師会・薬剤師会が協同して医療団体全体として手数料引き下げ交渉を進めるという話もあると聞いているが、進捗状況はどうか。

(亀谷会長)

日本薬剤師会の会議でも出たが、進展していない。当面、会営薬局の収益改善、キャッシュレス社会への対応も考慮して、本件について賛否を諮りたい。

全会一致で承認された。

**(4) 地域医療介護総合確保基金充当希望事業及び新規事業提案調査について**

＜資料配布＞

(大城次長)

標記基金は県の保健医療行政に係る事業で、本会には平成26年度より毎年、基金充当希望事業が求められてきた。これまで、薬剤師確保対策、休日・夜間の小児救急医療体制の整備、薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進、健康サポート薬局のモデル薬局整備などが採択され、事業展開してきた。今回、令和2年度の同基金へ新規事業として福岡県薬剤師会が主催している「認定薬剤師に向けた継続セミナー」への参加支援策として要望を提案したい。開催会場が福岡県内であるため、沖縄県内からの参加は旅費、宿泊費等の費用が他県より負担が大きいいため参加を断念している保険薬局薬剤師がいるのが現状である。費用負担を軽減することで、同セミナーへの参加促進を支援し、スペシャリスト養成のための事業を行うという内容の要望を提案したい。

(亀谷会長)

保険薬局薬剤師が地域包括ケアシステムの一翼を担うには、薬・薬連携の中で高度化・専門化する薬物療法に責任を持つこと、高度な薬学領域の知識と経験を得ることが必要である。そのため、学会が認める資格を修得することは大事である。これを踏まえた福岡県薬剤師会が主催している「認定薬剤師取得へ向けた継続セミナー」へ多くの沖縄県薬剤師会員が参加することで、かかりつけ薬局・薬剤師機能の強化、高度薬学管理機能に資する薬剤師の機能強化・専門性を向上させ、地域包括ケアシステムに役立てればと思っている。

これまで本会は会員の生涯学習制度強化において同基金を有効に活用していなかったもので、今回はその手始めに同セミナー参加推進としての新規事業を県に提案したい。

特に異議無く全会一致で承認された。

**(5) 第80回九州山口薬学大会業務委託会社の選定について**

＜資料配布＞

(大城次長)

今回、第80回九州山口薬学大会の運営委託業者の選定をするにあたって、2社より見積書が

提示されているが、見積内容の項目が多いことと、仕様については独自の内容が盛り込まれていたため、事前に両社にヒアリングを行った。そこで見積項目を揃えたところ、会場費と人件費に大差が生じていた。

会場費に関しては、A社が大会前日の協議会およびレセプションの開催を大会会場と同じく沖縄コンベンションセンターで計上しており、B社は那覇市内のホテルで開催すると見込み、見積書には計上していなかったことに差額が生じていた。ちなみに、那覇市内のホテルとした場合、婚礼披露として大変相応しい日取りであることから400万円以上と高額な会場費を提示している。

人件費に関しては、A社が本土の企業であるため各担当ディレクター等のスタッフ1人あたりに移動費と宿泊費がかかっていることと、地元企業のB社が18名のスタッフを要員しているのに対してA社は45名と多いということが、大きな差額となっている。

以上の理由でA社の見積り額が高くなっているが、仕様条件を考慮すると会場費の差額はほとんど無く、人件費に大きな差額が生じていることが判明した。

ちなみに、A社は同大会の運営事務局として長年担当してきた会社である。

(亀谷会長)

B社が、人件費の分で見積り金額が安くなっていることと、地元企業であることから優先したいところだが、A社は長年、同大会の運営事務局を担当してきていることと、前回の沖縄開催での運営実績と事細かな配慮が評価されており、また、現在の当会職員で前回の沖縄大会を経験している者が少なく、大会運営の事務作業の大部分を担う事務局のことを考慮して、できればA社としたい。

多数決による挙手を求め、挙手多数のA社に決定した。

## (6) 沖縄県薬剤師会ホームページのリニューアルについて

<資料配布>

(大城次長)

昨年度の理事会において、当会ホームページをスマートフォン対応のためのリニューアルをすることで承認を得たが、今年度の予算に計上されておらず、ホームページを管理している薬事情報センターが、改めて2社に同じ仕様内容で見積りを提出させた。

2社の見積差額が25万円程でA社が安いこと。A社は地元の会社で、当会の会員管理システムを製作、メンテナンスをしており、連携をとり易いこと。B社は大手でデザイン性が高いように思える。

(吉田理事)

月々の費用、手直しが生じた際の費用はどうなっているのか。

(大城次長)

月々の費用については聴取できておらず回答できない。手直しについては、全ての修正において担当職員が行っている。A社は、月契約を結ぶことで得するフリープラン月額税込16,200円を提示している。差し替え、追加、削除など通常修正の場合は最低でも5,000円かかることで、これら修正を常に行う当会ホームページでは、フリープランとしたい。B社も通常修正は5,000円以上。お得なプランの提示は無い。

(中尾理事)

日々のメンテナンスはどうか。A社の会員管理システムとの連動性についてはどうか。

(大城次長)

日々の修正、追加、削除等を必要とするページ（毎週発行しているWeeklyニュース、研修会、求人求職情報、保険薬局マップ、お知らせ等）程度は、担当職員による日々の事務的な対応が可能であると両社から確認を得ている。

A社の会員管理システムとの連動性については、詳細をA社からヒアリングしないと回答できない。

以上のように、薬情報センターおよびA社とヒアリングをして回答できるよう、次回理事会の協議事項へ繰り越しとなった。

## 報告（会）

(1) 会営薬局の調剤保険料等について <資料配布>

(又吉事務局長)

会営3薬局の調剤保険料月次比較表の確認をいただきたい。

(2) 第169回健康とおくすり相談会 6月9日(日) サンエー那覇メインプレイス

(盛本理事)

薬学生の参加も多く、良い学びの場になったと思う。相談者は40名程であった。今後も継続して行っていきたい。

(3) 中部地区薬剤師会総会 6月9日(日) うるま市健康福祉センターうるみん<資料配布>

(佐藤常務理事)

新役員が選任された。総会終了後は、仲真良重氏を講師に迎え講演会を開催し、30名の参加があった。

(4) 沖縄子どもの未来県民会議 令和元年度第1回総会 6月11日(火) 沖縄県市町村自治会館

(又吉事務局長)

<資料配布>

教育や医療等の関係115団体が参加。子どもの未来に係る県民会議である。

(5) おきなわアジェンダ21県民会議 令和元年度通常総会 6月11日(火) 県庁<資料配布>

(亀谷会長)

沖縄県の環境問題を考える会議である。ボランティア的な活動が多数紹介された。

(6) 令和元年度沖縄県認知症施策推進会議 6月11日(火) 沖縄県産業支援センター<資料配布>

(中尾理事)

地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを検討するための会議である。

(7) なごみ会主催県民健康フェア第3・4回実行委員会

(笠原理事)

6月13日(木)・7月11日(木) 沖縄県医師会<資料配布>

薬剤師会は、当日のステージイベントと協賛関係を担当する事で決定した。

(8) 令和元年度沖縄県地域包括ケアシステム推進会議（第2回在宅医療介護連携部会）

6月14日(金) 沖縄県産業支援センター<資料配布>

(笠原理事)

入退院支援に係る病院薬剤師や地域の薬剤師との連携に、お薬手帳を活用している等の現状を報告した。

(9) 沖縄県薬剤師会 第80回定時総会・懇親会 6月16日(日) 県薬<資料配布>

(大城次長)

質疑応答において、課題が残ったので各担当理事は課題解消に向けて進めて頂きたい。



- (21) 令和元年度第3回学校薬剤師部会役員会 6月30日(日) 県薬<資料配布>  
 (知名理事)  
 7月21日開催予定の学校薬剤師部会総会などについて話し合った。
- (22) 沖縄県環境部自然保護課来訪 7月3日(水) 県薬<資料配布>  
 (大城次長)  
 同課より、自然環境保全審議会委員の推薦依頼があった。島袋さゆり理事を推薦した。
- (23) 令和元年度国民体育大会第39回九州ブロック大会 夏季大会監督会議 7月3日(水) 沖縄県体育協会<資料配布>  
 (笠原理事)  
 薬事情報センターの吉田典子氏がアンチドーピングの啓発を行った。
- (24) 認知症施策推進部会主催「認知症本人座談会」 7月6日(土) 医療法人アガペ会  
 (中尾理事)  
 実際に認知症になった方から話を伺うことができた座談会であった。非常に良い内容であったため県薬主催の認知症対応力向上研修会に還元したい。
- (25) 第256回禁煙アドバイザー育成講習会 7月7日(日) 県薬<資料配布>  
 (笠原理事)  
 禁煙支援や新型タバコについての講習会であった。参加者は60名であった。
- (26) ジェネリック医薬品促進に係る啓発について 7月8日(月)<資料配布>  
 (亀谷会長)  
 一般の方のジェネリック医薬品に関する地元紙投稿文が6月下旬に掲載され、これが事実と反する内容であったため、亀谷会長と西川常務理事が県民に正しい認識を啓発するため地元紙に意見投稿し、7月8日に地元紙2紙に掲載された。地元紙2紙も早急に対応してくれた。また、会員にも患者および県民へ正しい認識を啓発していただくよう文書をFAX一斉同報した。
- (27) 社会保険診療報酬支払基金 幹事会 7月10日(水) 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部<資料配布>  
 (亀谷会長)  
 役員改選があった。支払基金の組織改革の進捗状況と定例の業務報告があった。
- (28) 令和元年度沖縄県学校保健会理事会 7月11日(木) 南部合同庁舎<資料配布>  
 (前濱副会長)  
 事業報告と決算予算案について協議した。
- (29) 令和元年度学校保健及び学校安全表彰審査会 7月11日(木) 南部合同庁舎<資料配布>  
 (前濱副会長)  
 文部科学大臣表彰の推薦について、当会から元学校薬剤師を推薦する事を説明した。
- (30) 令和元年度沖縄県災害対策本部設置運営訓練事前説明会 7月12日(金) 南部合同庁舎  
 (又吉事務局長)  
 7月23日開催予定の沖縄県災害対策本部設置運営訓練の事前説明会であった。
- (31) 会営薬局とよみ会議 7月13日(土) 会営薬局とよみ  
 (又吉事務局長)  
 豊見城中央病院との会議の内容を情報提供して頂きたいと現場から要望があったので、対応していきたい。他に、分包機買い替えに係る輸送についてなどを協議した。

(32) 第80回九州山口薬学大会（沖縄大会）について

<資料配布>

（大城次長）

現役員は実行委員であり、改めて設置要綱を確認いただきたい。山口県で開催される日本薬剤師会学術大会において第80回九州山口薬学大会の次回開催県のPRを行う事となっている。

(33) 薬事情報センターおくすり相談室に寄せられた一般からのご意見・苦情

<資料配布>

（中尾理事）

今年の5～6月に寄せられた意見・苦情である。

(34) 会営薬局とよみ薬剤師採用について

（又吉事務局長）

6月からパート薬剤師を採用したことで日々の業務が円滑に進んでいる。また、新たに会営薬局とよみに勤務を希望している薬剤師がいるので面接を行う予定である。

報告（薬連）

(1) 山下貴司法務大臣講演会

6月15日（土）JAおきなわ総合結婚式場ジュビランス

（亀谷会長）

宮崎政久議員から参加要請があり、参加して意見交換をしてきた。

(2) 沖縄県薬剤師連盟評議員会

6月16日（日）県薬<資料配布>

（大城次長）

新役員が承認された。

(3) 本田あきこ激励会

6月25日（火）県薬<資料配布>

（亀谷会長）

日本薬剤師連盟の山本会長と丹下常任総務を招き、本田あきこ激励会を行った。

(4) あさと繁信 推薦団体代表者会議

7月2日（火）自由民主党県連<資料配布>

（亀谷会長）

宮崎政久議員から参加要請があり、参加してきた。

(5) 都道府県薬剤師連盟実務担当者会議

7月3日（水）・4日（木）品川プリンスホテル<資料配布>

（又吉事務局長）

石川副幹事長と事務局職員が参加した。

(6) 林幹雄自民党幹事長代理を困む意見交換会

7月10日（水）ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー<資料配布>

（亀谷会長）

あさと繁信候補者の応援要請があった。全国比例区は自民党推薦の候補者を応援してほしいと依頼されたが、職能団体からは各団体推薦の候補者を応援したいとの意見があった。

(7) あさと繁信 新しい沖縄を創る県民の会 総決起大会

7月10日（水）沖縄県立武道館<資料配布>

（又吉事務局長）

事務局職員が2名参加した。

## 令和元年度 第6回理事会議事概要

日時：令和元年8月10日（土）19:00～21:30

場所：沖縄県薬剤師会館 研修室

### <出席者>

進行：又吉章元

出席者：亀谷浩昌、川満直紀、前濱朋子、佐藤雅美、西川裕、宮城幸枝、村田美智子、  
上原卓朗、金城雄一、幸地良信、古謝真己、島袋さゆり、知名博樹、友寄安彦、  
中尾滋久、盛本直也、吉田洋史、名嘉紀勝

監事：神谷朝雄

事務局：又吉章元、大城喜仁、金城佳樹

欠席者：中村克徳、新垣秀幸、笠原大吾

### 議題

#### (1) 日本薬剤師会との連携協力に関する覚書の締結について

<資料配布>

(又吉事務局長)

日本薬剤師会から、“県薬剤師会に所属する日本薬剤師会会員の会費徴収業務代行に関する合意事項覚書”を締結したい旨の申し出がある。なお、本契約は法人格を有している薬剤師会が対象となる。沖縄では、当会、那覇地区薬剤師会、北部地区薬剤師会が対象となる。

(亀谷会長)

契約期限については特に定められていない。

(吉田理事)

那覇地区薬剤師会会長であるが、一理事の立場ではこの場で結論は出せない。那覇地区薬剤師会に持ち帰り検討したい。

次回理事会への持ち越し議案となった。

#### (2) 沖縄県薬剤師会ホームページリニューアルについて

<資料配布>

(大城次長)

前回理事会より繰り越しとなった件案である。前回理事会で、2社の見積差額が25万円程でA社が安いこと。A社は地元の会社で、当会の会員管理システムを製作、メンテナンスをしており、連携をとり易いこと。B社は大手でデザイン性が高いように思えると説明した。理事会後に確認した事項として、デザイン性については、シンプル且つ各バナーへのアクセスのし易さを重視しても両社に特別な差が無いこと。会員管理システムとの連動性については、研修会単位の管理をしている職員によると、会員管理システムで研修単位を管理しているが、エクセルで取り出してホームページに年1回のみアップしている状況で、これについて会員管理システムを運営しているA社に確認をしたところ、リニューアルの際には、会員管理システムから研修単位名簿をCSVで取り出し、ホームページへインポートできるとのことで、より早く月単位で情報が閲覧可能であるというメリットが増えた。これは見積内に含まれている。

費用については現在、NTTを利用し、サーバーレンタル代として年間20,000円と、ホームページ上で回答できるメールフォームの利用料として年間11,000円となっている。

以上のことをふまえ、関係職員で検討し、A社にしたいとの意見である。本理事会で決定していただきたい。

特に異議無く、A社を採用することで、全会一致の承認を得た。

**(3) 各種委員会委嘱について** <資料配布>  
(大城次長)

7月理事会で各委員会に配置された担当理事と少数の委員の委嘱の承認を得たが、その後、各地区薬剤師会、各部会から多くの推薦が挙がってきた。これらの各種委員会に推薦で挙がってきた会員について、委員委嘱の承認をいただきたい。

推薦のあった新委員の確認をしたうえ、特に異議無く全会一致で承認された。

**(4) パート職員夏季賞与支給について** <資料配布>  
(又吉事務局長)

パート職員30名に対する夏季賞与について、支給基準に基づき算定し、財務委員会です承された。財務委員会では今後、支給基準に変更がなければ委員会での決議は不要、正規職員の賞与支給日に同時支給すべきとの意見になった。

特に異議無く全会一致で承認された。

**(5) 消費税増税による当会の影響について** <資料配布>  
(又吉事務局長)

10月1日から実施される消費税引き上げによる影響を試算した。外税方式を採用している取引は、引き上げ分転嫁が可能だが、内税方式の転嫁は厳しい状況である。

現在、内税方式で取引している琉球大学医学部附属病院FAXコーナーからの院外処方箋FAX送信料について検討いただきたい。

なお、本件に関しては、イオン株式会社から消費税増税後の表示価格の請求方法（内税or外税）について回答を求められている。

検討した結果、請求方法は内税方式として、現在のFAX利用料150円（本体価格139円）を160円（同146円）に値上げする。値上げ根拠は、①諸物価及び人件費の上昇が予想される。②FAXコーナーの収益改善を図ることで、特に異議無く全会一致で承認された。

**(6) 会営薬局うえはら・とよみにおける電子薬歴システムの入れ替えについて** <資料配布>  
(又吉事務局長)

現在、両会営薬局で使用している電子薬歴システムは2005年4月より運用しており、SQL（データベースソフト）の容量がいっぱいのため、業務中に一時停止するなど業務に支障をきたしている。次の要領でシステムの入れ替えを行いたい。

1. 入れ替えによりSQLの容量が飛躍的に改善する。(現在10G→524PB、現在比52百万倍)
2. 現在使用中のOS windows7は来年初めにはサポートが終了するので、windows10に切り替える必要がある。
3. 現在、故障した場合には業者から代替機を一時使用している状況がある
4. 10月に消費税が10%に引き上げられるので、引き上げ前に実行したい。

審議の結果、理事の薬局で最近、本システムに変更して導入した経緯があり、本件の妥当性に理事全員が理解を示し、承認された。

## (7) 会営薬局薬剤師募集について

＜資料配布＞

(大城次長)

薬剤師不足のために有料職業紹介所を介した際、多額の紹介料がかかることは周知のこと。有料職業紹介所を介さないで直接就職した薬剤師にメリットがあるような方策がないか亀谷会長と模索してきた。

手始めに、当会ホームページに掲載している会営薬局薬剤師募集の文言に、「薬剤師紹介事業社を介さないで直接就職した薬剤師には、就職支度金（仮称）を支給します。」と記載してはどうかとの提案が幹事会から上がってきている。

(亀谷会長)

当会に直接、応募し、採用される状況を作りたい。今回の提案で応募意欲を高めたいと考えている。

(吉田理事)

「就職支度金を支給する」という文言にしたら、引っ越し料や不動産提供等と勘違いされる。また、個人差が大きいのので、就職祝い金とした方が分かり易くて良いのではないか。また、支給額は幾らに設定するのか。

(亀谷会長)

幹事会では、就職支度金として5万円から10万円を想定している。20万円が妥当ではないかとの提案もあったが、会員薬局への影響も考慮しなければならないので低額に留めた。

(佐藤常務理事)

就職祝い金とした方が明解である。就職祝い金は20万円でも低いと思う。紹介業者には成約したら想定年収の30%を手数料として支払っているケースが多い。せめて、1ヵ月分給与の30万円程度に設定してはどうか。(他多数の理事も同意見であることが伺えた)

(吉田理事)

6ヶ月勤務後に10万円、1年勤務で20万円を支給することを提案する。短期間で退職しないようにする工夫も必要だ。

(亀谷会長)

それでは、当会ホームページに掲載している会営薬局薬剤師募集の文言に、「薬剤師紹介事業社を介さないで直接就職した薬剤師には、就職祝い金を支給します。」と追加記載し、就職祝い金については、6ヶ月勤務後に10万円、1年勤務で20万円を支給するというものでいかがか。

賛成多数で承認された。

**(8) 自由民主党一日政調会への要望書について**

＜資料配布＞

(亀谷会長)

自由民主党沖縄県支部連合会では、県内の各種団体や企業が抱える課題について、意見、要望を受けて、次年度予算の編成や税制改正に反映させることを目的に「一日政調会」を実施している。来る9月17日に1団体1企業あたり30分間、個別に要請する時間が与えられる。本会にも要請する機会が与えられている。そこで、「沖縄県内の国公立大学に薬学部を創設する」ことを要請したい。

特に異議無く全会一致で承認された。

**(9) 10月幹事会・理事会の開催日変更について**

(大城次長)

10月理事会の開催予定日である10月第2土曜日の10月12日に、日本薬剤師会都道府県会長会議が開催されることになった。亀谷会長が同会議に出席することから10月理事会を10月第1土曜日の10月5日に開催したい。また、理事会開催前の幹事会についても10月第1月曜日の10月7日から前週月曜日にあたる9月第5月曜日の9月30日に開催したい。

特に異議無く全会一致で承認された。

**(10) 第80回九州山口薬学大会会場の件について**

＜資料配布＞

(大城次長)

前回理事会において、大会運営事務局を株式会社コンベンションリンケージに決定した。同社から大会前日の協議会およびレセプションを大会会場と同じく沖縄コンベンションセンターで開催する提案がある。

ホテルの会場の仮り押さえ期限と沖縄コンベンションセンターの会場利用申請期限が近づいていることから、本日の理事会で、大会前日の協議会およびレセプション会場を決定していただきたい。

(亀谷会長)

大会前日の協議会およびレセプション会場を、大会会場と同じく沖縄コンベンションセンターで開催することで、経費も大きく抑えられることから、同一会場としたい。

特に異議無く全会一致で承認された。

**報告（会）**

**(1) 会営薬局の調剤保険料等について**

＜資料配布＞

(又吉事務局長)

会営3薬局の調剤保険料月次比較表の確認をいただきたい。

**(2) 第63回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ in 九州・福岡**

7月14・15日(日・月) 福岡大学＜資料配布＞

(佐藤常務理事)

本県から3名が参加。次回の1月には4名を派遣する予定。

- (3) 第8回はえばる夏まつりキッズパーク 7月15日(月) 南風原町立中央公民館<資料配布>  
(又吉事務局長)

薬剤師ブースは非常に人気があった。職能啓発薬剤師は、新垣梓氏、新垣紀子氏、伊差川サヤカ氏、進藤聡人氏、直島深氏、三上まどか氏の6氏。当会の会営薬局うえはら薬剤師の進藤氏が報告書を執筆しているのでご覧いただきたい。会報誌にも掲載される。

- (4) 沖縄県振興審議会委員及び専門委員委嘱状交付式並びに  
第68回沖縄県振興審議会／第1回福祉保健部会

7月16・30日(火) 沖縄ハーバービューホテル・県庁<資料配布>

(亀谷会長)

向こう3年間の沖縄振興計画を討議する会議であり、今回は委員委嘱と内容説明であった。本格的な議論は各部会で行う。自由討議の場では、県内に薬学部の必要性を訴えた。

- (5) 管理者会議 7月16日(火) 県薬<資料配布>  
(大城次長)

会営薬局うえはらの「クリーンルームのメンテナンス」、会営薬局とよみからの「パート薬剤師採用」と「全自動錠剤分包機の設置」、「医薬品備蓄ネットワークシステム(薬VAN)への加入」等について議論した。

- (6) 沖縄県地域包括ケアシステム入退院PT(プロジェクトチーム)会議

7月16日(火) 沖縄県医師会<資料配布>

参加した笠原理事が欠席のため、次回理事会での報告とする。

- (7) 職業人講話 7月17日(水) 糸満市立三和中学校<資料配布>  
(大城次長)

同中学校の学校薬剤師である平良恭子氏が職能PRの講話を行った。

- (8) 生涯学習フェスタ「しごとミュージアム2019」

7月17日(水) 沖縄コンベンションセンター<資料配布>

(島袋理事)

高校生約3000名が参加し、薬剤師ブースには約70名が訪れた。実務実習薬学生が薬の実験やパネルで薬剤師についての説明を行った。

- (9) 名桜大学学長を表敬訪問 7月17日(水) 名桜大学  
(亀谷会長)

県内の国公立大学に薬学部を創設する運動をしていることから、同大学を訪問した。同大学への設置の可能性について話し合った。

- (10) 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 五者事務担当者打合せ会

7月17日(水) 支払基金<資料配布>

(又吉事務局長)

調剤報酬請求の算定誤りが多く、返還率が高いため、減少に努めていただきたいとの説明があった。

- (11) 令和元年度沖縄科学技術大学院大学発展促進県民会議総会および

OIST講演・研究施設等視察

7月18日(木) 沖縄科学技術大学院大学<資料配布>

(亀谷会長)

様々な国の方が在籍し、質の高い研究を行っている。

(12) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター令和元年度地域医療連携情報交換会

7月18日(木) マリエールオークパイン<資料配布>

(亀谷会長)

懇親会で情報交換を行った。

(13) 会営薬局うえはら健康サポート薬局モデル化事業講習会

7月20日(土) ヴァインドラッグあがり浜薬局<資料配布>

(盛本理事)

会営薬局うえはらの健康サポート薬局モデル化事業の一環で、OTC医薬品の販売方法等の講習を会営薬局うえはら職員3名に行った。

(14) 令和元年度第4回学校薬剤師部会役員会

7月21日(日) 県薬<資料配布>

(知名理事)

支部長会も兼ね、活動報告を行った。

(15) 令和元年度第47回沖縄県薬剤師会学校薬剤師部会総会・講習会

7月21日(日) 県薬<資料配布>

(知名理事)

総会は36名、講習会は53名の参加があった。

(16) 令和元年度第1回医薬分業対策委員会

7月22日(月) 県薬<資料配布>

(西川常務理事)

9月1日開催のFAXコーナー職員向け研修会や9月15日開催の医薬分業対策会議などについて議論した。

(17) 令和元年度沖縄県災害対策本部運営訓練

7月23日(火) 県庁<資料配布>

(吉田理事)

災害対策委員会の鈴木玲子氏が参加した。

(18) 第1回沖縄県後期高齢者医療制度運営懇話会

7月24日(水) 沖縄県後期高齢者医療広域連合<資料配布>

(佐藤常務理事)

後期高齢者の医療費は上がっているが、調剤を含むその他は下がっていると報告があった。薬剤師会の取り組みとして健康サポート薬局を紹介したが、認知度が低かった。

(19) 令和元年度国民体育大会第39回九州ブロック大会 秋季大会監督会議

7月25日(木) 沖縄県体協スポーツ会館<資料配布>

参加した笠原理事が欠席のため、次回の理事会での報告とする。

(20) 令和元年度第1回学術研修委員会

7月25日(木) 県薬<資料配布>

(大城次長)

11月17日開催の第33回沖縄県薬剤師会学術大会の特別講演とランチョンセミナーが決まり次第、参加案内をする。演題募集は既に案内しており、現時点で3演題が申し込まれている。また、沖縄県地域医療介護総合確保基金の新規事業要望調査にて福岡県薬剤師会主催「認定薬剤師取得に向けた継続セミナー」への受講者の旅費に充てる調査票を作成し、衛生薬務課に提案している。

(21) 令和元年度沖縄県公務員薬剤師会退職者激励会並びに懇親会

7月26日(金) RYUKYU BALI-ZA<資料配布>

(亀谷会長)

大浜浩志氏と上里林氏の退職激励に、懇親会から又吉事務局長、大城次長と共に参加した。

(22) 令和元年度第1回地域保健委員会

7月26日(金) 県薬<資料配布>

(盛本理事)

地域ケア会議や薬と健康の週間について議論した。

(23) 第170回健康とおくすり相談会

7月28日(日) 多良間村コミュニティー施設<資料配布>

(古謝理事)

開催場所が多良間村コミュニティー施設から多良間村役場に変更となった。骨密度、動脈硬化度、随時血糖の測定を行った。ほとんどの参加者がお薬手帳を持参した。

(24) 青年薬剤師部会主催合同就職説明会

7月28日(日) 県薬<資料配布>

(上原理事)

初開催で、実務実習薬学生16名、企業18社の参加があった。今回の参加企業は薬局のみを対象としたので、次回からは病院や卸会社の参加も検討したい。

(25) 令和元年度薬物乱用防止指導委員研修会

7月30日(火) 福岡市博多市民センター<資料配布>

(知名理事)

学校薬剤師部会から村田成夫部会長と、講師として新垣紀子氏が参加した。

(26) なごみ会主催県民健康フェアPRの新聞社表敬訪問

7月31日(水) 沖縄タイムス社・琉球新報社<資料配布>

(盛本理事)

同フェアの実行委員である松本圭五氏が、他関係医療団体とともに地元紙を訪問して同フェアのPRを行った。

(27) 令和元年度第1回健康サポート薬局推進委員会

7月31日(木) 県薬<資料配布>

担当理事の笠原理事が欠席であるが、報告書が配布されているのでご覧いただきたい。

(28) めんそーれ沖縄県民運動推進協議会総会・表彰式

8月1日(木) 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ<資料配布>

(又吉事務局長)

観光関係団体が集まり、講演と表彰を行った。

(29) 全国総体南九州大会におけるアンチ・ドーピング活動のための打ち合わせ会議

8月2日(金) 県薬<資料配布>

参加した笠原理事が欠席であるが、報告書が配布されているのでご覧いただきたい。

(30) 認定実務実習指導薬剤師養成・更新講習会

8月4日(日) 県薬<資料配布>

(佐藤常務理事)

養成講習会には県薬会員13名、病薬会員8名、非会員2名が参加した。また、更新講習会には県薬会員1名が参加した。

- (31) 令和元年度新任・新人薬剤師研修会 8月4日(日) 県薬<資料配布>  
(大城次長)  
昨年度と同じ講義内容で開催した。県薬会員10名、病薬会員22名、非会員1名、薬学生2名の計35名が参加した。
- (32) 第171回健康とおくすり相談会 8月4日(日) サンエー経塚シティ  
(吉田理事)  
相談員に那覇地区薬剤師会役員2名を含む5名と薬学生1名で、約50名の相談者の対応をした。
- (33) 令和元年度日本薬剤師会薬局実務実習担当者全国会議 8月5日(月) 日本薬剤師会<資料配布>  
(宮城理事)  
佐藤理事と参加した。
- (34) 社会保険診療報酬支払基金幹事会 8月7日(水) 社会保険診療報酬支払基金<資料配布>  
(亀谷会長)  
配布の報告書をご覧ください。
- (35) 沖縄県医療提供協議会小児医療部会 8月8日(木) 沖縄県医師会館<資料配布>  
参加した笠原理事が欠席のため、次回理事会での報告とする。
- (36) なごみ会主催県民健康フェア第5回実行委員会 8月8日(木) 沖縄県医師会館<資料配布>  
(盛本理事)  
同フェア実行委員になっている松本圭五氏が出席した。
- (37) 令和元年度第1回財務委員会 8月8日(木) 県薬<資料配布>  
(又吉事務局長)  
委員の委嘱、消費税増税による当会への影響について議論した。委員長には前原信照氏が就任した。
- (38) 第1回沖縄県公害審査会 8月9日(金) 県庁  
(吉田理事)  
同審査会当日は欠席者多数のため、日を改めて開催することとなった。
- (39) 会営薬局とよみ会議 8月10日(土) 会営薬局とよみ  
(又吉事務局長)  
パート職員2名を採用しており、円滑に業務が進んでいる。

#### 報告(薬連)

- (1) 岩本日薬連盟幹事長との情報交換会 7月14日(日) 県薬  
沖縄県薬剤師連盟役員を招集して開催した。
- (2) 本田あきこ支援依頼のため薬局訪問 7月16日(火) 浦添・那覇地区薬局  
7月8日から16日にかけて、亀谷会長はじめ沖縄県薬剤師連盟役員で沖縄本島内の薬局を訪問した。宮古地区は川満副会長、古謝理事が、八重山地区は幸地理事が薬局訪問を行った。
- (3) 本田あきこ支援依頼のため卸会社訪問 7月17・18日(水・木)<資料配布>  
(亀谷会長)  
株式会社琉薬、株式会社ダイコー沖縄、株式会社スズケン沖縄薬品、株式会社アトル、沖縄東邦株式会社を訪問した。

(4) 日本薬剤師連盟 令和元年度第2回全国会長・幹事長拡大会議

8月7日(水) スクワール麹町<資料配布>

(亀谷会長)

全国的に得票数が思ったより伸びなかった。他関係団体の協力が必要という意見が挙がったが、薬剤師だけの力で当選させるように頑張るべきだと意見を述べてきた。

(5) その他

(吉田理事)

会員の薬剤師より、当選の報告が無いとの苦情があった。

(亀谷会長)

対策を講じて次回からこのようなことがないようにしたい。

お知らせ

## Facebook をご覧下さい!

祝 おかげさまで創立90周年を迎えました!

一般社団法人  
沖縄県薬剤師会  
@okinawaopa

ホーム  
投稿  
写真  
ページ情報  
いいね!  
ページを作成

いいね! メッセージ シェア その他 お問い合わせ

基本データ 編集を提案

FIND US

沖縄県豊原町豊原1-19番地

豊原町  
豊原  
県立精神病院

下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawaopa>

転載記事

PHARMACY NEWS BREAK 第1487号 令和元年8月29日 (木)

2019年8月29日木曜日

PHARMACY NEWSBREAK 1487号



薬局・薬剤師のためのニュースメディア

©2019じほう

**HARMACY NEWSBREAK**

株式会社 じほう

この通信は会員が直接利用される以外、コピー等による第三者への提供は固くお断りいたします

## 健サポ100薬局の早期達成に推進委設置 沖縄県薬、亀谷会長「今後の薬剤師・薬局が生き残る道」

沖縄県薬剤師会（亀谷浩昌会長）は、「健康サポート薬局推進委員会」を会内に立ち上げ、会員薬局の健康サポート薬局届け出に向けた取り組みを加速させる。亀谷会長の肝いりで今年6月に設置した委員会で、健サポ薬局の届け出がスタートした2016年に掲げた「2025年までに100薬局」の目標を前倒しし、できるだけ早期の達成を目指す。亀谷会長は「健サポ薬局は、今後の薬剤師・薬局が生き残る道だ」と指摘。「健サポ機能を発揮し、存在価値や魅力を近隣住民に実感してもらわなければ、地域の薬局の将来はないという危機意識を個々の会員に持ってほしい」と強調する。

沖縄県における健サポ薬局の数は、現在4薬局。実数も、県内薬局数に占める割合も、共に全国最下位だという。沖縄県薬では、これまで健サポ薬局の推進について既存の分業対策委員会内に設置したチームで検討してきた。届け出に必要な研修会を開催するとともに、健サポ薬局を目指す上での課題をアンケート調査し、課題解決に向けた取り組みも進めてきた。ただ、健康サポート薬局推進・地域包括ケア担当の笠原大吾理事は「精力的に取り組んだものの、届け出数がなかなか増えなかった」と振り返る。

アンケート調査からは、健サポ薬局を推進する上で▽在宅訪問▽要指導・一般用医薬品の品ぞろえ▽届け出書類の作製方法▽薬剤師不足（1人薬剤師が多い）といった課題が浮き彫りになった。また、亀谷会長は「（健サポ薬局に）フィーが付かないことも原因かもしれない」との見方を示す。

### ●健サポ機能を発揮し、地域の薬局の魅力を高める必要がある

ただ、亀谷会長は「敷地内薬局が増加し、距離や自己負担などの面で地域の薬局が大きなハンディキャップを負うことになってしまった。そのハンディをカバーするためには、地域の薬局の存在価値を住民に実感してもらう必要がある」と指摘。

「地域の薬局が頑張らないと、薬剤師会の弱体化にもつながる」とも述べ、健サポ機能を発揮し、地域薬局の魅力を高める必要があるとの思いから、健サポ薬局に特化した委員会を設置することを決めた。

〈次頁へ続く〉

2019年8月29日木曜日

PHARMACY NEWSBREAK 1487号

推進委は、アンケート調査で課題に挙がった在宅訪問や要指導・一般用薬など、健サポ薬局に必要な各分野において経験豊富なメンバーで構成。健サポ薬局の届け出に向けた会員薬局の進捗状況を把握するためのアンケート調査をあらためて実施し、届け出要件をほぼ満たす段階まで進んでいる薬局を中心に届け出を促していく。

また「かかりつけ薬剤師指導料や、地域支援体制加算を算定している薬局も地域に貢献しようという意識が高い薬局」（笠原理事）といった考えから、かかりつけ料や地域支援加算の算定薬局にも健サポ薬局の届け出を働き掛ける。

さらに、会営3薬局のうち「健康サポートモデル薬局」として整備した「会営うえはら」を活用し、会員薬局の健サポ薬局届け出をサポートしていく。

推進委は、7月31日に初会合を開き、今後おおむね2カ月に1回のペースで検討を重ねていく計画だ。

亀谷会長は「健サポ機能を発揮すれば、必ず地域住民から信頼され、それがわれわれの充実感につながる。1人薬剤師の薬局も少なくなく、そうした薬局で在宅や24時間対応などを実践するのは確かに厳しいが、地域の薬局が生き残るためには絶対に健サポ機能が必要なんだという思いで頑張ってもらいたい」と会員薬局のさらなる意識向上に期待を寄せている。

※発行元が記事利用を許諾しています。

令和元年9月24日（火）沖縄タイムス



## 優しさに触れて

崎濱祐美子(53)

私の職場は某病院内の院外処方せん案内コーナーだ。長く通院している患者さんは、親しみを込めて接してくださる。その中にチロルハット姿の紳士Kさんと色白でチャームिंगなFさんがいた。どちらも笑顔がすてきな高齢の患者さんだ。

Kさんは私が同郷と知り一層身近に感じたようで、私の子どもの成長を気に掛けてくださった。Fさんは付き添いの息子さんが先に処方せんを持参した後、一足遅れてゆっくりとした足取りで私のところに立ち寄り、優しさに充ちた笑顔でたわいもない会話を楽しんだ。帰り際にはいつも「バイバイ、またね」と手を振ってくださった。こんなおばあちゃんになりたいと思わせてくれる憧れの女性だ。

そんなKさんとFさんが相次いで天に召された。Kさんの訃報は新聞広告で知り、お別れをすることができた。

Fさんの息子さんがある日、病院を訪ねてきた。「Fは2カ月前に亡くなりました。いつも声を掛けてくれたので、お伝えしておこうと思いましたが、あまりに突然のことです。現実のこととして受け止められなかった。仕事中の私を氣遣ってか、息子さんは玄關へと急いだ。

悲しみの中でわざわざ報告にいらしてくださった息子さんのお気持ちがありがたく、改めて人の優しさに触れた気がした。Fさんの優しさと同じように。Fさん、どうぞ安らかに眠りください。

(浦添市、パート)

※発行元が記事利用を許諾しています。

転載記事

〔亀谷浩昌会長が沖縄県振興審議会委員になっています〕

令和元年7月31日（水）琉球新報

# 県施策の検証本格化

## 振興審各部会 振計総括へ議論

県振興審議会の学術・人づくり部会と福祉保健部会の初会合が30日、それぞれ開かれた。専門委員などで構成される部会は分野別に九つあり、沖縄21世紀ビジョンでの成果と課題について県がとりまとめた総点検報告書案を11月ごろまで検証する。各部会の意見は12月下旬に知事に答申される総点検報告書に反映される。現行の沖縄振興計画の期限切れが2021年度末に迫る中、これまでの沖縄振興の総括と、まだ残る課題、今後の沖縄振興の方向性などについて「外部の目」による厳しい検証作業が本格化している。



11月30日、県庁

## 専門員の質向上で意見

### 福祉保健部会

県庁で開かれた福祉保健部会（安里哲好部会長）では、県子ども生活福祉部と県保健医療部が、両部の所管する政策について、これまでの成果や残る課題などのほか、今後の部会の進め方について説明した。委員からは「成果を考える上で、専門員確保の数値目標達成だけでなく、質をどう見るかという視点も重要だ」との意見が上がった。

同部会は福祉や医療関係の団体代表らを委員に12人でつくる。8月後半に開催する次回以降、本格的に審議入りし、子どもの貧困対策や小児医療、介護や保健医療サービスなどを検討テーマに話し合いを進める。会合は5回を予定し11月中旬には意見書を取りまとめる。

この日の質疑応答では薬剤師の必要性や養成の在り方について、総点検報告書（素案）に対し意見があり、県側が一部修正した。

※発行元が記事利用を許諾しています。

令和元年8月1日（木）沖縄タイムス

# 薬剤師不足 育成促す

## 県基本計画 医療分野点検

「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の総点検のため、県は30日、那覇市内で「福祉保健」学術・人づくりの両部会を開いた。医療分野では、県内の薬局・医療施設に従事する人口10万人当たりの薬剤師数が134人と、全国平均（181人）を大きく下回ることに懸念が示された。

「薬剤師養成機関を整備すべきだ」との意見が挙がったほか、薬剤師の関与が必要な認定こども園を増設する足かせになっている可能性が指摘された。

学術分野では、全国学力・学習状況調査の平均正答率で、目標を現実的な全国平均に設定する意見があった。2021年度の目標は全国を1割上回っており、琉球大学の島袋恒男名誉教

授は「平均以上ほしいが、目標倒れすることがある。まずは平均を目指してはどうか」と設定根拠をたじた。

※発行元が記事利用を許諾しています。

転載記事

令和元年10月7日（月）琉球新報

まちゼミ実行委員長 伊波 重徳さん(浦添市)



商店主らが「プロの技」や専門知識を無料で伝え、店舗や地域の活性化につなげる「まちゼミ」。全国300以上の自治体に広がるこの取り組みが、浦添市でも3年目を迎えている。今年も26店舗が参加し、今月13日まで計30講座を展開。薬局店や代目、若旦那と呼ばれる、第3回浦添まちゼミ実行委員会委員長の伊波重徳さん(32) 同市城間IIに話を聞いた。

「店主の高齢化や後継者問題があつて、うちのような相談薬局は30年前の半数くらいになっている。友人から『しぶとい。よく生き残っている』と言われる、それをネーミングにして広げたい」と思った。

「1985年の創業で、薬剤師の父母は調剤、登録販売者の自分が相談業務。1人30分で、1日に20人くらい相談に乗る。少しでも明るい気持ちになって帰ってほしい。お客様には手紙やはがきも書いて、体調を確認している」

「まちゼミには飲食店やパン屋さん、整骨院など多彩な店舗が参加している。関わりは、



街の元気、小さな店から

プロの技や知識伝え

いは・しげのり 1987年生まれ。浦添市城間出身。沖縄大学を卒業後、両親が営む「いは薬局」に就職。医薬品の登録販売者として、年間延べ約6千件の相談に乗る。昨年10月18日、息子が生まれた。毎月18日は「イハの日」で来店者にパンを配る。店の電話番号の下4桁は「1818」。車のナンバープレートも「1818」。妻の旧姓も「伊波」

「初回から参加している。1年目は高齢者を対象に、無料通信アプリLINE(ライン)の講座を開いた。ラインが使えると、閉店後も相談に乗れるし、アプローチしやすくなる。2年目は成長期の子どもの相談、今年は皮膚トラブルを取り上げており、好評だ」

「県内では那覇市、沖縄市、嘉手納町でもまちゼミを実施しているが、講座参加者は浦添が一番多い。参加者の3割が市外からで、魚のさばき方やプロテインの使い方講座などが人気。参加者のアンケートによると、9割が『満足』と回答している」

「店側にはどんなメリットがあるのか。『チラシを4方部刷つて宣伝している。店舗の参加費は1講座当たり5千円。広告代としてとてもリーズナブルだ。店の雰囲気や直接伝えることができて、受講生がそれを口コミで広げてくれる。口コミは最高の宣伝。実際、売り上げアップにつながっている店もある。定員がすぐ埋まる講座もあるので、年2回の開催も検討している」

「実行委員長として、今後の目標は。『同じ志を持つ店主を増やして、講座をもっと増やしたい。理想は店舗と受講者の双方が、参加して良かったと思えるまちゼミ。小さな店舗が元気になると、浦添の活性化につながると思う』」

(聞き手・真崎裕史)  
(第1・3月曜掲載)

本会会員薬局の取組が紹介されました

※発行元が記事利用を許諾しています。

転載記事

令和元年8月26日（月）沖繩タイムス



配属先のテイエリ国立病院で入  
院患者の処方箋をチェックす  
る

# 薬剤師の知識底上げ模索



●367

沖繩邦一（いち）からこぼす

吉田 裕奈子

朝から夕方まで仕事を終え、活動先の病院まで歩いて行く。汗だくで薬局に入る。クレーンが効いていて暑い。汗もすぐに乾く。薬品管理のため、薬を保管する場所はほとんどクレーンが効いている。

私が活動しているのは東ティモールの首都にあるテイエリ国立病院。国内唯一の国立病院である。この病院内の薬局で私は薬剤師として活動している。他国からの支援も入っている。

東ティモールは2002年に独立したアジアで最も新しい国である。インドネシア東方にあるティモール島の東部には置いている。主要言語はテトゥン語、歴史的背景からインドネシア語やポルトガル語も話されている。私が派遣前まで住んでいた宮古島のように梅がきれいな南国とどこか暑気も似ている。

活動先の薬局の薬剤師は3人。外来、入院、24時間体制の救急外来、薬品倉庫の4部署に分かれ業務に当たっている。外来患者数が多く、とても忙しい。国立病院のため、地方からも多くの患者が受診に来る。ここに国内の医療が集まっている。

しかし、医療水準はまだ低く、医薬品が不足することも多い。ここでは病院のレベルに応じて使用できる薬が異なる。国立病院は多くの専門医がいるため、全ての薬が使用できる。そのため、薬剤師にも専門的な知識が求められる。しかし、国内のガイドラインや薬に関する本がなく、情報を得ることは難しい。数年前に国内に薬学部ができたが、今でもテトゥン語の

## 東ティモール 国立病院内薬局で活動

教科書はない。そのため同僚の薬剤師たちは薬について調べることはなく、調べ方も分からない。大卒の薬剤師は教員で、大半が薬の専門学校のような資格であるため、知識にも差があると活動メンバーはいつも言う。

そこで同僚の知識の底上げをするのが私の活動の一つである。勉強はしたが、それを日常業務に生かすまでには至らず、今は知識が活用できるような方法を模索中である。

病棟業務の立ち上げにも関わっている。入院患者が安全に治療を受けられるよう薬剤師も積極的に参加し、薬を管理することを目的と始めた。今は薬の準備のみで患者の元へは行っていない。それでも病棟の看護師からは薬の管理がしやすくなったという声もあり、同僚たちもやりがいを感じている。

テトゥン語はこの国でしか話されていない。道を歩いていたら、いざつそれ、よく行く食堂でパーの巨首は顔を覚えてくれ話が始まる。テトゥン語を話すのが好きなようだ。首都は人口も多く活気がある。陽気がノリでダンスをいミシロレット（小型バイク）の中は爆音と音楽が流れる。地方は山や海など自然がきれいで、時間もゆとり流れ、体にはのんびり適して癒やされて帰ってくる。

活動はまだまだ始まったばかり。これからますます悩むこともあると思うが、南国の陽気がりに身を任せ、最後まで頑張っていこう。



東ティモール民主共和国 面積約1万4900平方キロメートル（東京、千葉、埼玉、神奈川の合計面積とほぼ同じ大きさ）。人口約118万人。首都デリエリ。主要産業は農業（コメ、トウモロコシ、イモ類、ココナッツなど）。GDP（購買力平価）は17億8300万米ドル。

よしだ・みなこ 東京女子医科大学病院 薬学部卒業後、県立宮古病院薬局で勤務。同病院時代にHIV感染症を担当していたことや、国際協力関連の本がきっかけでJICA海外協隊に応募。2019年1月から東ティモールで活動中。

※発行元が記事利用を許諾しています。

## 令和元年7月

- 1月○九州厚生局来訪 県薬会長室 亀谷会長、又吉事務局長
- 3水○沖縄県環境部自然保護課来訪 県薬会議室 大城次長  
○令和元年度国民体育大会第39回九州ブロック大会 夏季大会監督会議 沖縄県体育協会 吉田典子（薬事情報センター）
- 4木○個別指導 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重・荒井千春
- 5金○2019年度日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部会 株式会社琉薬
- 6土○認知症施策推進部会主催「認知症本人座談会」 医療法人アガペ会 中尾理事  
○宮古島服薬支援講演会 シモジ薬局 共催：宮古地区薬剤師会
- 7日○第256回禁煙アドバイザー育成講習会 県薬ホール 共催：地域保健委員会  
○沖縄県地域糖尿病療養指導士会基礎講習会 沖縄県医師会 共催：沖縄県地域糖尿病療養指導士会
- 8月○「第8回はえばる夏まつりキッズパーク」第2回運営委員会 南風原町立中央公民館 事務局 宮城  
○令和元年度第5回幹事会 県薬会議室
- 9火○沖縄県衛生薬務課と令和2年度地域医療介護総合確保基金に係る事前打合せ 県庁 笠原理事
- 10水○社会保険診療報酬支払基金 幹事会 社会保険診療報酬支払基金 亀谷会長
- 11木○個別指導・新規個別指導 県庁 社会保険医療担当：仲真良重・川上善久  
○令和元年度沖縄県学校保健会理事会 南部合同庁舎 前濱副会長  
○令和元年度学校保健及び学校安全表彰（文部科学大臣表彰）審査会 南部合同庁舎 前濱副会長  
○沖縄県薬剤師感染症講演会 県薬ホール 共催：MSD株式会社  
○糖尿病重症化予防講演会～チーム医療・連携で食い止める～ ホテルゆがふいんおきなわ、沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ 共催：MSD株式会社  
○なごみ会主催県民健康フェア第4回実行委員会 沖縄県医師会 松本圭五、事務局長 嶺
- 12金○令和元年度沖縄県災害対策本部設置運営訓練事前説明会 南部合同庁舎 鈴鹿玲子、又吉事務局長  
○八重山地区 抗血栓療法セミナー～心房細動治療の最前線～ ANAインターコンチネンタル 石垣リゾート 共催：ファイザー株式会社
- 13土○会営薬局とよみ会議 会営薬局とよみ  
○令和元年度第5回理事会 県薬研修室
- 14日○第63回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ(薬学教育者ワークショップ) in 九州・福岡（15日迄） 福岡大学 高木英子、江夏恭範、玉津亜矢
- 15月○第8回はえばる夏まつりキッズパーク 南風原町立中央公民館 新垣梓、新垣紀子、伊差川サヤカ、進藤聡人、直島深、三上まどか、事務局宮城・金城
- 16火○沖縄県振興審議会委員及び専門委員委嘱状交付式並びに第68回沖縄県振興審議会 沖縄ハーバービューホテル 亀谷会長  
○管理者会議 県薬研修室 亀谷会長、城間・仲真両薬局長、吉田典子（DI）、又吉事務局長、大城次長、小泉主任検査技師  
○沖縄県地域包括ケアシステム入退院PT(プロジェクトチーム)会議 沖縄県医師会 笠原理事

- 17水○職業人講話 糸満市立三和中学校 講師：平良恭子
- 生涯学習フェスタ「しごとミュージアム2019」 沖縄コンベンションセンター 島袋理事、事務局稲嶺・宮城
  - 名桜大学理事長・学長を表敬訪問 名桜大学本部 砂川靖沖縄県保健医療部長、新城光雄衛生薬務課長、池間博則衛生薬務課室長、中村章弘衛生薬務課主幹、亀谷会長、又吉事務局長、大城次長
  - 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 五者事務担当者打合せ会 社会保険診療報酬支払基金 又吉事務局長、事務局長嶺
  - 2019年度中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会第1回勉強会 中部地区医師会 共催：中部地区医師会
- 18木○令和元年度沖縄科学技術大学院大学発展促進県民会議総会およびOIST講演・研究施設等視察 沖縄科学技術大学院大学 亀谷会長
- 第2回吸入支援OkinaWa Advanceコース（後編） 沖縄県医師会 共催：アストラゼネカ株式会社
  - 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター令和元年度地域医療連携情報交換会 マリエールオークパイン（那覇市） 亀谷会長
- 20土○会営薬局うえはら健康サポート薬局モデル化事業講習会 ヴァインドラッグあがり浜薬局 講師：盛本理事
- 第16回沖縄小児内分泌研究会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 共催：JRCファーマ株式会社
- 21日○令和元年度第4回学校薬剤師部会役員会 県薬部会室
- 第47回沖縄県薬剤師会学校薬剤師部会総会 県薬ホール・研修室**
  - 薬剤師が知っておくべき衛生害虫の知識についての研修会 県薬ホール 共催：沖縄県学校薬剤師部会
- 22月○令和元年度第1回医薬分業対策委員会 県薬研修室
- 23火○令和元年度沖縄県災害対策本部運営訓練 県庁 鈴木玲子、事務局長嶺
- 24水○第1回沖縄県後期高齢者医療制度運営懇話会 沖縄県後期高齢者医療広域連合 佐藤常務理事
- フォーミュラーを考える会～糖尿病治療薬を中心に～ ANAクラウンプラザ沖縄ハーバービュー 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
  - 精神科学術講演会 ザ・ナハテラス 共催：大塚製薬株式会社
  - 沖縄動脈硬化予防研究会 ダブルツリー byヒルトン那覇首里城 共催：バイエル薬品株式会社
- 25木○個別指導 県庁 社会保険医療担当：仲真良重・宮城幸枝
- 令和元年度国民体育大会第39回九州ブロック大会 秋季大会監督会議 沖縄県体協スポーツ会館 笠原理事、薬事情報センター吉田典子
  - 令和元年度第1回学術研修委員会 県薬会議室
- 26金○令和元年度沖縄県公務員薬剤師会退職者激励会並びに懇親会 RYUKYU BALI-ZA 亀谷会長、又吉事務局長、大城次長
- 保健指導スキルアップ研修会 がねこ薬局 共催：一般社団法人ぎのわん健康支援センター
  - 令和元年度第1回地域保健委員会 県薬研修室



- 28日○ **第170回健康とおくすり相談会** 多良間村コミュニティー施設 担当：宮古地区薬剤師会  
 ○ **青年薬剤師部会主催合同就職説明会** 県薬ホール・研修室
- 29月○ **北部地域医療糖尿病連携パス研修会** ホテルゆがふいんおきなわ 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
- 30火○ **令和元年度薬物乱用防止指導委員研修会** 福岡市博多市民センター 村田成夫、新垣紀子  
 ○ 月次会計監査 県薬会議室 仲程みちの税理士、事務局前原・上原  
 ○ **沖縄県振興審議会 第1回福祉保健部会** 県庁 亀谷会長
- 31水○ **なごみ会主催県民健康フェア開催PR** 沖縄タイムス社、琉球新報社 松本圭五、事務局長嶺  
 ○ **中部循環器疾患セミナー** 中部地区医師会 共催：MSD株式会社  
 ○ **令和元年度第1回健康サポート薬局推進委員会** 県薬会議室

**令和元年8月**

- 1木○ **個別指導・新規個別指導** 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重・照屋林一郎  
 ○ **めんそーれ沖縄県民運動推進協議会総会・表彰式** 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ又吉事務局長  
 ○ **糖尿病療養支援実践セミナー第19回コメディカル勉強会** 中頭病院 共催：日本イーライリリー株式会社
- 2金○ **沖縄県地域医療介護総合確保基金新規事業要望調査ヒアリング** 沖縄県保健医療部衛生薬務課 亀谷会長、又吉事務局長、大城次長  
 ○ **第10回沖縄疼痛研究会** 沖縄県医師会館 共催：協和キリン株式会社  
 ○ **沖縄県中部糖尿地域連携シンポジウム** 中部徳洲会病院 共催：MSD株式会社  
 ○ **全国総体南九州大会におけるアンチ・ドーピング活動のための打ち合わせ会議** 県薬会議室 笠原理事、小島進、喜久川有子、吉田典子 (DI)
- 4日○ **認定実務実習指導薬剤師養成・更新講習会** 県薬研修室  
 ○ **令和元年度新任・新人薬剤師研修会** 県薬ホール 亀谷会長、中村副会長、中尾・知名・村田・上原各常務理事、喜屋武芳美、大城次長、事務局金城  
 ○ **第171回健康とおくすり相談会** サンエー経塚シティ (浦添市) 担当：那覇地区薬剤師会
- 5月○ **令和元年度日本薬剤師会薬局実務実習担当者全国会議** 日本薬剤師会 佐藤・宮城両常務理事  
 ○ **令和元年度第6回幹事会** 県薬会議室
- 8木○ **個別指導・新規個別指導** 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重・荒井千春  
 ○ **沖縄県医療提供体制協議会小児医療部会** 沖縄県医師会館 笠原理事  
 ○ **なごみ会主催県民健康フェア第5回実行委員会** 沖縄県医師会館 松本圭五、事務局長嶺  
 ○ **令和元年度第1回財務委員会** 県薬研修室
- 9金○ **第1回沖縄県公害審査会** 県庁 吉田理事
- 10土○ **会営薬局とよみ会議** 会営薬局とよみ 仲真薬局長、又吉事務局長、会営薬局うえはら當山  
 ○ **令和元年度第6回理事会** 県薬研修室
- 17土○ **2019年度医療通訳ボランティア養成講座** 沖縄県国際交流・人材育成財団 講師：阪本崇彰
- 18日○ **令和元年度第5回学校薬剤師部会役員会** 県薬部会室
- 20火○ **株式会社じほうより取材** 県薬会長室 亀谷会長、笠原理事、又吉事務局長

- 21水○ 令和元年度第1回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会 県薬 講師：仲真良重、又吉事務局長、事務局宮城
- 22木○ 九州厚生局より来訪 県薬会長室 亀谷会長、又吉事務局長
- 第39回薬タッチャーの会 沖縄県立中部病院 共催：武田薬品工業株式会社
  - 臨床薬剤師育成研修会 株式会社琉薬 共催：株式会社薬正堂
- 23金○ 令和元年度第1回沖縄県医療提供体制協議会 県庁 亀谷会長
- 令和元年度沖縄県禁煙協議会総会 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ 勝連貴子
  - 令和元年度FAXコーナー職員向け研修会打合せ会議 県薬会議室 西川常務理事、平良恭子、大城次長、琉球大学医学部附属病院FAXコーナー職員
  - 保健指導スキルアップ研修会 がねこ薬局 共催：一般社団法人ぎのわん健康支援センター
  - 糖尿病患者を支援するための会 豊見城市立中央公民館 共催：日本イーライリリー株式会社
- 24土○ 令和元年度日本薬剤師会学校薬剤師部会学校環境衛生検査技術講習会（24日迄）・情報交換会 横浜薬科大学 上原・知名両理事
- 25日○ なごみ会主催第9回県民健康フェア2019 沖縄コンベンションセンター
- 26月○ 令和元年度第3期薬局実務実習オリエンテーション 県薬会議室 佐藤常務理事、事務局稲嶺
- 27火○ 沖縄県振興審議会 第2回福祉保健部会 県庁 亀谷会長
- 心血管セミナー～これからの脂質異常症治療 メルキュールホテル沖縄那覇 共催：MSD株式会社
- 2019年度第1回琉球大学漢方医学研究会 琉球大学医学部クリニカルシミュレーションセンター 共催：株式会社ツムラ
  - 薬事情報センター委員会 県薬会議室
- 29木○ 個別指導・新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重・川上善久
- 2019年度中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会推奨講演会 中部地区医師会 共催：中部地区医師会
  - 心房細動包括治療を考える会 沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザ 共催：第一三共株式会社
- 29木○ 令和元年度第1回医療保険委員会 県薬会議室
- 30金○ 令和元年度健康長寿おきなわ復活県民会議 県庁 亀谷会長

## 令和元年9月

- 1日○ 薬剤師のかかりつけ機能強化に向けた全国会議 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 川満副会長、西川常務理事、潮平英郎
- 第29回名城大学薬学部同窓会沖縄支部研修会 県薬ホール 共催：名城大学薬学部同窓会
  - 令和元年度FAXコーナー職員向け研修会 県薬研修室 講師：平良恭子
- 2月○ 令和元年度第7回幹事会 県薬会議室
- 3火○ 沖縄県医療審議会並びに医療法人部会 県議会棟 亀谷会長
- 4水○ 令和元年度沖縄県がん対策推進協議会 県庁 金城常務理事
- 令和元年度第1回スポーツ医・科学委員会 沖縄県体協スポーツ会館会議室 笠原理事、薬事情報センター吉田典子

# 会 務 報 告

- 4水○市町村地域診断カルテ説明会 パシフィックホテル沖縄 笠原理事  
 ○令和元年度第2回医薬分業対策委員会 県薬会議室
- 5木○ダイコー沖縄来訪 県薬会長室 亀谷会長  
 ○会営薬局とよみ会議 会営薬局とよみ 仲真薬局長、與世平管理薬剤師、又吉事務局長、  
 会営薬局とよみ上野、会営薬局うえはら當山
- 6金○睡眠と生活習慣病フォーラム 沖縄県医師会館 共催：MSD株式会社  
 ○第16回OHPAM 沖縄県医師会館 共催：武田薬品工業株式会社  
 ○令和元年度健康サポート薬局推進委員会小会議 県薬会議室 亀谷会長、笠原・盛本両理事、  
 石田浩、玉城武範、土田寛子、又吉事務局長、事務局宮城
- 7土○2019年度第3回認知症疾患医療連携に関する情報交換会 P's SQUARE 笠原・中尾両理事  
 ○令和元年度第14回沖縄県薬剤師会青年部会総会・情報交換会 那覇市内 亀谷会長
- 9月○令和元年度第3回沖縄県認知症施策推進部会会議 沖縄県産業支援センター 中尾理事  
 ○令和元年度第2回薬学生実務実習受入委員会 県薬研修室
- 10火○月次会計監査 県薬会議室 事務局前原・上原  
 ○健康サポート薬局A研修会講師への事前説明 那覇市地域包括支援センター古波蔵 笠原  
 理事、事務局宮城  
 ○フレイルと医療連携を考える 沖縄県医師会館 共催：日本ベーリンガーインゲルハイム  
 株式会社
- 11水○社会保険診療報酬支払基金幹事会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 亀谷会長
- 12木○個別指導・新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 仲真良重、宮城常務理事  
 ○沖縄県薬物乱用防止協会臨時総会 自治研修所 前濱副会長  
 ○2019年第2回地域医療支援病院運営委員会 豊見城中央病院 亀谷会長  
 ○第5回薬剤師スキルアップセミナー 県薬ホール 共催：第一三共株式会社  
 ○2019年度中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会第2回勉強会 中部地区医師会  
 共催：中部地区医師会
- 13金○沖縄総合事務局公正取引室来訪 県薬会長室 亀谷会長、又吉事務局長、大城次長  
 ○第74回国民体育大会監督会議 沖縄県体育協会 薬事情報センター吉田典子
- 14土○日本緩和医療薬学会出前講演会 おきなわクリニカルシミュレーションセンター 共催：  
 日本緩和医療薬学会  
 ○令和元年度第7回理事会 県薬研修室
- 15日○令和元年度第1回医薬分業対策委員会主催研修会 県薬ホール  
 ○令和元年度医薬分業対策会議 県薬研修室
- 17火○沖縄県振興審議会 第3回学術・人づくり部会 八汐荘 亀谷会長  
 ○浦添血管病セミナー 牧港中央病院 共催：MSD株式会社
- 18水○沖縄県地域医療介護総合確保基金新規事業要望調査ヒアリング 沖縄県保健医療部衛生薬  
 務課 又吉事務局長、大城次長
- 19木○個別指導・新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 社会保険医療担当：仲真良重氏・照屋  
 林一郎氏  
 ○2019年度中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会推奨講演会 中部地区医師会 共催：  
 中部地区医師会  
 ○令和元年度第2回給食センター衛生検査研修会 県薬研修室

- 20金○健康サポート薬局研修担当者全国会議 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 笠原理事、事務局宮城
- 保健指導スキルアップ研修会 がねこ薬局 共催：一般社団法人ぎのわん健康支援センター
  - 沖縄県インフルエンザウイルス感染症学術講演会 沖縄県医師会館 共催：第一三共株式会社
- 22日○令和1年度薬剤師のためのフィジカルアセスメント研修会 おきなわクリニカルシミュレーションセンター
- 令和元年度女性薬剤師部会第28回漢方講座 県薬ホール
  - 第12回熟年の集い ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城
- 24火○医療関係団体との合同による学術集会説明会 沖縄県医師会 又吉事務局長
- 令和元年度第3回広報委員会 県薬研修室
- 25水○第131回那覇市国民健康保険運営協議会 那覇市役所本庁 吉田理事
- なごみ会主催県民健康フェア第6回実行委員会 沖縄県医師会館 松本圭五、事務局長嶺
  - 令和元年度地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業の説明会 県薬研修室・ホール
- 26木○Diabetes Seminar ～早期介入による合併症予防～ ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城 共催：MSD株式会社
- 27金○宮古地区認知症診療を考える会 ホテルアトールエメラルド宮古島 共催：エーザイ株式会社
- 令和元年度第8回幹事会 県薬会議室
- 28土○RS会研修会 あなたのかかりつけ薬局 共催：くはら薬局
- 29日○令和元年度第6回学校薬剤師部会役員会 県薬部会室
- 令和元年度第1回地区薬剤師会会長会議 県薬会議室
- 30月○第2回九州山口各県代表者会議 福岡県薬剤師会 亀谷会長、川満副会長

お知らせ

**会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について**

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。  
(香典・生花等の手配があります)

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしく申し上げます。

【連絡先】 県薬事務局（前原・大城）：098-963-8930

## 沖縄県薬剤師連盟会務報告

### 令和元年7月

- 2火○ あさと繁信 推薦団体代表者会議 自由民主党県連 亀谷会長、事務局花城
- 3水○ 日本薬剤師連盟 都道府県薬剤師連盟実務担当者会議 (4日迄) 品川プリンスホテル 石川副幹事長、事務局花城
- 8月○ 本田あきこ支援依頼のため薬局訪問 北部地区薬局 亀谷会長、前濱幹事長、石川副幹事長、中村英和
- 9火○ 本田あきこ支援依頼のため薬局訪問 南部地区薬局 亀谷会長、石川副幹事長、名嘉総務、大城次長、事務局宮城・花城
- 10水○ 本田あきこ支援依頼のため薬局訪問 那覇地区薬局 亀谷会長、石川副幹事長、吉田相談役、大城次長、事務局長嶺・花城
- 林幹雄自民党幹事長代理を囲む意見交換会 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 亀谷会長
  - あさと繁信 新しい沖縄を創る県民の会 総決起大会 沖縄県立武道館 事務局宮城・金城
- 11木○ 本田あきこ支援依頼のため薬局訪問 那覇地区薬局 石川副幹事長、吉田相談役、大城次長、事務局宮城・花城・金城
- 12金○ 本田あきこ支援依頼のため薬局訪問 中部地区薬局 亀谷会長、前濱幹事長、石川副幹事長、江夏監事、伊佐常隆、大城次長、事務局長嶺・宮城・花城・金城
- 14日○ 岩本研日本薬剤師連盟幹事長との情報交換会 県薬研修室 役員、各支部長
- 16火○ 本田あきこ支援依頼のため薬局訪問 浦添・那覇地区薬局 石川副幹事長、新垣紀子総務、事務局長嶺・花城・金城
- 17水○ 本田あきこ支援依頼のため卸会社訪問 株式会社琉薬、株式会社ダイコー沖縄、株式会社アトル、沖縄東邦株式会社 亀谷会長、石川副幹事長、事務局花城
- 18木○ 本田あきこ支援依頼のため卸会社訪問 株式会社スズケン沖縄薬品 亀谷会長、石川副幹事長、事務局花城
- 24水○ 沖縄県薬剤師連盟全体会議及び慰労会 県薬研修室

### 令和元年8月

- 7水○ 日本薬剤師連盟 令和元年度第2回全国会長・幹事長拡大会議 スクワール麴町 (東京都) 亀谷会長、前濱副会長
- 22木○ 翁長雄志さんを偲ぶ会 沖縄空手会館 亀谷会長
- 29木○ 日本薬剤師連盟 令和元年度組織強化に関する担当者全国会議 スクワール麴町 (東京都) 亀谷会長

### 令和元年9月

- 15日○ 日本薬剤師連盟「次代を担う薬剤師フォーラム」(16日迄) クロス・ウェーブ船橋 石川副幹事長
- 17火○ 自由民主党 一日政調会 沖縄ハーバービューホテル 亀谷会長、又吉事務局長、大城次長
- 18水○ 日本薬剤師連盟 令和元年度臨時評議員会 スクワール麴町 亀谷会長
- 21土○ 衆議院議員國場幸之助『「沖縄保守」宣言 壁の向こうに友をつくれ』出版記念祝賀会 ノボテル沖縄那覇 亀谷会長、神村顧問

### 訂正とお詫び

令和元年8月28日発行の本会報誌298号におきまして、下記のとおり誤記がありましたので、訂正をお知らせ致します。関係者に多大なご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

- ① 66ページ記事「暮らしの中の薬草学」のテーマが、正式には「スベリヒユ」であるが「ベニバナ」と記載された。
- ② 3ページ記事「新理事紹介」：知名博樹理事の勤務先は正式には「サンアイ薬品」であるが「サンアイ薬局」と記載された。上原卓朗理事の勤務先は正式には「あなたのかかりつけ薬局」であるが「メイト美里薬局」と記載された。



## 誌上ギャラリー（裏表紙）について

左上：「上高地」 水彩画 by 小那覇 幸子（おなは薬局） 梓川支流と穂高

右上：「ジギタリスの花～魔女の指ぬき」 photo by 宮城 敦子（クララ薬局） 撮影地：フランス・ノルマンディー  
ジギタリスは暗くて寂れた場所に繁茂し、いけにえの儀式のころに咲くので「魔女のゆびぬき」とよばれており、西洋ではいいイメージがないようです。が、ここでは青空のもと美しい姿を拝めました。

左下：「福木森列」 photo by 玉城 武範（ミドリ薬局 美里店） 撮影地：本部町備瀬  
タイトルは「琉球国志略」より引用

右中央：「青い青い海」 photo by 吉川 肇（ハーブ薬局つかざん店） 撮影地：自宅の庭

右下：「庭の蘭」 photo by 新川 祥平（たいよう薬局） 撮影地：自宅の庭（宜野湾市）

## 編 集 後 記

昨今、あおり運転による事件・事故が大きな話題になって、「もみじマーク」を所持する身としては物騒な世の中になったものだと思う。それに引きかえ沖縄の運転手は優しいと思う。朝の気がせく通勤時の時間帯にもかかわらず、譲り合いの精神旺盛で皆優しい。私の運転歴は数十年になるが、いまだにまともにクラクションを鳴らしたことがない。ただ気になるのは非常に混雑している交差点で明らかに渡りきれないだろうと思われるのに強引に入り込んで、信号が変わっても身動きがとれず、交差点としての機能が止まってしまうことがある。なぜかその原因となる運転手が同姓であることが多いのがとても気になるが、それでもみな黙って車が動き出すのを待っているのを見ると、自分の方がかえっていらだっていたのに気づき反省してしまう。ところで、クラクションは「警笛鳴らせ」という標識がある場所では、クラクションを鳴らさないといけない。逆にお礼のクラクションや信号が変わってもなかなか発車しない車

への合図のクラクション等は、基本的に道路交通法違反になるという。仕事にしても何事も思い込みは止めて原点に戻らないといけない。（本年度の日薬大会のテーマは「原点」  
（ピアナ）

今回号で感慨深い記事は、何ととっても、「熟年の集い」である発足の第1回、何の会かもよく理解せぬまま、仕事を終えて、宜野湾から駆けつけた。広報委員としての仕事、候補で作成した会の名称の横幕をもって立った。確か、青年部に対して、いくつかの候補があったが、すべて却下された。白熱した先輩方のやり取りに、会場で圧倒されたのを感じている。毎年披露される、多趣味な先生方の余興、タニシ〇〇??には笑って感動した。さて、私が招待側で参加できるのは、あと何年??楽しみにしながら、熟年の集いが楽しく、続いていくように、広報委員として頑張ろう!!と思う。  
（TOMO）

7月にフランスに行きました。目的はシャンパンを堪能することと、著名なフローリストのご自宅におじゃますること。フローリストのカール・フシュ氏の自宅は広大な土地にあって、馬が駆け抜ける姿に季節の花々が彩りを添えており、それはそれは美しいところでした。氏のガーデンでフランス家庭料理を堪能したあと、シャンパンを片手に散策していたら遭遇したのです、ジギタリスの花に。思わずスマホで撮りました。誌上ギャラリーに投稿したのでご覧ください。また、ご興味がありましたら私のブログ「薬剤師クララが行く」までお越しく下さい。(クララ)

そろそろ秋シーズンですが、沖縄はまだまだ厳しい暑さが続いています。自分は暑さがとても苦手で、早く涼しくなってほしいと思っています。さて、秋といえば皆さんは何を連想しますか？スポーツの秋や月見、紅葉など楽しい行事が盛り沢山な季節ですが、自分はなんと言っても食欲の秋です！ビアガーデンにバーベキューなどに参加して精一杯楽しむことができましたが、体重の方も増加する一方です…。患者さんにも「食生活に気をつけてください」と言いづらくなってきたと感じる今日この頃です…。(ちゃげ)

10月から消費税が増税となるため、我が家では大黒柱の嫁！？指示のもと直前の9月30日に増税対象品の買占めへと走り回った。ドンキホーテに到着するや否や、大量のトイレットペーパーをカートに詰め込んでレジに並ぶ光景が目に入る。かつてのオイルショックを彷彿させるかのようだ。我が家もトイレットペーパー等の雑貨類を大量購入すると思いきや、メインの品は「ハイボール」。確かに酒も増税対象品だが、なぜか6ケースも！！ビーチパーティーじゃないんだから今じゃなくてもいいんじゃないかと心で思いつつも、嫁の指示に従うのみである。ただ、大量ストックの余裕から、日々のハイボール消費量UPは間違いないかと。嫁のキッチンドラムカーに一層拍車がかかるのが目に浮かぶ。今後の夕食作りに影響がでないことを切に願いたい・・・(ごり)

当薬局は毎年9月に大きな棚卸をしている。在庫管理システムを入れて、しっかり管理しているはずだが、どうしても数字が合わない。これは仕方のないことかもしれないが、仕方がないでは済まない薬剤が麻薬である。10月を過ぎると麻薬の年間報告書の提出の時期となるが、毎年のように集計が合わず青ざめている。たいていは帳簿の記載ミスや計算ミスなどが発覚して事なきをえるのだが今年はどうなるか…。ちなみに一発で帳簿の計算が合ったことはまだない…。(松)

## 沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp  
 ■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 ■薬事情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937  
 ■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 ■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932  
 ■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567  
 ■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

## おきなわ薬剤師会報 第299号 令和元年10月28日発行

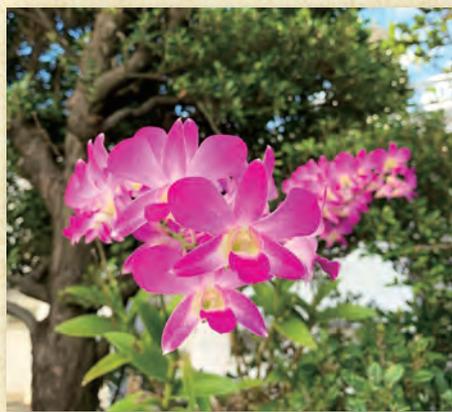
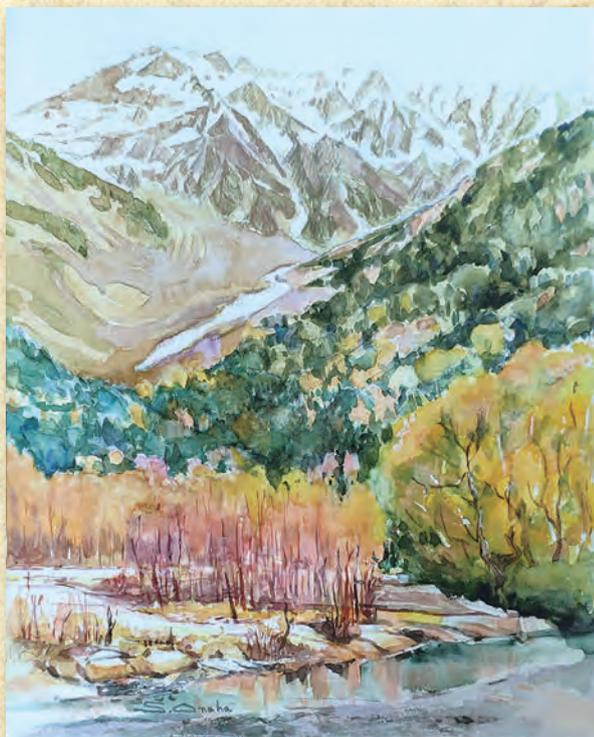
発行人：沖縄県薬剤師会 会長 亀谷浩昌

編集：広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／前濱朋子・池間記世・石川恵市・伊敷松太郎・伊差川サヤカ  
 安次富大・運天芳生 久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／前里由紀子  
 八重山地区通信員／上下徳子 事務局／大城喜仁

印刷：有限会社 Skill

誌上ギャラリー（会員作品）

お気軽にご投稿下さい。



定価四〇〇円（会員の購読料は含み費）